

## 基本計画書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウホウジン テイキョウダイガク 学校法人 帝京大学								
フリガナ大学の名称	テイキョウダイガク 帝京大学 (Teikyo University)								
大学本部の位置	東京都板橋区加賀二丁目11番1号								
大学の目的	本大学は、教育基本法及び学校教育法の本旨、並びに「努力をすべての基とし 偏見を排し 幅広い知識を身につけ 国際的視野に立って判断ができ 実学を通して創造力および人間味豊かな専門性ある人材の養成を目的とする」という建学の精神に則り、高等学校教育の上にさらに専門的知識と高度の理論並びに技術を教授し、グローバルな観点から社会の発展に貢献できる、創造性の溢れた教養高い人材を養成することを使命及び目的とする。								
新設学部等の目的	令和7年度の医学部入学定員の臨時的な増加の取扱いについて、福島県、茨城県、千葉県、新潟県、静岡県および群馬県と地域医療医師確保計画を基に協議を行い各県の合意が得られたため、令和7年度までの期限を付した入学定員増を行い、恒久定員110名に（令和7年度の）臨時定員9名を加えた119名に変更する。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	文学部	年	人	年次人	人			年月第年次	東京都八王子市大塚359番地
	日本文化学科	4	120	3年次5	490	学士(日本文化学)	文学関係	昭和41年4月第1年次	
	史学科	4	213	3年次3	858	学士(史学)	文学関係	昭和59年4月第1年次	
	社会学科	4	208	3年次3	838	学士(社会学)	社会学・社会福祉学関係	昭和61年4月第1年次	
	心理学科	4	200	3年次3	806	学士(心理学)	文学関係	昭和63年4月第1年次	
	外国語学部								東京都八王子市大塚359番地
	外国語学科	4	250	3年次7	1,014	学士(外国語学)	文学関係	平成19年4月第1年次	
	国際日本学科	4	150	-	600	学士(国際日本学)	文学関係	令和4年4月第1年次	
	教育学部								東京都八王子市大塚359番地
	教育文化学科	4	100	2年次5 3年次25	465	学士(教育学)	教育学・保育学関係	平成24年4月第1年次	
	初等教育学科	4	230	2年次5	935	学士(教育学)	教育学・保育学関係	平成24年4月第1年次	
経済学部								東京都八王子市大塚359番地	
経済学科	4	550	3年次20	2,240	学士(経済学)	経済学関係	昭和41年4月第1年次		
国際経済学科	4	200	3年次3	806	学士(国際経済学)	経済学関係	平成30年4月第1年次		

新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地																												
	年	人	年次人	人			年 月 第 年次																													
地域経済学科	4	100	2年次 5 3年次 5	425	学士(経済学)	経済学関係	平成23年4月 第1年次	栃木県宇都宮市 豊郷台一丁目1番地																												
経営学科	4	550	3年次 30	2,260	学士(経営学)	経済学関係	平成12年4月 第1年次	東京都八王子市 大塚359番地																												
観光経営学科	4	170	3年次 5	690	学士(経営学)	経済学関係	平成18年4月 第1年次																													
法学部								東京都八王子市 大塚359番地																												
法律学科	4	375	3年次 3	1,506	学士(法学)	法学関係	昭和42年4月 第1年次																													
政治学科	4	100	3年次 3	406	学士(法学)	法学関係	平成30年4月 第1年次																													
医学部 医学科	6	119 (110)	— —	669 (660)	学士(医学)	医学関係	令和7年4月 第1年次	東京都板橋区 加賀二丁目11番1号	医学部医学科の今回の9名の入学定員の増員は、令和7年度のための臨時定員増である。また、医学部医学科の令和6年度における収容定員は702人である。																											
薬学部 薬学科	6	320	—	1,920	学士(薬学)	薬学関係	平成18年4月 第1年次	東京都板橋区 加賀二丁目11番1号																												
理工学部								栃木県宇都宮市 豊郷台一丁目1番地																												
機械・精密システム 工学科	4	0 (50)	— —	0 (200)	学士(工学)	工学関係	令和7年4月 第1年次		<table border="1"> <thead> <tr> <th>(人)</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年度</td> <td>118</td> <td>702</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>119</td> <td>701</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>110</td> <td>695</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>110</td> <td>689</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>110</td> <td>683</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td>110</td> <td>677</td> </tr> <tr> <td>令和12年度</td> <td>110</td> <td>669</td> </tr> <tr> <td>令和13年度</td> <td>110</td> <td>660</td> </tr> </tbody> </table>	(人)	入学定員	収容定員	令和6年度	118	702	令和7年度	119	701	令和8年度	110	695	令和9年度	110	689	令和10年度	110	683	令和11年度	110	677	令和12年度	110	669	令和13年度	110	660
(人)	入学定員	収容定員																																		
令和6年度	118	702																																		
令和7年度	119	701																																		
令和8年度	110	695																																		
令和9年度	110	689																																		
令和10年度	110	683																																		
令和11年度	110	677																																		
令和12年度	110	669																																		
令和13年度	110	660																																		
航空宇宙工学科	4	0 (45)	— —	0 (180)	学士(工学)	工学関係	令和7年4月 第1年次																													
情報電子工学科	4	0 (85)	— —	0 (340)	学士(工学)	工学関係	令和7年4月 第1年次																													
バイオサイエンス 学科	4	0 (85)	— —	0 (340)	学士(理学)	理学関係	令和7年4月 第1年次																													
総合理工学科	4	195 (0)	—	780 (0)	学士(工学) 学士(理学)	工学関係 理学関係	令和7年4月 第1年次	栃木県宇都宮市 豊郷台一丁目1番地	※令和6年6月届出済																											
データサイエンス 学科	4	70 (0)	—	280 (0)	学士(データサイエンス)	工学関係	令和7年4月 第1年次	東京都板橋区 加賀二丁目11番1号	※令和6年6月届出済																											

新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
	年	人	年次人	人			年 月 第 年次		
医療技術学部								東京都板橋区 加賀二丁目11番1号	
視能矯正学科	4	100	-	400	学士 (視能矯正学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	平成16年4月 第1年次		
看護学科	4	130	-	520	学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	平成17年4月 第1年次		
診療放射線学科	4	100	-	400	学士 (医療技術学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	平成17年4月 第1年次		
臨床検査学科	4	100	-	400	学士 (医療技術学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	平成18年4月 第1年次		
スポーツ医療学科	4	390	-	1,560	学士(スポーツ医療学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	平成19年4月 第1年次	東京都八王子市 大塚359番地	健康スポーツコース、トップアスリートコース
								東京都板橋区 加賀二丁目11番1号	救急救命士コース
柔道整復学科	4	90	-	360	学士 (医療技術学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	平成20年4月 第1年次	栃木県宇都宮市 豊郷台一丁目1番地	
福岡医療技術学部								福岡県大牟田市 岬町6番22	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	平成17年4月 第1年次		
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	平成17年4月 第1年次		
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	平成26年4月 第1年次		
診療放射線学科	4	60	-	240	学士 (医療技術学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	平成26年4月 第1年次		
医療技術学科	4	80	-	320	学士 (医療技術学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	平成27年4月 第1年次		
計		5,470	2年次 15 3年次 115	22,988					
		(5,461)	2年次 15 3年次 115	(22,979)					
理工学部 情報科学科 (通信教育課程)	4	200	-	800	学士(工学)	工学関係	平成19年4月 第1年次		

<p>同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理工学部総合理工学科 (195) (令和6年6月届出)</li> <li>・理工学部データサイエンス学科 (70) (令和6年6月届出)</li> <li>・理工学部機械・精密システム工学科 (廃止) (△50)</li> <li>※令和7年4月学生募集停止</li> <li>・理工学部航空宇宙工学科 (廃止) (△45)</li> <li>※令和7年4月学生募集停止</li> <li>・理工学部情報電工学科 (廃止) (△85)</li> <li>※令和7年4月学生募集停止</li> <li>・理工学部バイオサイエンス学科 (廃止) (△85)</li> <li>※令和7年4月学生募集停止</li> <li>・令和7年4月名称変更予定 文学研究科 日本史・文化財学専攻→史学・文化遺産学専攻</li> </ul>						
<p>教育課程</p>	<p>新設学部等の名称</p> <p style="text-align: center;">—</p>	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計		
		— 科目	— 科目	— 科目	— 科目		





	学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)				
		教授	准教授	講師	助教	計						
新	経済学部 経済学科	15 (15)	4 (4)	9 (9)	0 (0)	28 (28)	0 (0)	407 (407)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数  18人			
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	13 (13)	4 (4)	7 (7)	0 (0)	24 (24)	/	/				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	4 (4)						
	小計(a～b)	15 (15)	4 (4)	9 (9)	0 (0)	28 (28)						
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
	計(a～d)	15 (15)	4 (4)	9 (9)	0 (0)	28 (28)						
	国際経済学科	7 (7)	4 (4)	4 (4)	0 (0)	15 (15)				0 (0)	379 (379)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数  9人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	8 (8)				/	/	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	3 (3)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	7 (7)						
	小計(a～b)	7 (7)	4 (4)	4 (4)	0 (0)	15 (15)						
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
計(a～d)	7 (7)	4 (4)	4 (4)	0 (0)	15 (15)							
地域経済学科	9 (9)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	48 (48)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数  8人				
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	/	/					
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (4)							
小計(a～b)	9 (9)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	15 (15)							
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
計(a～d)	9 (9)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	15 (15)							
経営学科	22 (22)	10 (10)	6 (6)	1 (1)	39 (39)				0 (0)	397 (397)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数  18人	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	12 (12)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	22 (22)				/	/		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	10 (10)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	17 (17)							
小計(a～b)	22 (22)	10 (10)	6 (6)	1 (1)	39 (39)							
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
計(a～d)	22 (22)	10 (10)	6 (6)	1 (1)	39 (39)							
設												
分												

	学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新	観光経営学科	9 (9)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	412 (412)	9人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
	小計(a～b)	9 (9)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	13 (13)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計(a～d)	9 (9)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	13 (13)			
法学部 法律学科	10 (10)	5 (5)	7 (7)	5 (5)	27 (27)	0 (0)			368 (368)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	17 (17)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	5 (5)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	10 (10)				
小計(a～b)	10 (10)	5 (5)	7 (7)	5 (5)	27 (27)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計(a～d)	10 (10)	5 (5)	7 (7)	5 (5)	27 (27)				
政治学科	6 (6)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	10 (10)			0 (0)	354 (354)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	7 (7)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (3)				
小計(a～b)	6 (6)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	10 (10)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計(a～d)	6 (6)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	10 (10)				
医学部 医学科	113 (113)	17 (17)	17 (17)	8 (8)	155 (155)			127 (127)	374 (374)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	113 (113)	17 (17)	17 (17)	8 (8)	155 (155)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計(a～b)	113 (113)	17 (17)	17 (17)	8 (8)	155 (155)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計(a～d)	113 (113)	17 (17)	17 (17)	8 (8)	155 (155)				
設	分								

	学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)						
		教授	准教授	講師	助教	計								
新	薬学部 薬学科	28 (28)	18 (18)	24 (24)	7 (7)	77 (77)	3 (3)	131 (131)	32人					
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	28 (28)	18 (18)	24 (24)	7 (7)	77 (77)				大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	小計(a～b)	28 (28)	18 (18)	24 (24)	7 (7)	77 (77)								
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	計(a～d)	28 (28)	18 (18)	24 (24)	7 (7)	77 (77)								
	理工学部 総合理工学科	13 (13)	9 (9)	10 (10)	3 (3)	35 (35)					2 (2)	85 (85)	12人	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	13 (13)	9 (9)	10 (10)	3 (3)	35 (35)								大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	小計(a～b)	13 (13)	9 (9)	10 (10)	3 (3)	35 (35)								
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
計(a～d)	13 (13)	9 (9)	10 (10)	3 (3)	35 (35)									
データサイエンス学科	6 (6)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	41 (41)	6人						
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	10 (10)				大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数					
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
小計(a～b)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	10 (10)									
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
計(a～d)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	10 (10)									
情報科学科通信教育課程	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)					0 (0)	47 (47)	5人		
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)								大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数	
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
小計(a～b)	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)									
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
計(a～d)	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)									
設	分													

	学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)						
		教授	准教授	講師	助教	計								
新	医療技術学部 視能矯正学科	6 (6)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	16 (16)	4 (4)	194 (194)	7人					
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	16 (16)								
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	小計(a～b)	6 (6)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	16 (16)								
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	計(a～d)	6 (6)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	16 (16)								
	看護学科	10 (10)	4 (4)	13 (13)	9 (9)	36 (36)				0 (0)	207 (207)	10人		
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	10 (10)	4 (4)	13 (13)	9 (9)	36 (36)								
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	小計(a～b)	10 (10)	4 (4)	13 (13)	9 (9)	36 (36)								
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	計(a～d)	10 (10)	4 (4)	13 (13)	9 (9)	36 (36)								
	診療放射線学科	5 (5)	1 (1)	5 (5)	3 (3)	14 (14)							1 (1)	170 (170)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	1 (1)	5 (5)	3 (3)	14 (14)									
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
小計(a～b)	5 (5)	1 (1)	5 (5)	3 (3)	14 (14)									
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
計(a～d)	5 (5)	1 (1)	5 (5)	3 (3)	14 (14)									
臨床検査学科	6 (6)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	15 (15)		0 (0)	190 (190)					7人	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	15 (15)									
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
小計(a～b)	6 (6)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	15 (15)									
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
計(a～d)	6 (6)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	15 (15)									
分														

	学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)				
		教授	准教授	講師	助教	計						
新	スポーツ医療学科	10 (10)	9 (9)	10 (10)	10 (10)	39 (39)	0 (0)	316 (316)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数  14人			
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	10 (10)	9 (9)	9 (9)	10 (10)	38 (38)	/	/				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)						
	小計(a~b)	10 (10)	9 (9)	10 (10)	10 (10)	39 (39)						
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
	計(a~d)	10 (10)	9 (9)	10 (10)	10 (10)	39 (39)						
	柔道整復学科	5 (5)	3 (3)	3 (3)	5 (5)	16 (16)				7 (7)	37 (37)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数  7人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	3 (3)	2 (2)	3 (3)	13 (13)				/	/	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	3 (3)						
小計(a~b)	5 (5)	3 (3)	3 (3)	5 (5)	16 (16)							
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
計(a~d)	5 (5)	3 (3)	3 (3)	5 (5)	16 (16)							
福岡医療技術学部 理学療法学科	4 (4)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	26 (26)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数  6人				
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	11 (11)	/	/					
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
小計(a~b)	4 (4)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	11 (11)							
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
計(a~d)	4 (4)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	11 (11)							
作業療法学科	5 (5)	3 (3)	0 (0)	3 (3)	11 (11)				0 (0)	20 (20)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数  6人	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	3 (3)	0 (0)	3 (3)	11 (11)				/	/		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
小計(a~b)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	3 (3)	11 (11)							
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
計(a~d)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	3 (3)	11 (11)							
分												

	学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新	看護学科	6 (6)	5 (5)	9 (9)	7 (7)	27 (27)	2 (2)	46 (46)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	5 (5)	9 (9)	7 (7)	27 (27)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計(a～b)	6 (6)	5 (5)	9 (9)	7 (7)	27 (27)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計(a～d)	6 (6)	5 (5)	9 (9)	7 (7)	27 (27)			
	診療放射線学科	4 (4)	3 (3)	2 (2)	3 (3)	12 (12)			0 (0)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (3)	2 (2)	3 (3)	12 (12)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計(a～b)	4 (4)	3 (3)	2 (2)	3 (3)	12 (12)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計(a～d)	4 (4)	3 (3)	2 (2)	3 (3)	12 (12)				
医療技術学科	5 (5)	1 (1)	8 (8)	5 (5)	19 (19)	0 (0)			31 (31)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	1 (1)	8 (8)	5 (5)	19 (19)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計(a～b)	5 (5)	1 (1)	8 (8)	5 (5)	19 (19)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計(a～d)	5 (5)	1 (1)	8 (8)	5 (5)	19 (19)				
分	計	376 (376)	178 (178)	185 (185)	83 (83)			822 (822)	146 (146)

学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)
		教授	准教授	講師	助教	計		
既	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	/	/
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (aに該当する者を除く)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
小計 (a～b)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (a又はbに該当する者を除く)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの (a、b又はcに該当する者を除く)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
計 (a～d)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
分	計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
合計		376 (376)	178 (178)	185 (185)	83 (83)	822 (822)	146 (146)	0 (0)

職 種		専 属		そ の 他		計				
事 務 職 員		234 (234)		79 (79)		313 (313)				
技 術 職 員		19 (19)		2 (2)		21 (21)				
図 書 館 職 員		26 (26)		12 (12)		38 (38)				
そ の 他 の 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)				
指 導 補 助 者		0 (0)		0 (0)		0 (0)				
計		279 (279)		93 (93)		372 (372)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
	校 舎 敷 地	475,612.68㎡	259,227.51㎡	0.00㎡		734,840.19㎡				
	そ の 他	92,963.20㎡	46,408.33㎡	0.00㎡		139,371.53㎡				
	合 計	568,575.88㎡	305,635.84㎡	0.00㎡		874,211.72㎡				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
		184,925.27㎡ (184,925.27㎡)	155,813.33㎡ (155,813.33㎡)	334.80㎡ (334.80㎡)		341,073.40㎡ (341,073.40㎡)				
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	1,074 室	教 員 研 究 室		835 室				
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機 械 ・ 器 具 点	標 本 点			
		冊	電 子 図 書 〔うち外国書〕	種	電 子 ジャーナル 〔うち外国書〕					
	大学全体	1,386,593 [332,705] (1,316,311 [327,281])	18,692 [1,990] (15,728 [1,704])	24,168 [18,102] (24,168 [18,102])	16,066 [14,489] (16,066 [14,489])	29,200 (28,262)	137 (132)			
	計	1,386,593 [332,705] (1,316,311 [327,281])	18,692 [1,990] (15,728 [1,704])	24,168 [18,102] (24,168 [18,102])	16,066 [14,489] (16,066 [14,489])	29,200 (28,262)	137 (132)			
ス ポー ツ 施 設 等		ス ポー ツ 施 設		講 堂		厚 生 補 導 施 設				
		14,943.43㎡		2,326.29㎡		41,692.52㎡				
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 前 年 度	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		教員1人当り研究費等	545 千円	545 千円	545 千円	545 千円	545 千円	545 千円	545 千円	医・薬学部
			200 千円	200 千円	200 千円	200 千円	200 千円	— 千円	— 千円	理工学部
			545 千円	545 千円	545 千円	545 千円	545 千円	— 千円	— 千円	医・薬・理工学部以外
		共同研究費等	172,452 千円	172,452 千円	172,452 千円	172,452 千円	172,452 千円	172,452 千円	172,452 千円	大学全体
		図 書 購 入 費	458,717 千円	461,392 千円	459,567 千円	459,742 千円	459,917 千円	458,717 千円	458,717 千円	大学全体 図書購入費には電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。
設 備 購 入 費	1,212,000 千円	832,000 千円	832,000 千円	832,000 千円	832,000 千円	832,000 千円	832,000 千円	大学全体		

		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	学科名
経費の見積り及び維持方法の概要	学生1人当たり納付金	文学部						
		1,385 千円	1,122 千円	1,122 千円	1,122 千円	— 千円	— 千円	
		1,407 千円	1,144 千円	1,144 千円	1,144 千円	— 千円	— 千円	心理学科のみ
		外国語学部						
		1,385 千円	561 千円	1,122 千円	1,122 千円	— 千円	— 千円	
		1,397 千円	573 千円	1,134 千円	1,134 千円	— 千円	— 千円	外国語学科 (英語コースのみ)
		教育学部						
		1,385 千円	1,122 千円	1,122 千円	1,122 千円	— 千円	— 千円	教育文化学科
		1,407 千円	1,144 千円	1,144 千円	1,144 千円	— 千円	— 千円	初等教育学科 (初等教育コース)
		1,429 千円	1,166 千円	1,166 千円	1,166 千円	— 千円	— 千円	初等教育学科 (こども教育コース)
		経済学部						
		1,385 千円	1,122 千円	1,122 千円	1,122 千円	— 千円	— 千円	
		1,402 千円	1,122 千円	1,122 千円	1,122 千円	— 千円	— 千円	国際経済学科
		1,285 千円	1,022 千円	1,022 千円	1,022 千円	— 千円	— 千円	地域経済学科
		法学部						
		1,385 千円	1,122 千円	1,122 千円	1,122 千円	— 千円	— 千円	
		医学部						
		9,362 千円	6,002 千円					
		薬学部						
		2,503 千円	2,135 千円					

		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	学科名
経費の見積り及び維持方法の概要	学生1人当たり納付金	理工学部						
		1,721 千円	1,458 千円	1,458 千円	1,458 千円	－ 千円	－ 千円	総合理工学科
		1,759 千円	1,496 千円	1,496 千円	1,496 千円	－ 千円	－ 千円	データサイエンス学科
		192 千円	162 千円	162 千円	162 千円	－ 千円	－ 千円	情報科学科通信教育課程のみ
		医療技術学部						
		1,933 千円	1,670 千円	1,670 千円	1,670 千円	－ 千円	－ 千円	視能矯正学科
		2,187 千円	1,924 千円	1,924 千円	1,924 千円	－ 千円	－ 千円	看護学科
		1,955 千円	1,748 千円	1,748 千円	1,748 千円	－ 千円	－ 千円	診療放射線学科
		2,021 千円	1,758 千円	1,758 千円	1,758 千円	－ 千円	－ 千円	臨床検査学科
		1,741 千円	1,478 千円	1,478 千円	1,478 千円	－ 千円	－ 千円	スポーツ医療学科 (健康スポーツコース)
		1,965 千円	1,702 千円	1,702 千円	1,702 千円	－ 千円	－ 千円	スポーツ医療学科 (救急救命士コース)
		1,461 千円	1,198 千円	1,198 千円	1,198 千円	－ 千円	－ 千円	スポーツ医療学科 (トップアスリートコース)
		2,019 千円	1,756 千円	1,756 千円	1,756 千円	－ 千円	－ 千円	柔道整復学科
		福岡医療技術学部						
	1,702 千円	1,439 千円	1,439 千円	1,439 千円	－ 千円	－ 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金等						

大学等の名称		帝京大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	備考
		年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	文学部						1.06 《1.03》		東京都八王子市大塚359番地	
	日本文化学科	4	120	3年次5	490	学士(日本文化学)	1.01 《0.99》	昭和41年度		
	史学科	4	213	3年次3	858	学士(史学)	1.03 《1.00》	昭和59年度		
	社会学科	4	208	3年次3	838	学士(社会学)	1.08 《1.05》	昭和61年度		
	心理学科	4	200	3年次3	806	学士(心理学)	1.09 《1.06》	昭和63年度		
	外国語学部						0.94 《0.92》			東京都八王子市大塚359番地
	外国語学科	4	250	3年次7	1,064	学士(外国語学)	1.08 《1.05》	平成19年度		※令和4年度入学定員減(△50人) 編入学定員減(3年次△8人)
	国際日本学科	4	150	—	450	学士(国際日本学)	0.62	令和4年度		
	教育学部						0.94 《0.92》			
	教育文化学科	4	100	2年次5 3年次25	465	学士(教育学)	1.00 《0.99》	平成24年度		
初等教育学科	4	230	2年次5	935	学士(教育学)	0.91 《0.89》	平成24年度			

大学等の名称		帝京大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	備考
		年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	経済学部						1.02 《0.99》		東京都八王子市大塚359番地	
	経済学科	4	550	3年次20	2,240	学士(経済学)	1.06 《1.04》	昭和41年度		
	国際経済学科	4	200	3年次3	806	学士(国際経済学)	0.80 《0.76》	平成30年度		
	地域経済学科	4	100	2年次5 3年次5	425	学士(経済学)	0.75 《0.73》	平成23年度	栃木県宇都宮市豊郷台一丁目1番地	
	経営学科	4	550	3年次30	2,260	学士(経営学)	1.13 《1.10》	平成12年度	東京都八王子市大塚359番地	
	観光経営学科	4	170	3年次5	690	学士(経営学)	0.94 《0.92》	平成18年度		
	法学部						0.92 《0.90》		東京都八王子市大塚359番地	
	法律学科	4	375	3年次3	1,506	学士(法学)	0.92 《0.90》	昭和42年度		
	政治学科	4	100	3年次3	406	学士(法学)	0.95 《0.93》	平成30年度		
	医学部 医学科	6	118	—	702	学士(医学)	1.08 《1.00》	昭和46年度	東京都板橋区加賀二丁目11番1号	※令和3年度、4年度、5年度入学定員増(6人)、6年度入学定員増(8人)
	薬学部 薬学科	6	320	—	1,920	学士(薬学)	0.97 《0.92》	平成18年度	東京都板橋区加賀二丁目11番1号	

大学等の名称		帝京大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	備考
		年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	理工学部						0.94 《0.91》		栃木県宇都宮市豊郷台一丁目1番地	
	機械・精密システム工学科	4	50	—	200	学士(工学)	1.09 《1.05》	平成1年度		
	航空宇宙工学科	4	45	—	180	学士(工学)	0.48 《0.46》	平成13年度		
	情報電子工学科	4	85	—	325	学士(工学)	1.33 《1.30》	平成20年度		※令和4年度入学定員増(15人)
	バイオサイエンス学科	4	85	—	355	学士(理学)	0.73 《0.71》	平成1年度		※令和4年度入学定員減(△15人)
	医療技術学部						0.97 《0.94》			
	視能矯正学科	4	100	—	400	学士(視能矯正学)	0.81 《0.75》	平成16年度	東京都板橋区加賀二丁目11番1号	
	看護学科	4	130	—	520	学士(看護学)	1.04 《1.03》	平成17年度		
	診療放射線学科	4	100	—	400	学士(医療技術学)	1.11 《1.06》	平成17年度		
	臨床検査学科	4	100	—	400	学士(医療技術学)	1.16 《1.10》	平成18年度		
	スポーツ医療学科	4	390	—	1,560	学士(スポーツ医療学)	0.96 《0.94》	平成19年度	東京都八王子市大塚359番地	・健康スポーツコース、トップアスリートコース
	柔道整復学科	4	90	—	360	学士(医療技術学)	0.75 《0.72》	平成20年度	東京都板橋区加賀二丁目11番1号	・救急救命士コース
	福岡医療技術学部						0.77 《0.75》		福岡県大牟田市岬町6番22	
	理学療法学科	4	80	—	320	学士(理学療法学)	0.65 《0.62》	平成17年度		
	作業療法学科	4	40	—	160	学士(作業療法学)	0.35 《0.32》	平成17年度		
	看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)	0.68 《0.66》	平成26年度		
	診療放射線学科	4	60	—	240	学士(医療技術学)	1.19 《1.15》	平成26年度		
	医療技術学科	4	80	—	320	学士(医療技術学)	0.90 《0.86》	平成27年度		
	理工学部 情報科学科 [通信教育課程]	4	200	—	800	学士(工学)	1.10	平成19年度	栃木県宇都宮市豊郷台一丁目1番地	

大学等の名称		帝京大学大学院								
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	備考	
既設大学等の状況	医学研究科 医学専攻 博士課程	4	70	—	280	博士（医学）	0.39	平成28年度	東京都板橋区 加賀二丁目11番1号	※【博士前期課程】 令和4年度開設「総合データ応用プログラム」の入学定員2人を除く。  ※令和5年度より学生募集停止（臨床心理学専攻）
	文学研究科 日本文化専攻  (博士前期課程)	2	8	—	16	修士（文学）	0.87	昭和54年度	東京都八王子市 大塚359番地	
	(博士後期課程)	3	5	—	15	博士（文学）	0.00	昭和58年度		
	日本史・文化財学専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士（文学）	0.50	平成24年度		
	(博士後期課程)	3	5	—	15	博士（文学）	0.20	平成24年度		
	臨床心理学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士（心理学）	—	平成13年度		
	心理学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士（心理学）	0.86	令和5年度		
	(博士後期課程)	3	5	—	15	博士（心理学）	0.06	平成17年度		
	薬学研究科 薬学専攻 博士課程	4	8	—	32	博士（薬学）	0.12	平成24年度	東京都板橋区 加賀二丁目11番1号	
	経済学研究科 経済学専攻  (博士前期課程)	2	14	—	28	修士（経済学）	1.17	昭和57年度	東京都八王子市 大塚359番地	
	(博士後期課程)	3	3	—	9	博士（経済学）	0.00	昭和60年度		
	経営学専攻 (博士前期課程)	2	20	—	40	修士（経営学） 修士（経営情報学）	0.55	平成16年度		
	(博士後期課程)	3	10	—	30	博士（経営学） 博士（経営情報学）	0.10	平成16年度		
	地域経済政策学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士（地域経済政策学）	0.30	平成28年度	栃木県宇都宮市 豊郷台一丁目1番地	

大 学 等 の 名 称		帝京大学大学院								
学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は 称号	収 容 定 員 充 足 率	開設年度	所在地	備考	
既 設 大 学 等 の 状 況	法学研究科 法律学専攻	年	人	年次 人	人		倍			
	(博士前期課程)	2	13	—	26	修士 (法律学)	0.38	昭和58年度	東京都八王子 市大塚359番地	※【博士前期課程】 令和4年度開設 「総合データ応 用プログラム」 の入学定員2人 を除く。
	(博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (法律学)	0.11	昭和61年度		
	理工学研究科 総合理工学専攻 (博士前期課程教職専修工業コース) (博士前期課程教職専修理科コース)	2	15 24	— —	78	修士 (理工学)	0.67	平成12年度	栃木県宇都宮 市豊郷台一丁 目1番地	※【博士前期課程】 令和4年度開設 「総合データ応 用プログラム」 の入学定員1人 を除く。
	(博士後期課程)	3	8	—	26	博士 (工学) 博士 (理学)	0.15	平成16年度		※【博士後期課程】 令和5年度開設 「医療データサイ エンスプログラ ム」の入学定 員2人を除く。
	医療技術学研究科 視能矯正学専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士 (視能矯正学)	0.10	平成18年度	東京都板橋区 加賀二丁目11 番1号	※【博士後期課程】 令和5年度開設 「医療データサイ エンスプログラ ム」の入学定 員1人を除く。
	(博士後期課程)	3	3	—	10	博士 (視能矯正学)	0.00	平成18年度		
	看護学専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士 (看護学)	0.05	平成21年度		
	(博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (看護学)	0.08	平成21年度		
	診療放射線学専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士 (診療放射線学)	0.30	平成21年度		
	(博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (診療放射線学)	0.33	平成21年度		
	臨床検査学専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士 (臨床検査学)	0.20	平成21年度		
	(博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (臨床検査学)	0.33	平成21年度		
	救急救護学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (救急救護学)	0.10	平成30年度		
	スポーツ健康科学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (スポーツ健康 科学)	0.06	令和3年度	東京都八王子 市大塚359番地	
柔道整復学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士 (柔道整復学)	0.50	平成24年度	栃木県宇都宮 市豊郷台一丁 目1番地		

大学等の名称		帝京大学大学院								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	備考
		年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	外国語研究科 超域文化専攻 (博士前期課程)	2	9	—	18	修士(学術)	0.55	平成23年度	東京都八王子市大塚359番地	※【博士前期課程】 令和4年度開設「総合データ応用プログラム」の入学定員1人を除く。
	(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(学術)	0.13	平成23年度		
	保健学研究科 診療放射線科学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士(診療放射線科学)	0.80	平成30年度	福岡県大牟田市岬町6番22	
	(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(診療放射線科学)	0.00	平成30年度		
	看護学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士(看護学)	0.10	平成31年度		
	教職研究科 教職実践専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	60	教職修士(専門職)	0.30	平成21年度	東京都八王子市大塚359番地	
	公衆衛生学研究科 公衆衛生学専攻 (専門職学位課程2年コース)	2	20	—	40	公衆衛生学修士(専門職)	0.97	平成23年度	東京都板橋区加賀二丁目11番1号	
	(専門職学位課程1年コース)	1	10	—	10	公衆衛生学修士(専門職)	0.50	平成23年度		
	(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(公衆衛生学)	0.72	平成26年度		
	総合データ応用プログラム (修士課程)	2	7	—	14	修士(学術)	0.57	令和4年度	東京都八王子市大塚359番地	
	医療データサイエンスプログラム (博士後期課程)	3	3	—	6	博士(学術)	1.16	令和5年度	東京都板橋区加賀二丁目11番1号	
	理工学研究科 情報科学専攻 [通信教育課程] (修士課程)	2	20	—	40	修士(工学)	0.12	平成19年度	栃木県宇都宮市豊郷台一丁目1番地	

既設大学等の状況	大学等の名称	帝京大学短期大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	備考
		年	人	年次人	人		倍			
	人間文化学科	2	50	—	100	短期大学士(人間文化)	0.27	昭和40年度	東京都八王子市大塚359番地	
	現代ビジネス学科	2	50	—	100	短期大学士(現代ビジネス)	0.45	昭和59年度		

附属施設の概要	<p>名称：実習工場</p> <p>目的：大学設置基準第39条に定められた教育研究上に必要な附属施設</p> <p>所在地：栃木県宇都宮市豊郷台一丁目1番地</p> <p>設置年月：平成2年3月</p> <p>規模等：敷地面積600.00㎡、延床面積 600.00㎡</p>
	<p>名称：帝京大学医学部附属病院</p> <p>目的：大学設置基準第39条に定められた教育研究上に必要な附属施設</p> <p>所在地：東京都板橋区加賀2-11-1</p> <p>設置年月：昭和46年9月</p> <p>規模等：敷地面積10,100.25㎡、延床面積 111,887.81㎡</p>
	<p>名称：帝京大学医学部附属溝口病院</p> <p>目的：大学設置基準第39条に定められた教育研究上に必要な附属施設</p> <p>所在地：神奈川県川崎市高津区二子5-1-1</p> <p>設置年月：昭和48年7月</p> <p>規模等：敷地面積 8,873.58㎡、延床面積 39,750.44㎡</p>
	<p>名称：帝京大学ちば総合医療センター</p> <p>目的：大学設置基準第39条に定められた教育研究上に必要な附属施設</p> <p>所在地：千葉県市原市姉崎3426-3</p> <p>設置年月：昭和61年5月</p> <p>規模等：敷地面積 62,608.73㎡、延床面積 41,916.9㎡</p>
	<p>名称：帝京大学薬用植物園</p> <p>目的：大学設置基準第39条に定められた教育研究上に必要な附属施設</p> <p>所在地：神奈川県相模原市緑区寸沢嵐1019-1</p> <p>設置年月：昭和52年4月</p> <p>規模等：敷地面積 3,115.85㎡</p>

学校法人帝京大学 設置認可等に関わる組織の移行表(学部)

令和6年度					令和7年度					変更の 事由			
帝京大学		入学 定員	編入学定員		収容 定員	帝京大学		入学 定員	編入学定員				
			2年次	3年次					2年次		3年次		
文学部	日本文化学科	120	-	5	490	文学部	日本文化学科	120	-	5	490		
	史学科	213	-	3	858		史学科	213	-	3	858		
	社会学科	208	-	3	838		社会学科	208	-	3	838		
	心理学科	200	-	3	806		心理学科	200	-	3	806		
外国語学部	外国語学科	250	-	7	1,014	外国語学部	外国語学科	250	-	7	1,014		
	国際日本学科	150	-	-	600		国際日本学科	150	-	-	600		
教育学部	教育文化学科	100	5	25	465	教育学部	教育文化学科	100	5	25	465		
	初等教育学科	230	5	-	935		初等教育学科	230	5	-	935		
経済学部	経済学科	550	-	20	2,240	経済学部	経済学科	550	-	20	2,240		
	国際経済学科	200	-	3	806		国際経済学科	200	-	3	806		
	地域経済学科	100	5	5	425		地域経済学科	100	5	5	425		
	経営学科	550	-	30	2,260		経営学科	550	-	30	2,260		
	観光経営学科	170	-	5	690		観光経営学科	170	-	5	690		
法学部	法律学科	375	-	3	1,506	法学部	法律学科	375	-	3	1,506		
	政治学科	100	-	3	406		政治学科	100	-	3	406		
医学部	医学科	110	-	-	660	医学部	医学科	119	-	-	669	定員変更(9)	
薬学部	薬学科	320	-	-	1,920	薬学部	薬学科	320	-	-	1,920		
理工学部	機械・精密システム工学科	50	-	-	200	理工学部		0	-	-	0	令和7年4月学生 募集停止	
	航空宇宙工学科	45	-	-	180			0	-	-	0		
	情報電子工学科	85	-	-	340			0	-	-	0		
	バイオサイエンス学科	85	-	-	340			0	-	-	0		
								総合理工学科	195	-	-	780	学科の設置(届出)
								データサイエンス学科	70	-	-	280	学科の設置(届出)
	情報科学科通信教育課程	200	-	-	800			情報科学科通信教育課程	200	-	-	800	
医療技術学部	視能矯正学科	100	-	-	400	医療技術学部	視能矯正学科	100	-	-	400		
	看護学科	130	-	-	520		看護学科	130	-	-	520		
	診療放射線学科	100	-	-	400		診療放射線学科	100	-	-	400		
	臨床検査学科	100	-	-	400		臨床検査学科	100	-	-	400		
	スポーツ医療学科	390	-	-	1,560		スポーツ医療学科	390	-	-	1,560		
	柔道整復学科	90	-	-	360		柔道整復学科	90	-	-	360		
福岡医療技術学部	理学療法学科	80	-	-	320	福岡医療技術学部	理学療法学科	80	-	-	320		
	作業療法学科	40	-	-	160		作業療法学科	40	-	-	160		
	看護学科	80	-	-	320		看護学科	80	-	-	320		
	診療放射線学科	60	-	-	240		診療放射線学科	60	-	-	240		
	医療技術学科	80	-	-	320		医療技術学科	80	-	-	320		
	計	5,661	15	115	23,779		計	5,670	15	115	23,788		

学校法人帝京大学 設置認可等に関する組織の移行表(大学院)

令和6年度						令和7年度						変更の 事由		
帝京大学大学院			入学 定員	編入学定員		収容 定員	帝京大学大学院			入学 定員	編入学定員			
				2年次	3年次						2年次		3年次	
医学研究科	医学専攻	博士課程	70	-	-	280	医学研究科	医学専攻	博士課程	70	-	-	280	
文学研究科	日本文化専攻	博士前期課程	10	-	-	20	文学研究科	日本文化専攻	博士前期課程	10	-	-	20	※1
		うち、総合データ応用プログラム(修士課程)の内数とする入学定員数及び収容定員数	(2)	-	-	(4)			うち、総合データ応用プログラム(修士課程)の内数とする入学定員数及び収容定員数	(2)	-	-	(4)	
	博士後期課程	5	-	-	15	博士後期課程		5	-	-	15			
	日本史・文化財学専攻	博士前期課程	10	-	-	20		史学・文化遺産学専攻	博士前期課程	10	-	-	20	名称変更
		博士後期課程	5	-	-	15			博士後期課程	5	-	-	15	名称変更
	心理学専攻	博士前期課程	18	-	-	36		心理学専攻	博士前期課程	18	-	-	36	
博士後期課程		5	-	-	15	博士後期課程	5		-	-	15			
薬学研究科	薬学専攻	博士課程	8	-	-	32	薬学研究科	薬学専攻	博士課程	8	-	-	32	
経済学研究科	経済学専攻	博士前期課程	15	-	-	30	経済学研究科	経済学専攻	博士前期課程	15	-	-	30	※1
		うち、総合データ応用プログラム(修士課程)の内数とする入学定員数及び収容定員数	(1)	-	-	(2)			うち、総合データ応用プログラム(修士課程)の内数とする入学定員数及び収容定員数	(1)	-	-	(2)	
	博士後期課程	3	-	-	9	博士後期課程		3	-	-	9			
	経営学専攻	博士前期課程	20	-	-	40		経営学専攻	博士前期課程	20	-	-	40	
博士後期課程		10	-	-	30	博士後期課程	10		-	-	30			
地域経済政策学専攻	修士課程	5	-	-	10	地域経済政策学専攻	修士課程	5	-	-	10			
法学研究科	法学専攻	博士前期課程	15	-	-	30	法学研究科	法学専攻	博士前期課程	15	-	-	30	※1
		うち、総合データ応用プログラム(修士課程)の内数とする入学定員数及び収容定員数	(2)	-	-	(4)			うち、総合データ応用プログラム(修士課程)の内数とする入学定員数及び収容定員数	(2)	-	-	(4)	
		博士後期課程	3	-	-	9			博士後期課程	3	-	-	9	
理工学研究科	総合理工学専攻	博士前期課程	40	-	-	80	理工学研究科	総合理工学専攻	博士前期課程	40	-	-	80	※1
		うち、総合データ応用プログラム(修士課程)の内数とする入学定員数及び収容定員数	(1)	-	-	(2)			うち、総合データ応用プログラム(修士課程)の内数とする入学定員数及び収容定員数	(1)	-	-	(2)	
		博士後期課程	10	-	-	30			博士後期課程	10	-	-	30	
		うち、医療データサイエンスプログラム(博士後期課程)の内数とする入学定員数及び収容定員数	(2)	-	-	(6)			うち、医療データサイエンスプログラム(博士後期課程)の内数とする入学定員数及び収容定員数	(2)	-	-	(6)	※2
理工学研究科(通信教育課程)	情報科学専攻	修士課程	20	-	-	40	理工学研究科(通信教育課程)	情報科学専攻	修士課程	20	-	-	40	
医療技術学研究科	視能矯正学専攻	博士前期課程	10	-	-	20	医療技術学研究科	視能矯正学専攻	博士前期課程	10	-	-	20	※2
		博士後期課程	4	-	-	12			博士後期課程	4	-	-	12	
	うち、医療データサイエンスプログラム(博士後期課程)の内数とする入学定員数及び収容定員数	(1)	-	-	(3)	うち、医療データサイエンスプログラム(博士後期課程)の内数とする入学定員数及び収容定員数		(1)	-	-	(3)			
	看護学専攻	博士前期課程	10	-	-	20		看護学専攻	博士前期課程	10	-	-	20	
		博士後期課程	4	-	-	12			博士後期課程	4	-	-	12	
	診療放射線学専攻	博士前期課程	10	-	-	20		診療放射線学専攻	博士前期課程	10	-	-	20	
		博士後期課程	2	-	-	6			博士後期課程	2	-	-	6	
	臨床検査学専攻	博士前期課程	10	-	-	20		臨床検査学専攻	博士前期課程	10	-	-	20	
		博士後期課程	2	-	-	6			博士後期課程	2	-	-	6	
	救急看護学専攻	修士課程	5	-	-	10		救急看護学専攻	修士課程	5	-	-	10	
	スポーツ健康科学専攻	修士課程	15	-	-	30		スポーツ健康科学専攻	修士課程	15	-	-	30	
	柔道整備学専攻	修士課程	6	-	-	12		柔道整備学専攻	修士課程	6	-	-	12	
外国語研究科	超域文化専攻	博士前期課程	10	-	-	20	外国語研究科	超域文化専攻	博士前期課程	10	-	-	20	※1
		うち、総合データ応用プログラム(修士課程)の内数とする入学定員数及び収容定員数	(1)	-	-	(2)			うち、総合データ応用プログラム(修士課程)の内数とする入学定員数及び収容定員数	(1)	-	-	(2)	
		博士後期課程	5	-	-	15			博士後期課程	5	-	-	15	

学校法人帝京大学 設置認可等に関する組織の移行表(大学院)

令和6年度						令和7年度						変更の 事由	
帝京大学大学院			入学 定員	編入学定員		収容 定員	帝京大学大学院			入学 定員	編入学定員		
				2年次	3年次						2年次		3年次
保健学研究科	診療放射線科学専攻	博士前期課程	5	-	-	10	保健学研究科	診療放射線科学専攻	博士前期課程	5	-	-	10
		博士後期課程	2	-	-	6			博士後期課程	2	-	-	6
	看護学専攻	修士課程	5	-	-	10		看護学専攻	修士課程	5	-	-	10
教職研究科	教職実践専攻	専門職学位課程	30	-	-	60	教職研究科	教職実践専攻	専門職学位課程	30	-	-	60
公衆衛生学研究科	公衆衛生学専攻 (2年コース)	専門職学位課程	20	-	-	40	公衆衛生学研究科	公衆衛生学専攻 (2年コース)	専門職学位課程	20	-	-	40
	公衆衛生学専攻 (1年コース)	専門職学位課程	10	-	-	10		公衆衛生学専攻 (1年コース)	専門職学位課程	10	-	-	10
	公衆衛生学専攻	博士後期課程	6	-	-	18		公衆衛生学専攻	博士後期課程	6	-	-	18
総合データ応用プログラム		修士課程	(7)	-	-	(14)	総合データ応用プログラム		修士課程	(7)	-	-	(14)
医療データサイエンスプログラム		博士後期課程	(3)	-	-	(9)	医療データサイエンスプログラム		博士後期課程	(3)	-	-	(9)
計			443	-	-	1,098	計			443	-	-	1,098

【※1】総合データ応用プログラム(修士課程)の入学定員数及び収容定員数は、文学研究科日本文化専攻(博士前期課程)、経済学研究科経済学専攻(博士前期課程)、法学研究科法律学専攻(博士前期課程)、理工学研究科総合理工学専攻(博士前期課程)及び外国語研究科超域文化専攻(博士前期課程)の内数とする。

【※2】医療データサイエンスプログラム(博士後期課程)の入学定員数及び収容定員数は、理工学研究科総合理工学専攻(博士後期課程)及び医療技術学研究科視能矯正学専攻(博士後期課程)の内数とする。

学校法人帝京大学 設置認可等に関わる組織の移行表(短期大学・専門学校)

令和6年度					令和7年度					変更の 事由	
帝京大学短期大学		入学 定員	編入学定員		取容 定員	帝京大学短期大学		入学 定員	編入学定員		
			2年次	3年次					2年次		3年次
/	人間文化学科	50	-	-	100	/	人間文化学科	50	-	-	100
	現代ビジネス学科	50	-	-	100		現代ビジネス学科	50	-	-	100
計		100	-	-	200	計		100	-	-	200
専門学校		入学 定員	編入学定員		取容 定員	専門学校		入学 定員	編入学定員		
			2年次	3年次					2年次	3年次	
/	帝京高等看護学院	160	-	-	480	/	帝京高等看護学院	160	-	-	480
/	帝京山梨看護専門学校	80	-	-	240	/	帝京山梨看護専門学校	80	-	-	240

## 著作権者の許諾が得られない書類等について

### 1. 書類等の題名

都道府県内における位置関係の図面 (P1)

### 2. 出典

Yahoo! マップ

### 3. 引用範囲

Yahoo! マップ ホームページ <https://map.yahoo.co.jp/> より引用

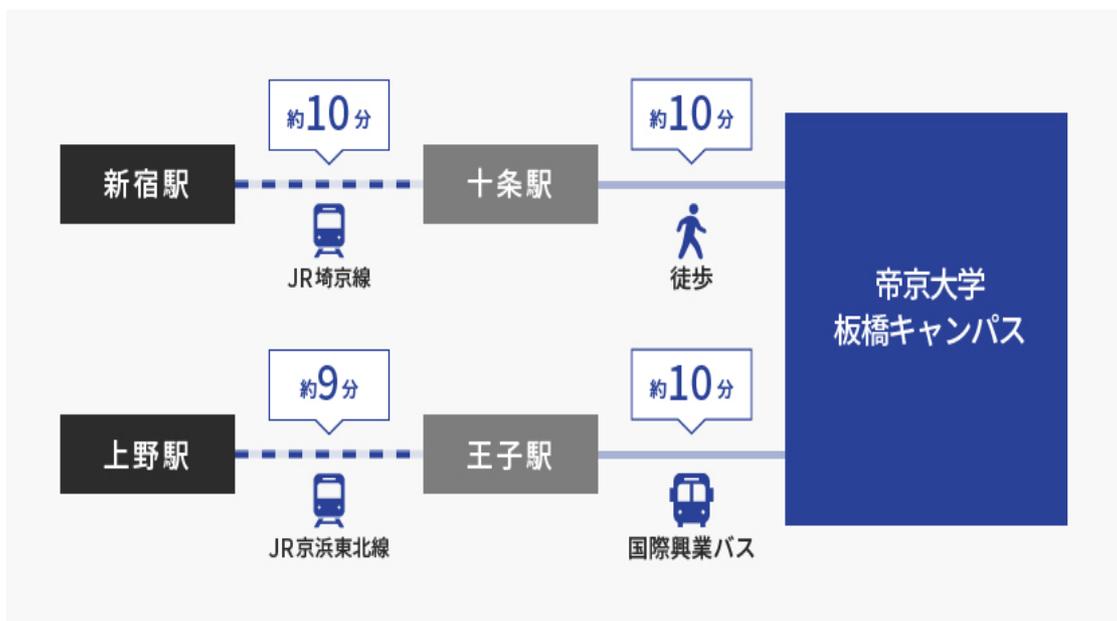
### 4. その他の説明

都道府県内における各キャンパスの位置を示すため、地図上に所要の事項を記入した

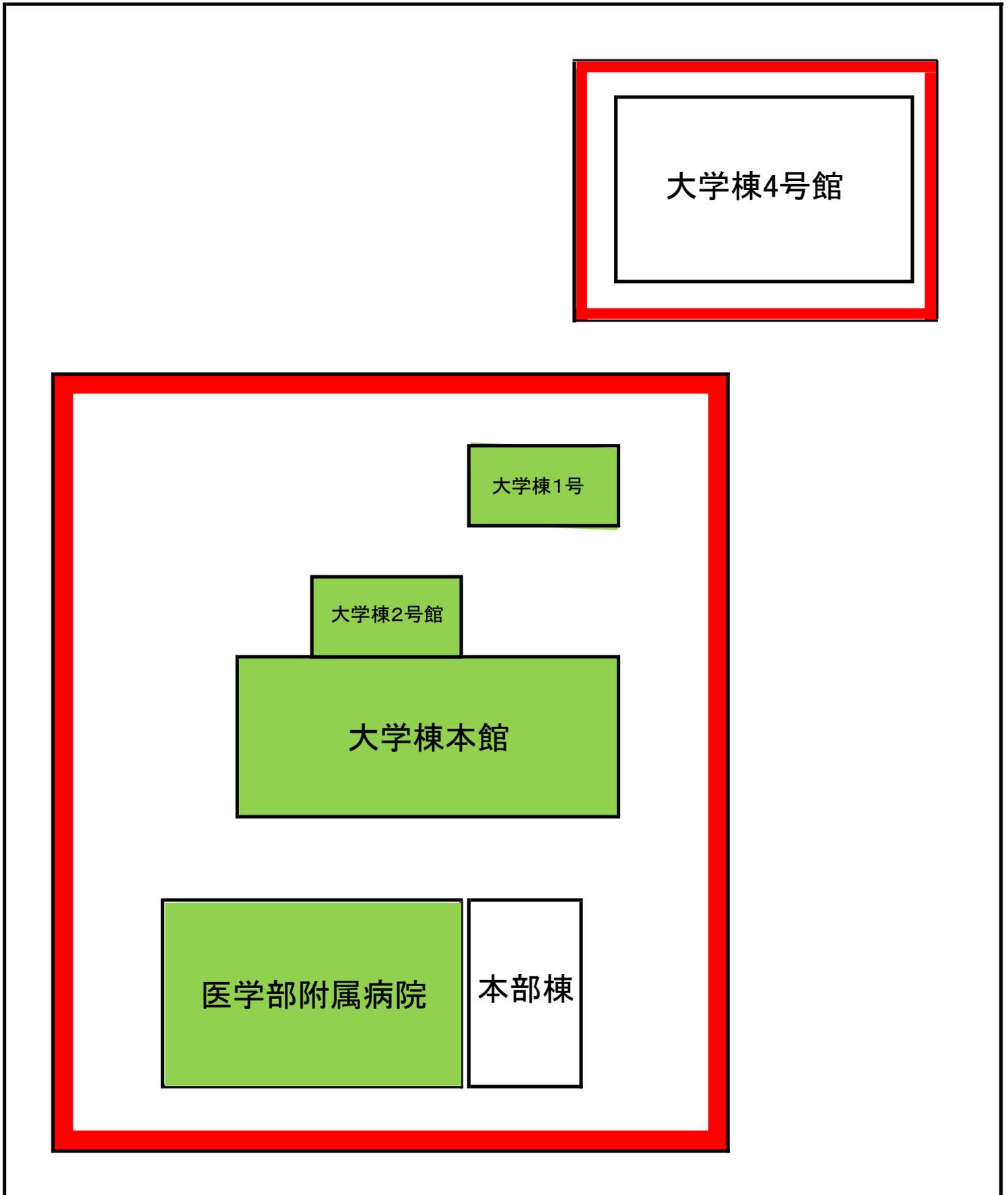
# 板橋キャンパス

〒173-8605

東京都板橋区加賀2-11-1



# 帝京大学板橋キャンパス 配置図



■ : 医学部が使用する建物

■ : 校地

【校地(板橋キャンパス)】

校地: 54,085.51 m<sup>2</sup>

校舎: 106,665.06 m<sup>2</sup>

帝 京 大 学  
学 則

2025年4月1日

(案)

※本申請に該当する部分を抜粋

# 帝京大学学則

## 第1章 使命及び目的

(使命及び目的)

第1条 本大学は、教育基本法及び学校教育法の本旨、並びに「努力をすべての基とし 偏見を排し 幅広い知識を身につけ 国際的視野に立って判断ができ 実学を通して創造力および人間味豊かな専門性ある人材の養成を目的とする」という建学の精神に則り、高等学校教育の上にさらに専門的知識と高度の理論並びに技術を教授し、グローバルな観点から社会の発展に貢献できる、創造性の溢れた教養高い人材を養成することを使命及び目的とする。

(自己点検・評価)

第2条 本大学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の使命及び目的を達成するため、本大学における教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 自己点検・評価に関する事項は、別に定める。

## 第2章 組織

(学部・学科)

第3条 本大学に、次の学部を置くものとする。

文学部

外国語学部

教育学部

経済学部

法学部

医学部

薬学部

理工学部

医療技術学部

福岡医療技術学部

2 前項に掲げる各学部 zu 置く学科並びにその入学定員、編入学定員及び収容定員は、別表1のとおりとする。

#### 附 則

- 1 この学則は、2025年（令和7年）4月1日から施行する。
- 2 授業科目及び単位並びに卒業要件単位は、改正後の第23条第1項及び第33条第1項の規定にかかわらず、2025年（令和7年）3月31日に在学する者及び2025年（令和7年）4月1日以降に在学者の属する年次に編入学、転学又は再入学する者については、なお従前の例による。
- 3 2025年度（令和7年度）から2030年度（令和12年度）までの学部又は学科ごとの収容定員は、次の表のとおりとする。

## 文学部

学 科	2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)		2029年度 (令和11年度)		2030年度 (令和12年度)	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
日本文化学科	120名	490名	120名	490名	120名	490名	120名	490名	120名	490名	120名	490名
史学科	213名	858名	213名	858名	213名	858名	213名	858名	213名	858名	213名	858名
社会学科	208名	838名	208名	838名	208名	838名	208名	838名	208名	838名	208名	838名
心理学科	200名	806名	200名	806名	200名	806名	200名	806名	200名	806名	200名	806名
計	741名	2992名	741名	2992名	741名	2992名	741名	2992名	741名	2992名	741名	2992名

## 外国語学部

学 科	2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)		2029年度 (令和11年度)		2030年度 (令和12年度)	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
外国語学科	250名	1014名	250名	1014名	250名	1014名	250名	1014名	250名	1014名	250名	1014名
国際日本学科	150名	600名	150名	600名	150名	600名	150名	600名	150名	600名	150名	600名
計	400名	1614名	400名	1614名	400名	1614名	400名	1614名	400名	1614名	400名	1614名

## 教育学部

学 科	2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)		2029年度 (令和11年度)		2030年度 (令和12年度)	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
教育文化学科	100名	465名	100名	465名	100名	465名	100名	465名	100名	465名	100名	465名
初等教育学科	230名	935名	230名	935名	230名	935名	230名	935名	230名	935名	230名	935名
計	330名	1400名	330名	1400名	330名	1400名	330名	1400名	330名	1400名	330名	1400名

## 経済学部

学 科	2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)		2029年度 (令和11年度)		2030年度 (令和12年度)	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
経済学科	550名	2240名	550名	2240名	550名	2240名	550名	2240名	550名	2240名	550名	2240名
国際経済学科	200名	806名	200名	806名	200名	806名	200名	806名	200名	806名	200名	806名
地域経済学科	100名	425名	100名	425名	100名	425名	100名	425名	100名	425名	100名	425名
経営学科	550名	2260名	550名	2260名	550名	2260名	550名	2260名	550名	2260名	550名	2260名
観光経営学科	170名	690名	170名	690名	170名	690名	170名	690名	170名	690名	170名	690名
計	1570名	6421名	1570名	6421名	1570名	6421名	1570名	6421名	1570名	6421名	1570名	6421名

## 法学部

学 科	2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)		2029年度 (令和11年度)		2030年度 (令和12年度)	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
法律学科	375名	1506名	375名	1506名	375名	1506名	375名	1506名	375名	1506名	375名	1506名
政治学科	100名	406名	100名	406名	100名	406名	100名	406名	100名	406名	100名	406名
計	475名	1912名	475名	1912名	475名	1912名	475名	1912名	475名	1912名	475名	1912名

## 医学部

学 科	2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)		2029年度 (令和11年度)		2030年度 (令和12年度)	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医学科	119名	701名	110名	695名	110名	689名	110名	683名	110名	677名	110名	669名

※入学定員及び収容定員には、臨時定員を含む。

## 薬学部

学 科	2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)		2029年度 (令和11年度)		2030年度 (令和12年度)	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
薬学科	320名	1920名	320名	1920名	320名	1920名	320名	1920名	320名	1920名	320名	1920名

## 理工学部

学 科	2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)		2029年度 (令和11年度)		2030年度 (令和12年度)	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
総合理工学科	195名	195名	195名	390名	195名	585名	195名	780名	195名	780名	195名	780名
機械・精密 システム工学科	0名	150名	0名	100名	0名	50名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
航空宇宙工学科	0名	135名	0名	90名	0名	45名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
情報電子工学科	0名	255名	0名	170名	0名	85名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
バイオサイエ ンス学科	0名	255名	0名	170名	0名	85名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
データサイエ ンス学科	70名	70名	70名	140名	70名	210名	70名	280名	70名	280名	70名	280名
情報科学科 通信教育課程	200名	800名	200名	800名	200名	800名	200名	800名	200名	800名	200名	800名
計	465名	1860名	465名	1860名	465名	1860名	465名	1860名	465名	1860名	465名	1860名

医療技術学部

学 科	2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)		2029年度 (令和11年度)		2030年度 (令和12年度)	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
視能矯正学科	100名	400名	100名	400名	100名	400名	100名	400名	100名	400名	100名	400名
看護学科	130名	520名	130名	520名	130名	520名	130名	520名	130名	520名	130名	520名
診療放射線学科	100名	400名	100名	400名	100名	400名	100名	400名	100名	400名	100名	400名
臨床検査学科	100名	400名	100名	400名	100名	400名	100名	400名	100名	400名	100名	400名
スポーツ医療学科	390名	1560名	390名	1560名	390名	1560名	390名	1560名	390名	1560名	390名	1560名
柔道整復学科	90名	360名	90名	360名	90名	360名	90名	360名	90名	360名	90名	360名
計	910名	3640名	910名	3640名	910名	3640名	910名	3640名	910名	3640名	910名	3640名

福岡医療技術学部

学 科	2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)		2029年度 (令和11年度)		2030年度 (令和12年度)	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
理学療法学科	80名	320名	80名	320名	80名	320名	80名	320名	80名	320名	80名	320名
作業療法学科	40名	160名	40名	160名	40名	160名	40名	160名	40名	160名	40名	160名
看護学科	80名	320名	80名	320名	80名	320名	80名	320名	80名	320名	80名	320名
診療放射線学科	60名	240名	60名	240名	60名	240名	60名	240名	60名	240名	60名	240名
医療技術学科	80名	320名	80名	320名	80名	320名	80名	320名	80名	320名	80名	320名
計	340名	1360名	340名	1360名	340名	1360名	340名	1360名	340名	1360名	340名	1360名

帝京大学 総計

	2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)		2029年度 (令和11年度)		2030年度 (令和12年度)	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
総 計	5670名	23820名	5661名	23814名	5661名	23808名	5661名	23802名	5661名	23796名	5661名	23788名

別表1 (第3条第2項関係)

学部	学科	入学定員	編入学定員		収容定員
			2年次	3年次	
文学部	日本文化学科	120名	/	5名	490名
	史学科	213名	/	3名	858名
	社会学科	208名	/	3名	838名
	心理学科	200名	/	3名	806名
	計	741名	/	14名	2,992名
外国語学部	外国語学科	250名	/	7名	1,014名
	国際日本学科	150名	/	/	600名
	計	400名	/	7名	1,614名
教育学部	教育文化学科	100名	5名	25名	465名
	初等教育学科	230名	5名	/	935名
	計	330名	10名	25名	1,400名
経済学部	経済学科	550名	/	20名	2,240名
	国際経済学科	200名	/	3名	806名
	地域経済学科	100名	5名	5名	425名
	経営学科	550名	/	30名	2,260名
	観光経営学科	170名	/	5名	690名
	計	1,570名	5名	63名	6,421名
法学部	法律学科	375名	/	3名	1,506名
	政治学科	100名	/	3名	406名
	計	475名	/	6名	1,912名
医学部	医学科※1	110名	/	/	660名
薬学部	薬学科	320名	/	/	1,920名
理工学部	総合理工学科	195名	/	/	780名
	データサイエンス学科	70名	/	/	280名
	計	265名	/	/	1,060名
医療技術学部	視能矯正学科	100名	/	/	400名
	看護学科	130名	/	/	520名
	診療放射線学科	100名	/	/	400名
	臨床検査学科	100名	/	/	400名
	スポーツ医療学科	390名	/	/	1,560名
	柔道整復学科	90名	/	/	360名
	計	910名	/	/	3,640名
福岡医療技術学部	理学療法学科	80名	/	/	320名
	作業療法学科	40名	/	/	160名
	看護学科	80名	/	/	320名
	診療放射線学科	60名	/	/	240名
	医療技術学科	80名	/	/	320名
	計	340名	/	/	1,360名
総計		5,461名	15名	115名	22,979名

※1 医学部の臨時定員については、附則において記載する。

別表2 (第4条第2項関係)

学部	学科	入学定員	編入学定員		収容定員
			2年次	3年次	
理工学部	情報科学科通信教育課程	200名	/	/	800名

## 学則変更の趣旨等を記載した書類 目次

ア 学則変更（収容定員変更）の内容	2
イ 学則変更（収容定員変更）の必要性	2
ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	11
(ア) 教育課程の変更内容	11
(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容	12
(ウ) 教員組織の変更内容	13
(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容	14
(オ) その他	15

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### ア 学則変更（収容定員変更）の内容

2018(平成 30)年 6 月 15 日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2018～少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現～」および「令和 7 年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について（通知）」（令和 5 年 11 月 27 日付け 5 文科高第 1230 号文部科学省高等教育局長、医政医発 1127 第 3 号厚生労働省医政局長連名通知）を踏まえた、**2025(令和 7)年度の医学部入学定員に関する暫定的な措置に伴い、医師偏在の課題を抱える福島県、茨城県、千葉県、新潟県、静岡県および群馬県の医師確保の要請に応え、地域医療に従事する医師の養成を目的とするため、2025(令和 7)年度の医学部入学定員を 110 人から 119 人に変更する。**

### イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

帝京大学は、1966(昭和 41)年創立以来、「努力をすべての基とし偏見を排し 幅広い知識を身につけ 国際的視野に立って判断ができ 実学を通して創造力および人間味豊かな専門性ある人材の養成を目的とする」という建学の精神のもと、学部・学科の設置、教育内容や質の改善、研究の推進、施設・設備の拡充、入試制度の見直し等を行い、医療系・文系・理系学部を有する総合大学として不断の改革と充実に努めてきた。また、「実学」「国際性」「開放性」を教育指針として掲げ、実学を通して論理的思考を身につけながら、力強く行動できる人材を輩出してきた。

一方、社会を取り巻く様々な問題や価値観の変化等の課題に対する対応も大学は求められており、持続可能な国際社会を創りあげるために 2030 年までの達成が世界中で目指されている SDGs (Sustainable Development Goals)の 17 の目標への挑戦など、本学も持続可能な社会実現に向けた様々な取り組みを行っているところである。

医学・医療に目を向けると、疾患の診断や治療がますます複雑化・多様化し、さらに急速な人口の高齢化に伴い医療に対する国民の要求や需要が高まっている。また、地域（特に非都市部）の医師不足は深刻な状況であり、継続的に医師従事者需給に関する検討が行われているが、医師養成数については、医師偏在対策に加え、医師の働き方改革の検討も重なり、早急な対応が必要な状態に迫られている。

医学部臨時定員増に係る国の方針と本学の対応については、「経済財政改革の基本方針 2009」（平成 21 年 6 月 23 日閣議決定）、「新成長戦略」（平成 22 年 6 月 18 日閣議決定）、「経済財政運営と改革の基本方針 2018」（平成 30 年 6 月 15 日閣議決定）、「経済財政運営と改革の基本方針 2019」（令和元年 6 月 21 日閣議決定）に基づき、2009(平成 21)年度より各県と協議を開始し、2010(平成 22)年度から暫定的な臨時定員増を行ってきた。

上記の経過を経て、この度「令和 7 年度の医学部入学定員等の臨時的な増加の取扱いについて」（令和 6 年 4 月 23 日付け文部科学省高等教育局医学教育課、厚生労働省医政局医事課 連名事務連絡）が発出されたことを踏まえ、2025(令和 7)年度の地域医療医師確保計画に基づく地域枠の取扱いについて、これまで臨時定員および恒久定員にて連携してい

る5県に新たに群馬県を含めた6県と協議をした結果、各県と合意が得られたため、以下の枠組みで、臨時定員の申請を行う。

《2025(令和7)年度の臨時定員(地域枠)》

福島県地域枠 2名  
茨城県地域枠 1名 ※  
千葉県地域枠 2名  
新潟県地域枠 1名 (診療科選定あり)  
静岡県地域枠 2名  
群馬県地域枠 1名 (診療科推奨あり)  
合計 9名

※茨城県地域枠は、上記に加え恒久定員1名。

なお、各県における医師確保の必要性については以下の通りである。

1) 福島県

福島県の医師数の状況については、厚生労働省が公表した「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況(令和4(2022)年12月31日現在)」(資料①)によると、人口10万人対医師数は、218.7人(47都道府県中42位)となっており、2年前(令和2(2020)年の205.7人)に比べて増加しているが、全国平均の262.1人を大きく下回っている。

厚生労働省が公表した都道府県の「医師偏在指標(令和6年1月10日更新)」(資料②)では、全国医師偏在指標255.6に対して福島県は190.5となっており、全国の下位33.3%に該当する「医師少数都道府県」となる。全国で「医師偏在指標」の数値が200.0以下は7県になるが、福島県はこの7県の中に含まれており、全国的に見ても医師不足が非常に深刻である。

同県の医師数は、2011(平成23)年3月の東日本大震災以前から深刻な状況ではあったが、震災後にさらに減少した。その後、2017(平成29)年に東日本大震災以前の水準まで回復し、その後は増加傾向が見られる。

ただし、医師の地域偏在は深刻であり、県内を6の区域に分けた二次医療圏に目を向けると、全国二次医療圏の「医師偏在指標(令和6年1月10日更新)」(資料②)が255.6に対して、県北医療圏は266.1で全国の上位33.3%に位置する医師多数区域に該当するが、県南医療圏(162.7)、相双医療圏(155.5)、いわき医療圏(123.2)、会津・南会津医療圏(168.9)の4医療圏は、全国的に見て下位33.3%に位置する医師少数区域に該当している。特に相双医療圏においては、未だ東日本大震災以前の水準まで回復しておらず、今後の住民の帰還や医療提供体制の推移等を見据え、引き続き医師確保に向けた取り組みを進めていく必要がある。

このような状況下、福島県では地域枠医師等の地域定着のための取り組みとして、へき地医療対策に係る各種事業を円滑かつ効率的に実施することを目的に、2004(平成16)年1月に福島県へき地医療支援機構を設置、地域に必要な医師の確保その他地域医療の確保対策等について関係者による検討・協議を行う場として2008(平成20)年10月に福島県地域

医療対策協議会を設置、医師不足や地域偏在を解消に向けた施策を実施するため、2011(平成 23)年 12 月に福島県立医科大学内に福島県地域医療支援センターを設置するなどの組織作りに取り組んできた。

また、医師のキャリア形成支援と県内定着促進する取り組みとしては、修学資金貸与医師の県内定着促進、県内臨床研修病院の連携強化、指導医の養成等による臨床研修体制の充実、医学生や若手医師が定着できる魅力ある指導環境の整備等が挙げられる。

その他、医師を志す学生に対する支援については、地域医療に関心のある医学生を対象に、へき地診療所等の地域医療の現場視察や地域医療に従事する医師との懇談・地域住民との交流などの体験研修の実施、福島県内の臨床研修病院が一堂に会す合同説明会（合同ガイダンス）の開催、福島県内の臨床研修病院を見学する県外大学の医学部生（4 年から 6 年生）を対象として、旅費（交通費・宿泊費）を支給する制度の運用などに取り組んでいる。

現在、福島県における医師修学資金貸与制度は複数あるが、帝京大学医学部地域枠に紐付けされている制度は「地域医療医師確保修学資金」制度である。

本学と福島県との地域枠の連携については、2010(平成 22)年度から開始されており、2024(令和 6)年度で 15 年目の長きに亘って連携してきたことになる。福島県と連携している大学は、2024(令和 6)年度において福島県立医科大学と本学の 2 大学のみであり、他県と比較すると連携している大学が少なく、2025(令和 7)年度以降も帝京大学「福島県枠」の臨時定員 2 名の維持を強く希望している。

福島県と本学との連携は必要不可欠なことから、改めて 2025(令和 7)年度の地域枠について福島県と本学とで協議をした結果、継続する合意が得られたため、この度、福島県保健福祉部長から本学の臨時入学定員（地域枠）2 人を含む「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和 6 年 8 月 7 日付で厚生労働省医政局長宛に提出された。（資料③）この誓約書に基づき本学は、福島県との連携を前提とした臨時入学定員 2 人を計画する。

（引用元：福島県ホームページおよび「福島県医師確保計画」）

## 2) 茨城県

茨城県の医師数の状況については、厚生労働省が公表した「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況（令和 4(2022)年 12 月 31 日現在）」（資料①）によると、人口 10 万人対医師数は、202.0 人（47 都道府県中 46 位）となっており、2 年前(令和 2(2020)年の 193.8 人に比べて増加しているが、全国平均の 262.1 人を大きく下回っている。

厚生労働省が公表した都道府県の「医師偏在指標（令和 6 年 1 月 10 日更新）」（資料②）では、全国医師偏在指標 255.6 に対して茨城県は 193.6 となっており、全国の下位 33.3% に該当する「医師少数都道府県」となる。全国で「医師偏在指標」の数値が 200.0 以下は 7 県になるが、茨城県はこの 7 県の中に含まれており、全国的に見ても医師不足が非常に深刻である。

また、県内の 9 つの二次医療圏を全国二次医療圏の「医師偏在指標（令和 6 年 1 月 10 日更新）」（資料②）（255.6）と比較すると、水戸医療圏（231.2）とつくば医療圏（337.7）

は、全国の二次医療圏の上位 33.3%に位置する医師多数区域に該当するが、日立医療圏 (140.3)、常陸太田・ひたちなか医療圏 (140.3)、鹿行医療圏 (137.2)、取手・竜ヶ崎医療圏 (173.3)、筑西・下妻医療圏 (153.0)、古河・坂東医療圏 (148.8) の 6 医療圏は、全国的に見ての下位 33.3%に位置する医師少数区域に該当しており、県内における顕著な医師偏在の実態が浮き彫りとなっている。

2019(平成 31)年 3 月の医師需給分科会において「将来時点(2036(令和 18)年時点)における不足医師数等(都道府県単位)(暫定版)」が示され、茨城県の 2036(令和 18)年に向けた医師の年間不足養成数は 81 人と示された。この暫定数値に基づく 2036(令和 18)年時点の必要医師数を確保するためには、茨城県としては、2024(令和 6)年度から 24 名の地域枠の新増設が必要と試算している。

医学部地域枠修学生を対象とした茨城県地域医療支援センターの取り組みとして、サマーセミナー・修学生の集い・スプリングセミナーなどの実施が挙げられる。サマーセミナーは、2022(令和 4)年度は Web 開催であったが、2023(令和 5)年度は、1～4 年生対象の病院見学会や 5 年生対象の地域医療研修会を現地開催で行った。また、6 年生修学生を対象に自治医科大学茨城県人会学術集会のオンライン参加を呼びかけた。修学生の集いについても、2022(令和 4)年度は Web 開催であったが、2023(令和 5)年度は 1～5 年生を対象とした修学生医師による症例発表会、学生企画(ワークショップ)および交流会を現地開催で実施した。スプリングセミナーについては、1～5 年生対象に医療圏紹介映像の放映や参加医療機関の医師らとの質疑応答などを Web 開催方式で実施した。2024(令和 6)年度も引き続きこれらの企画について現地開催を中心に行う予定である。

また、キャリア形成プログラムの取り組みとしては、基本診療科 19 領域のうち、臨床検査科を除く 18 領域について、県内の医療機関を基幹施設とするプログラムを作成済みである。実際の勤務をイメージしやすいよう、義務年限中のモデルを示すことで、修学生医師の義務の履行とキャリア形成への不安の解消を図っている。(引用元:茨城県ホームページおよび茨城県作成資料)

本学と茨城県とのこれまでの連携については、茨城県の不足医師数の確保のニーズに応えるため、2020(令和 2)年度より恒久定員枠にて茨城県特別地域枠の入学選抜を実施してきたが、茨城県内の地域の医師不足に貢献する人材を養成し、医師確保を推進していくために、2023(令和 5)年度に茨城県と本学とで医学部入学定員にかかる臨時定員増の協議を行い、従来の恒久定員内の地域枠 1 名に加え、臨時定員による地域枠 1 名の合意が得られた。このことを踏まえ、茨城県保健医療部長から本学の臨時入学定員(地域枠)1 人を含む「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和 5 年 8 月 10 日付で厚生労働省医政局長宛に提出された。この誓約書に基づき本学は、2024(令和 6)年度より茨城県との連携を前提とした臨時入学定員 1 人の計画を加えた収容定員に係る学則変更を行った。2024(令和 6)年度において茨城県と本学とで協議をした結果、2025(令和 7)年度も継続する合意が得られたため、引き続き茨城県保健医療部長から本学の臨時入学定員(地域枠)1 人を含む「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和 6 年 8 月 9 日付で厚生労働省医政局長宛に正式に提出された(資料④)。この計画書に基づき本学は、茨城県との連携を前提とした臨時入学定員 1 人を計画する。

なお、従来の恒久定員枠での1名を維持し、かつ、臨時定員枠1名とするため、茨城県の地域枠設置数は計2名となる。

### 3) 千葉県

千葉県の医師数の状況については、厚生労働省が公表した「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況（令和4（2022）年12月31日現在）」（資料①）によると、人口10万人対医師数は、209.0人（47都道府県中45位）となっており、2年前（令和2（2020）年の205.8人）に比べて増加しているが、全国平均の262.1人を大きく下回っている。

厚生労働省が公表した都道府県の「医師偏在指標（令和6年1月10日更新）」（資料②）では、全国医師偏在指標255.6に対して千葉県は213.0となっており、全国の下位33.3%に該当する「医師少数都道府県」となる。

また、県内の9つの二次医療圏を全国二次医療圏の「医師偏在指標（令和6年1月10日更新）」（資料②）（255.6）と比較すると、千葉医療圏（268.6）と安房医療圏（322.6）は、全国の二次医療圏の上位33.3%に位置する医師多数区域に該当するが、山武長生夷隅医療圏（145.1）や君津医療圏（173.5）の2医療圏は、は、全国的に見て下位33.3%に位置する医師少数区域に該当しており、千葉県においても顕著な医師偏在が見られる。

このような状況下、千葉県の地域枠医師等の地域定着のための取り組みとして、地域に必要な医療を確保するため、県内の自治体病院の経営状態や医師不足による診療体制の縮小などの状況を把握し、各自治体の状況に応じた、医療資源の活用や機能分担などを図ることを目的として、2008（平成20）年9月に知事を本部長とする千葉県自治体病院支援対策本部を設置した。

また、2012（平成24）年10月に地域医療関係者と連携した千葉県地域医療支援センターを設置し、医師の地域偏在を解消するため、県内の医師不足の状況等を把握・分析し、医師のキャリア形成支援と一体的に医師不足病院の医師確保の支援等を行うとともに、医師確保に関する情報発信や相談対応を強化した。同センターの具体的な取り組みとして、①医師不足状況等の把握・分析、②千葉県医師修学資金貸付制度や千葉県ドクターバンク事業などの医師不足病院への支援、③臨床研修病院合同セミナー開催などのキャリア形成支援事業、④ホームページによる情報発信や女性医師等就業支援相談事業などの情報発信と相談への対応が挙げられる。

上記②の千葉県医師修学資金貸付制度については、2009（平成21）年度から2023（令和5）年度までに貸付を受けた者は625名で、毎年約60名ずつ制度利用者が増えおり、現在1～6年生で貸付制度を利用している修学生は320名である。修学資金貸付を利用した医師数は堅調に推移している。

上記③のキャリア形成支援事業については、地域医療へ貢献する意思を有する医学生に対して、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援をすることを目的として、「千葉県キャリア形成卒前支援プラン」を策定している。キャリア形成プログラムの内容については、病院見学バスツアーやセミナーなどの参加、キャリアコーディネータやキャリアサポーターへの相談などが挙げられる（引用元：千葉県ホームページ）。

このような支援を通じて地域医療に貢献する医師の育成を行っており、2024(令和 6)年度において千葉県地域枠を設置する大学は 5 大学となっている。

本学と千葉県との地域枠の連携については、千葉県内に帝京大学ちば総合医療センターが設置されている縁もあり、2011(平成 23)年度から開始されており、2024(令和 6)年度で 14 年目の長きに亘って連携してきたことになる。今後も千葉県内の地域の医師不足に貢献する人材を養成し、医師確保を推進していくために双方の連携は必要不可欠なことから、改めて 2025(令和 7)年度の地域枠について千葉県と本学とで協議をした結果、継続する合意が得られたため、この度、千葉県知事から本学の臨時入学定員（地域枠）2 人を含む地域枠入学者の地域への定着を誓約する「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和 6 年 8 月 16 日付で厚生労働省医政局長宛に正式に提出された（資料⑤）。この計画書に基づき本学は、千葉県との連携を前提とした臨時入学定員 2 人を計画する。

#### 4) 新潟県

新潟県の医師数の状況については、厚生労働省が公表した「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況（令和 4（2022）年 12 月 31 日現在）」（資料①）によると、人口 10 万人対医師数は、212.8 人（47 都道府県中 44 位）となっており、2 年前(令和 2(2020)年の 204.3 人)に比べて増加しているが、全国平均の 262.1 人を大きく下回っている。

厚生労働省が公表した都道府県の「医師偏在指標（令和 6 年 1 月 10 日更新）」（資料②）では、全国医師偏在指標 255.6 に対して新潟県は 184.7 となっており、全国の下位 33.3% に該当する「医師少数都道府県」に該当する。全国で「医師偏在指標」の数値が 200.0 以下は 7 県になるが、新潟県はこの 7 県の中に含まれており、全国的に見ても医師不足が非常に深刻である。

また、県内の 7 つの二次医療圏を全国二次医療圏の「医師偏在指標（令和 6 年 1 月 10 日更新）」（資料②）（255.6）と比較すると、新潟医療圏（234.3）は、全国の二次医療圏の上位 33.3% に位置する医師多数区域に該当するが、下越医療圏（156.0）、県央医療圏（141.6）、中越医療圏（158.2）、魚沼医療圏（132.0）、上越医療圏（159.6）、佐渡医療圏（138.9）の 6 医療圏は、全国的に見て下位 33.3% に位置する医師少数区域に該当しており、明らかに医師数が一極集中化して、多くの地域で顕著な医師不足が見られる。新潟県における医師需給の現状と将来の見通しについては、将来時点の医師供給推計から、医師数が顕著に減少することが懸念されている。

新潟県では、将来の人口構造に対応した医療提供体制の構築が必要なことなどから「新潟県地域医療構想」を 2017(平成 29)年 3 月に策定した。その中で、新潟県の人口は、既に減少傾向にあり、2025(令和 7)年には 211 万 2,473 人、2040(令和 22)年には 179 万 918 人と、急速な人口減少を予測するとともに、高齢者人口の比率の方は今後大きく増加することを推計している。また、ここでも二次医療圏における人口 10 万対医師数や同病床数の格差について分析されている。

このような状況下、地域枠医師等の地域定着のための取り組みとして、地域医療を担う医師の養成やキャリア形成支援や医師不足病院への医師確保の支援等を行うため、福祉保健部医師・看護職員確保対策課内に「新潟県地域医療支援センター」を設置している。事

業内容については、①新潟県医師養成修学資金貸与学生に対する地域医療実習の企画・運営およびキャリア形成プランの提示、②医師を対象としたワークライフに関する調査の実施・分析、③新潟県医師配置基礎調査の実施、④ドクターバンク事業への支援などが挙げられる。

また、新潟県が掲げる独自の取り組みとしては、臨床研修プログラムの魅力向上、臨床研修病院の教育力向上、イノベーター育成臨床研修コースの設定、病院・市と連携した海外留学支援制度、他県病院と連携した研修プログラムの創設、学生へのリクルート活動の強化、専門研修指導医派遣設定事業、特定診療奨学金貸与事業制度などが挙げられる。これらの取り組みが実を結び、2024(令和 6)年の臨床研修医数が過去最多の 161 名に達した。

(引用元：新潟県ホームページおよび新潟県作成資料)

このように新潟県では、在学中から卒業後教育までの様々な支援を通じて地域医療に貢献する医師の育成を行っているが、更に地域の医師確保を推進するため、地域枠については、毎年度新設・拡大に向けた調整を行っている。2024(令和 6)年度地域枠の新設に際して、新潟県と本学との連携は必要不可欠であることから、双方で協議を行った結果、連携する合意が得られたため、新潟県福祉保健部長より本学の臨時入学定員（地域枠）1 人を含む「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和 5 年 8 月 10 日付で厚生労働省医政局長宛に正式に提出された。この誓約書に基づき本学は、2024 年度より新潟県との連携を前提とした臨時入学定員 1 人の計画を加えた収容定員に係る学則変更を行った。この結果、2024(令和 6)年度において新潟県地域枠を設置する大学は新たに本学も加わり 12 大学となっている。

引き続き 2025(令和 7)年度においても新潟県との協議の結果、継続する合意が得られたため、新潟県福祉保健部長から本学の臨時入学定員（地域枠）1 人を含む「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和 6 年 8 月 19 日付で厚生労働省医政局長宛に正式に提出された（資料⑥）。この計画書に基づき本学は、新潟県との連携を前提とした臨時入学定員 1 人を計画する。

## 5) 静岡県

静岡県の医師数の状況については、厚生労働省が公表した「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況（令和 4(2022)年 12 月 31 日現在）」（資料①）によると、人口 10 万人対医師数は、230.1 人（47 都道府県中 39 位）となっており、2 年前(令和 2(2020)年の 219.4 人)に比べて増加しているが、全国平均の 262.1 人を大きく下回っている。

厚生労働省が公表した都道府県の「医師偏在指標（令和 6 年 1 月 10 日更新）」（資料②）では、全国医師偏在指標 255.6 に対して静岡県は 211.8 となっており、全国の下位 33.3% に該当する「医師少数都道府県」に該当する。

また、県内の 8 つの二次医療圏を全国二次医療圏の「医師偏在指標（令和 6 年 1 月 10 日更新）」（資料②）（255.6）と比較すると、静岡医療圏（234.4）、西部医療圏（258.0）は、全国の二次医療圏の上位 33.3%に位置する医師多数区域に該当するが、賀茂医療圏（144.4）、富士医療圏（157.9）、中東遠医療圏（176.3）の 3 医療圏は、全国の下位 33.3%に位置する医師少数区域に該当しており、県内において顕著な医師偏在が見られる。

このような状況下、静岡県では地域枠医師等の地域定着のための取り組みとして、医師支援策を一元的かつ専門的に推進するため、2010(平成 22)年 10 月に「ふじのくに地域医療支援センター」を設置した。同センターが設置されたことにより、①医療の質の向上および医師を確保するための研修の充実、②医師および医学生の県内就職を促進するための情報発信・リクルート活動の促進、③医学修学研修資金利用者の配置方針の検討、④県内の各地域および各病院等の医療に関する調査および研究などについての業務が強化された。

上記①および②に関する医学部生に向けた取り組みとしては、県内病院での勤務に関する情報提供や先輩医師・他大学医学生との交流を目的とした「バーチャルメディカルカレッジ夏季セミナー」の開催、専任医師や先輩医師との交流を通して地域医療を学ぶ「医学修学研修資金利用者意見交換会」の開催、県内臨床研修病院の指導医や先輩研修医と交流を行う「病院合同説明会」の開催や「病院見学ツアー」の実施などが挙げられる。

さらに、静岡県では、県内の医師確保や医師偏在解消を目的として、一般社団法人静岡県医師会と協力し、県内で働きたい医師への就業支援などを行う医師向け無料職業紹介サイト「静岡県医師バンク」を運営して、様々なキャリアアップを希望する医師に役立つ情報を発信するなどの支援をしている。(引用元：静岡県ホームページおよび「静岡県医学修学研修資金ガイドブック 2024」)

上記③に関連する静岡県医学修学研修資金制度については、2009(平成 21)年度から2013(平成 25)年度当時の新規貸与枠は 100 人であったが、2014(平成 26)年度に 120 人に拡大し、2024(令和 6)年 3 月現在の実績において 1,620 人が利用しており、貸付制度を利用する修学生数は堅調に推移している。

このような支援を通じて地域医療に貢献する医師の育成を行っており、2024(令和 6)年度において静岡県地域枠を設置する大学は 10 大学となっている。

本学と静岡県との地域枠の連携については、2016(平成 28)年度から開始されており、2025(令和 7)年度でちょうど 10 年目を迎えることになる。今後も静岡県内の地域の医師不足に貢献する人材を養成し、医師確保を推進していく必要があり、改めて 2025(令和 7)年度の地域枠について静岡県と本学とで協議をした結果、継続する合意が得られたため、この度、静岡県健康福祉部長から本学の臨時入学定員(地域枠)2 人を含む「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和 6 年 8 月 14 日付で厚生労働省医政局長宛に正式に提出された(資料⑦)。この計画書に基づき本学は、静岡県との連携を前提とした臨時入学定員 2 人を計画する。

## 6) 群馬県

群馬県の医師数の状況については、厚生労働省が公表した「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況(令和 4(2022)年 12 月 31 日現在)」(資料①)によると、人口 10 万人対医師数は、233.4 人(47 都道府県中 37 位)となっており、2 年前(令和 2(2020)年の 233.8 人に比べて若干減少し、全国平均の 262.1 人を大きく下回っている。

厚生労働省が公表した都道府県の「医師偏在指標(令和 6 年 1 月 10 日更新)」(資料②)では、全国医師偏在指標 255.6 に対して群馬県は 219.7 となっており、全国の下位 33.3%

に該当する「医師少数都道府県」に該当する。

また、県内 10 ヶ所の二次医療圏を全国二次医療圏の「医師偏在指標（令和 6 年 1 月 10 日更新）」（資料②）（255.6）と比較すると、前橋医療圏（340.2）は、全国の二次医療圏の上位 33.3%に位置する医師多数区域に該当するが、渋川医療圏（175.8）、伊勢崎医療圏（179.1）、吾妻医療圏（154.4）、桐生医療圏（174.5）、太田・館林医療圏（149.7）の 5 医療圏は、全国の下位 33.3%に位置する医師少数区域に該当しており、明らかに医師数が一極集中化して、多くの地域で顕著な医師不足が見られる。

上記の二次医療圏において効果的な対策の推進を図ることを目的として、地域保健医療対策協議会を設置している。具体的には、保健医療計画や地域医療構想などについての協議を進めている。

群馬県の保健医療計画については、県民が将来にわたり良質かつ適切な医療を効率的・継続的に受けられる体制を確保するため、第 8 次群馬県保健医療計画を 2018(平成 30)年 3 月に策定し、厚生労働省が公表した医師偏在指標を基に、地域間の医師偏在是正を図るため、医師確保計画の見直しを行っている。その後も医師確保計画や外来医療計画を定期的に見直すため、2020(令和 2)年 4 月に一部改訂版を作成している。

群馬県の医師確保対策の取り組みとしては、医師総数の確保や地域偏在、診療科偏在の解消のために、県、医師会、大学および県内の医療機関等が連携してオール群馬体制で取り組む「群馬県地域医療対策協議会（ぐんま総合医会）」を立ち上げ、関係者間の協議・調整を行っている。具体的には、①地域枠医師のキャリア形成プログラムに関する事項、②地域枠医師の派遣に関する事項、③医師少数区域などに派遣された医師の能力開発や向上支援に関すること、④大学における地域枠・地元枠の設定に関することなどが協議されている。

また、群馬県地域医療センターを設置し、①医師のキャリア形成支援、②医師不足病院の支援、③医師不足状況等の把握・分析、④情報発信と相談への対応などが行われている。

これらの各組織を通して、群馬県が医学生を対象とする具体的な取り組みとして、①充実した臨床研修を受けて貰うための合同説明会などの開催、②各種修学資金の制度設計、③臨床研修病院に関する広報活動・情報公開、④県外医学生を対象とした病院見学等の助成事業などが挙げられる。

上記の各種修学資金の制度として、2 種類の修学資金制度があるが、医学部地域枠学生に紐づいているのは、群馬県緊急医師確保修学資金制度である。

地域枠に関しては、群馬県と連携している大学が 2024(令和 6)年度において群馬大学のみのため、県としては地位枠の新設・拡充の必要性を検討した結果、2025(令和 7)年度における帝京大学「群馬県枠」の臨時定員 1 名について要請があり、本学として同県からの過去の志願者数などを踏まえて前向きに検討した結果、群馬県からの要請を応えることで同県の地域貢献に資するものと判断した。

このように 2025(令和 7)年度の地域枠について群馬県と本学とで協議をした結果、合意が得られたため、この度、群馬県健康福祉部長から本学の臨時入学定員（地域枠）1 人を含む「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和 6 年 8 月 16 日付で厚生労働省医政局長宛に提出された（資料⑧）。この誓約書に基づき本学は、群馬県との連携を

前提とした臨時入学定員 1 人を計画する。

以上の各県の状況や取り組みを踏まえ、福島県、茨城県、千葉県、新潟県、静岡県および群馬県と本学との間で必要な協議を行った結果、この度、「令和 7 年度医学部入学定員増員計画」(資料⑨) を令和 6 年 8 月 20 日付にて文部科学省高等教育局長宛に提出した。

2025(令和 7)年度の本学医学部入学定員については、恒久的な入学定員 110 人に福島県 2 人、茨城県 1 人、千葉県 2 人、新潟県 1 人、静岡県 2 人および群馬県 1 人の地域枠 9 人を臨時入学定員として加え、合計 119 人に変更するものである。

## ウ 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

### (ア) 教育課程の変更内容

#### ・医学部の目的・使命等

本学の医学部の目的は、学則に「建学の精神に則り、将来の医学・医療の様々な領域に共通して必要な専門的知識・技術を修得し、総合的視野と判断力および人間性を身につけて、医学および関連諸科学の進歩や社会情勢の変化に適応ができるよき医師を育成することを目的とする。」と定めている。

また、本学医学部では、上記の目的に加え、以下の使命を設定している。

#### 帝京大学医学部の使命

自立と自律の精神を身につけたよき医師を育成して社会に貢献する

Contributing to society by fostering independent physicians that have a strong sense of responsibility

自立と自律とは、自ら立ち自らを律する人間性とそれを支える問題発見力、判断力、行動力、責任感を意味し、本学における教育理念を示したものです。よき医師とは、時代とともに変化する多様な医療ニーズに生涯にわたって対応できる幅広い知識と技術に加え、多職種と協働し、患者及び家族と共に歩む人間性を身につけた医師を意味します。実践を通してこのようなよき医師を育成し、地域医療及び医学研究を通して国際社会に貢献することが帝京大学医学部の使命です。帝京大学医学部は、この使命を将来にわたって果たし続けるために、常に自らの評価と改善を継続します。

本学は、上記の通り、地域医療を通して国際社会に貢献することを帝京大学医学部の使命として掲げている。また、本学部は、以下のコンピテンス(能力)を身につけるアウトカムを掲げている。

・本学医学部のアウトカム（コンピテンス一覧）

本学医学部のアウトカム（コンピテンス一覧）

- A. 患者中心の医療を実践できる
- B. 安全な医療を提供できる
- C. コミュニケーションスキルを活用して、患者や家族と良好な関係を築き、チームの一員として責任を果たせる
- D. 社会制度や法律に基づいた医療を実践できる
- E. 疾病の予防、健康の増進に貢献できる
- F. 代表的な疾病などに関する医学知識を身につけている
- G. 頻繁に遭遇する疾病などの初期診療ができる
- H. EBMに立脚して必要な情報を収集・分析し、診療能力を向上する努力を生涯にわたって継続できる
- I. 医学・医療の進歩に貢献できる

本学医学部のすべての教育は、上記のアウトカムを基盤とした教育を推し進めており、その方針のもとに以下に説明する地域医療に関する教育が行われている。

(I) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

① プロフェッショナリズムⅡ（第2学年）

プロフェッショナリズムⅠ・Ⅱを通して、医師としてのプロフェッショナリズムとは何かを知り、その行動規範に従って行動できることを学修する。プロフェッショナリズムⅡでは、高齢者の精神的・身体的特徴を学んだ上で、高齢者施設を訪問して高齢者とのコミュニケーションを実体験する。講義・実習を通して、地域社会における医療の状況、地域包括ケアシステム、地域における保健などを学修する。

② 地域医療学（第3学年）

地域医療学の総論から各論について、へき地、地方、関東近郊で実務されている先生方を講師に招いて、地域医療について幅広く学修する。具体的には、①地域医療、プライマリ・ケア、家庭医療の概念、②患者・医師関係のあり方（患者中心の臨床技法）、③地域の介護・福祉資源との連携、および在宅医療・ケア、④地域医療システム、へき地医療、医師の偏在の問題、⑤地域医療と社会医学とのかかわり、地域医療学的な疾患・健康問題、⑥実際の臨床事例に基づく学び方（Real-case based learning）などについて学修する。

③ 衛生学公衆衛生学（第3学年）

医師は公衆衛生活動の中核を担うことが期待されており、活動の基礎となる公衆衛生学を系統的に学ぶ。この講義の一部として、地域社会における医療の状況、機能および体制等を含めた地域保健について学修する。

#### ④ 地域医療実習（Ⅰ・Ⅱ）（第5学年）

地域医療の実地体験を通して、地域医療の仕組み、地域医療機関や医師会の役割、多職種連携によるチーム医療、医療機関の経営と保険診療、地域特性による医療需要の多様性などについて学修する。科目名称については、地域医療実習Ⅰと地域医実習Ⅱに区別しているが、学生一人一人に2箇所の実習先を体験して貰うために、便宜上区別したものであり、基本的にⅠとⅡの教育内容・到達目標に違いはない。

なお、地域医療実習先については、2024年度現在40施設を確保している。

#### ⑤ 衛生学公衆衛生学実習（第5学年）

衛生学公衆衛生学実習は、複数のテーマとそれぞれのテーマ毎にコーディネーターが配置されており、医学生は希望のテーマを選択する。地域医療をテーマとするグループ（地域医療学班）では、島嶼部や山間地域などの医療機関での実習を通して、地域医療やプライマリ・ケアの現状と課題を学修する。また、家庭医療をテーマとするグループ（家庭医療班）では、家庭医療、プライマリ・ケア医が、地域で活躍する現場を体験し、日本のプライマリ・ケアの今後について学修する。

#### ⑥ 地域医療実習（精神科）（第5学年）

2022(令和4)年度より精神神経科学臨床実習の充実を図るため、2週間から3週間に変更し、1週増えた分は、精神科地域医療実習の内容を追加した。そこで精神医療の概要を広く知り、地域とのつながりの中で精神医療・精神保健がどのように機能しているのかを学修する。そのことを明示するため、科目名称は精神神経科学臨床実習（地域医療実習含む）とした。2024年度より同実習から、精神科地域医療実習の部分を切り離し、地域医療を全面に出した科目として単独開講した。科目名称は、地域医療実習（精神科）とし、地域の現場にて精神科診療チームの一員として担当医やメディカルスタッフと協働して医師のプロフェッショナルリズムを学修し、頻度の高い精神疾患の病態生理とケア、リハビリテーションの基本などを修得する。

このように時代の変化に伴う社会の要請を踏まえ地域医療の教育の充実を図るなど、臨時定員増に充分対応可能な教育課程の見直しを図っている。

#### (ウ) 教員組織の変更内容

主に学生教育が行われる板橋キャンパスに加え医学部附属の溝口病院やちば総合医療センター所属の教員も含めた医学部助教以上の基幹教員数は、約155人であり、医学部の設置基準上必要基幹教員数140人を上回る教員が在籍し教育課程の編成その他の学部の運営に携わっている。また、基幹教員以外の専任教員の多くは、基本的に学生教育や学生指導に携わっており、1学年から5学年における担任一人当たりの受け持ち学生数は、5～8人前後であり、きめ細かな指導が行われている。6学年については、教員をチューターとして配置し、チューター一人当たり、上記の担任と同様の学生数を受け持って個別指導

を行なっている。

助手は、約 130 人が在籍し、助教以上の教員の教育・研究・臨床等を補佐している。

本学では、医学教育センターを設置し、同センターの専任および兼務教員 15 名が中心になって、積極的な学修支援、臨床実習および共用試験 OSCE の支援、医学部 FD の支援など教育の実務をサポートしてきたが、2023(令和 5)年度より成人学習理論をもとにした教育技法および評価技法の研究開発を行い、本学医学部の教育の質向上に資する部署として、医学教育学講座を新たに開設し、現在 3 名の教員が配属されている。

このように、教育スタッフの充実を図っているが、地域医療に関する教育スタッフについては、総合診療科教授が「地域医療学」、「地域医療実習」の授業をコーディネイトしており、各地域医療実習の現場においては、「地域医療実習」の指導者（医師）で臨床研修指導医の資格を有し、本学が規定する臨床経験を有する者について、学内審査の上、「帝京大学医学部医学教育センター臨床教授」または「帝京大学医学部医学教育センター臨床准教授」の称号を授与し、本学の教育スタッフの一員として同実習の教育指導に携わっている。

本学では、地域医療実習指導者を学内に召集し、地域医療実習に関するファカルティー・デベロップメント（FD）を定期的に行っている。本 FD の主な目的は、地域医療実習指導者に本学医学部の教育方針や地域医療実習を理解して貰うとともに、同指導者と本学教員との交流を通して学生指導の質の向上に資することにある。2020(令和 2)年度以降の 3 年間はコロナ禍で対面での実施が困難であったため、「地域医療実習～学生の振り返り～」の冊子を各実習先に配付して、実習指導に役立てると共に、指導方法や評価方法などを周知・徹底した上で、地域臨床実習を実施していたが、2023(令和 5)年度より対面形式の FD を復活させた。同年の FD では、地域医療実習での学び・指導方法・評価方法などを周知するとともに、本学から 10 名のタスクフォースが参加のもと、各地域医療実習での指導方法を小グループに分けて報告・ディスカッションを行い、その後グループ毎の発表を通してフィードバックや情報共有を行った。

2024(令和 6)年度現在 40 施設を確保しているが、この 40 施設のうち「帝京大学医学部医学教育センター臨床教授」または「帝京大学医学部医学教育センター臨床准教授」の称号を得ているスタッフは 17 名である。

#### (エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

医学部がある板橋キャンパスでは、地上 10 階、地下 2 階の大学棟本館にてほとんどの教育が行われているが、臨時定員増にも対応可能な座席数やスペースを確保した専用・共用教室が整備されている。講義室以外においても、基礎医学系の実験・実習を行う実習室を 2 室、解剖学実習室、OSCE 実習室、フィジカルアセスメントユニット、および PC ルームが大・中・小の 3 室があり、隣接する大学棟 2 号館にシミュレーション教育研究センターが設置されている。特にフィジカルアセスメントユニットやシミュレーション教育研究センターには、高度なシミュレータが備わっており、これらの機器を有効に活用して、包括的臨床能力の強化を目的とした学生教育が行われている。

また、本学には、授業収録システムが整備されており、各講義を収録した録画映像を学生は医学総合図書館、PC ルームまたは学外にて後日視聴することができ、自主的な授業

復習の環境が備わっている。

2023(令和 5)年度の整備計画では、共用試験公的化に対応するため、文部科学省の令和 4 年度第 2 次補正予算（医学部等教育・働き方改革支援事業）を活用し、OSCE 実習室設備のリニューアル工事（1 試験室に録音・録画装置を 2 台設置）を行った。さらに本学における教育改善等改革プログラム開発支援制度を活用して、大小 25 室ある OSCE 実習室のうち、20 室に電子黒板および関連設備を取り付け、医学教育学講座が中心になって同室内における少人数制アクティブラーニングのカリキュラム開発を進めている。

また、大学棟本館の AV 設備の老朽化に対応するため、大規模リニューアル工事を行い、PC ルームを含む各教室の教卓、プロジェクター、スクリーン、天吊りモニター、マイク設備等の映像・音響関連設備をすべて 2023(令和 5)年度末に更新した。

この他にも学生の教育環境の充実を図るため、大学棟本館地下 1 階フロアの利用目的を見直し、医学部 6 年生向けの自習室（スチューデントドクター医局 145 席）を 2023(令和 5)年 6 月に新設した。

2024(令和 6)年度以降の整備計画として、大学棟本館地下 1 階にある 3 室の PC ルームのデスクトップパソコンの更新を検討しているところである。

医学総合図書館においては、フロア面積は約 3,000 m<sup>2</sup>、閲覧用座席数は 509 席、他に視聴覚ブース、インターネット検索コーナー、グループ学習室 3 室を有し、図書の所蔵数は約 24.9 万冊、電子ジャーナルは約 9,600 点を保有している。本学の蔵書は、インターネットを通して、学内外から検索することが可能であり、データベース、電子ジャーナルや電子ブックについては、学内 LAN 環境のもとキャンパス内のどこからでも全文を閲覧することができる。また、リモートアクセスで、多くのデータベース・電子ジャーナルを学外からも閲覧することが可能である。なお、2023(令和 5)年 2 月より、学生からの要望を取り入れ、日曜日（無人）開館を開始し、2024(令和 6)年 7 月より試行期間を経て、日曜日の開館時間延長と祝日の（無人）開館を開始した。変更後は、平日・土曜・日曜・祝日に関わらず開館時間は、9 時 00 分～24 時 00 分となり、利便性が向上した。

このように臨時定員増に充分対応可能な教育施設・環境の整備・改善が行われている。

#### (オ) その他

##### ● 学生支援（奨学金制度）について

2025(令和 7)年度の本学地域枠と連携する各県が設定する奨学金制度の概要については、以下のとおりである。2024(令和 6)年度までに 82 名の地域枠学生を確保し、そのうち 36 人が現在、医師もしくは初期臨床研修医として地域医療に貢献し、40 名が在学中である。

### ① 奨学金制度の概要

奨学金の 設定主体	奨学金制度名	貸与人数	貸与 対象	貸与額	
				月額	総貸与額
福島県	福島県地域医療医師確保修学資金	2人 (うち臨時定員分 2名)	新入生	235,000円 希望者のみ： 入学金相当額 1,000,000円(上限)	16,920,000円 (入学金相当額除く)
茨城県	茨城県地域医療医師修学資金貸与制度	2名 (うち臨時定員分 1名)	新入生	250,000円	18,000,000円
千葉県	千葉県医師修学資金貸付制度	2人 (うち臨時定員分 2名)	新入生	200,000円	14,400,000円
新潟県	新潟県医師養成修学資金貸与制度 重点コース(帝京大学医学部「新潟県地域枠」)	1名 (うち臨時定員分 1名)	新入生	貸与開始月のみ 1,100,000円 以降500,000円	36,600,000円
静岡県	静岡県医学修学研修資金	2人 (うち臨時定員分 2名)	新入生	200,000円	14,400,000円
群馬県	群馬県緊急医師確保修学資金	1名 (うち臨時定員分 1名)	新入生	250,000円	18,000,000円

※貸付期間は、各県とも正規の修学期間(6年間)を経過するまでの期間である。

### ② 返還免除要件、選考方法

奨学金の 設定主体	返還免除要件	選考方法
福島県	大学を卒業した後2年以内に医師となり、県内臨床研修、公的医療機関勤務又は県内の病院のうち知事が認める病院で行われる後期研修のいずれかに従事した期間のうち、休職、停職、育児休業その他の事由により勤務しなかった期間を除いた期間が修学資金の貸与を受けた期間の1.5倍に相当する期間に達した場合。	大学で福島県特別地域枠選抜を実施し、合格者に対して福島県が面接を実施し、貸与を決定する。

茨城県	大学を卒業後、1年6カ月以内に医師免許を取得し、直ちに県の指定する医療機関で9年間(臨床研修期間を含む)を医師として業務に従事した場合。 従事期間のうち、臨床研修終了後の7年のうち4.5年は「医師不足地域の医療機関」で勤務すること。	茨城県へ修学資金貸与の申し込みをし、かつ県の実施するe-ラーニングを受講後、大学で茨城県特別地域枠を実施し、合格した者に茨城県が貸与を決定する。
千葉県	大学を卒業した日の属する月の翌月の初日から起算して1年3か月以内に医師の免許を取得し、県が定めるキャリア形成プログラムに基づき定められた期間内に修学資金の貸付期間の1.5倍の期間、所定の医療機関に勤務した場合。	大学で千葉県特別地域枠選抜を実施し、合格した者に千葉県が貸与を決定する。
新潟県	大学を卒業した後、2年以内に医師の免許を取得し、直ちに、県の指定する医療機関で9年間(臨床研修期間を含む)医師として業務に従事した場合。ただし、5年間は県と連携する市に所在する指定病院に勤務すること。(※連携市は9月頃発表予定) ※連携する市町村は入学年度によって変わることがある。2024(令和6)年度入学者は魚沼市。	大学で新潟県特別地域枠選抜を実施し、合格した者に新潟県が貸与を決定する。
静岡県	以下の(1)から(2)までの要件をすべて満たしたときに、貸与した資金全額の返還を免除。 (1)大学卒業後、2年以内に医師免許の登録を完了すること。 (2)「静岡県キャリア形成プログラム」に従い、静岡県内で医師として9年間勤務すること。	大学で静岡県特別地域枠選抜を実施し、合格した者に静岡県が貸与を決定する。
群馬県	大学卒業の翌年までに医師免許を取得し、次の要件を満たした場合、修学資金の返還を免除。 ・「ぐんま地域医療リーダー養成キャリアパス」に参加し、10年間、県の指定する医療機関で臨床研修及び診療業務に従事すること。 なお、4年間以上は、「医師不足地域」又は「特に不足する診療科」に勤務すること(へき地医療に従事する場合は3年間以上とする)。	大学で群馬県特別地域枠選抜を実施し、合格した者に群馬県が貸与を決定する。

上記奨学金制度を周知するため本学ホームページや入試要項に情報公開している。

本学の奨学金制度のホームページへアクセスする手順は以下の通りである。なお、入試情報ページから本学の奨学金制度にアクセスすることも可能となっている。また、本学が公開している各県の奨学金制度の閲覧コーナーから、各県の関連ホームページが閲覧できるようにリンクを張って、制度の詳細やキャリア形成支援等を直接確認できるようにして

いる（※群馬県は今後、情報公開予定）。

### ③ 本学ホームページからのアクセス（※群馬県は今後、情報公開予定）

本学ホームページのトップページ（メニュー選択）→学生生活・キャリア→学生生活サポート→学費・奨学金制度→在学生向けの各種奨学金→医学部特別地域枠における助成制度→福島県地域医療医師確保修学資金／千葉県医師修学資金貸付制度／静岡県医学修学研修資金／茨城県地域医療医師修学資金貸与制度／新潟県医師養成修学資金貸与制度重点コース／群馬県緊急医師確保修学資金

#### ● 学生支援（地域枠学生懇話会）について

本学と地域枠の連携がある都道府県（福島県、茨城県、千葉県、静岡県）の地域枠学生同士の繋がりや、地域枠学生の意識付けなどを目的とした医学部地域枠学生懇話会を2021(令和3)年10月に実施した。出席者は、医学部長、学生部長、医学教育センター長、地域医療担当教員、事務部職員数名、地域枠4県の1～3年の学生であった。2022(令和4)年は、4年次以上の上級生との交流も計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止となった。2023(令和5)年は6月に第1回懇話会を開催した。対象学生は地域枠4県の1～4年生とし、出席者は、医学部長、学生部長、地域医療学科目責任者、事務職員数名並びに千葉県地域枠卒業生1名であった。2023(令和5)年11月には第2回懇話会を開催した。対象学生は地域枠4県の1～6年生とし、出席者は、医学部長、学生部長、地域医療学科目責任者、事務職員数名並びに福島県地域枠卒業生3名であった。2024(令和6)年からは新潟県地域枠学生も加わり、参加した学生からの意見や要望に寄り添った実施内容を検討しながら進めている。

#### ● 学生支援（医学部学生部長及び医学部学生委員）による地域枠学生の個別面談について

地域枠学生の在学中のサポートの一環として、個別面談を実施している。2023(令和5)年度は3回実施し、2024(令和6)年は前期1回、後期1回の2回実施を予定している。本面談は任地県での就職の意思確認、将来的な任地勤務のためのキャリアサポートを目的としている。面談報告書は、各県との意見交換会の際に共有している。

資料⑨ 「令和7年度医学部入学定員増員計画」

資料⑩ 教育課程等の概要

以上

## 資料目次

- 資料① 「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況（令和4(2022)年12月31日現在）」
- 資料② 「医師偏在指標（令和6年1月10日更新）」
- 資料③ 【福島県】地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書
- 資料④ 【茨城県】地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書
- 資料⑤ 【千葉県】地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書
- 資料⑥ 【新潟県】地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書
- 資料⑦ 【静岡県】地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書
- 資料⑧ 【群馬県】地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書
- 資料⑨ 「令和7年度医学部入学定員増員計画」
- 資料⑩ 教育課程等の概要

統計表 10 人口10万対医師・歯科医師・薬剤師数、従業地による都道府県—指定都市・特別区・中核市(再掲)、業務の種別、性別(2-1)

(単位:人)

令和4(2022)年12月31日現在

	医師				歯科医師				薬剤師			
	総数	(再掲) 医療施設 の従事者	男	女	総数	(再掲) 医療施設 の従事者	男	女	総数	(再掲) 薬局・医療施設 の従事者	男	女
全 国	274.7	262.1	200.1	61.9	84.2	81.6	60.5	21.0	259.1	202.6	70.7	131.9
北 海 道	264.8	254.0	210.0	44.1	83.7	80.7	65.9	14.8	226.2	192.9	96.9	96.0
青 森	232.1	220.2	174.9	45.3	59.4	55.9	43.2	12.7	197.1	167.2	81.8	85.4
岩 手	233.5	218.5	179.8	38.6	81.7	76.8	56.3	20.5	217.8	187.0	84.8	102.3
宮 城	269.3	256.3	204.8	51.5	84.3	79.8	57.6	22.2	244.3	199.7	80.4	119.3
秋 田	262.2	249.8	195.3	54.5	64.5	62.6	51.3	11.3	221.0	192.9	84.9	108.0
山 形	252.2	239.6	194.5	45.1	66.4	65.1	49.8	15.4	208.8	176.9	88.7	88.3
福 島	228.8	218.7	180.7	37.9	78.1	74.8	59.9	14.9	211.8	178.2	80.8	97.3
茨 城	212.3	202.0	155.2	46.8	67.5	66.7	50.6	16.1	236.2	186.5	70.7	115.8
栃 木	259.2	248.4	191.3	57.2	71.9	70.9	53.5	17.4	229.2	187.3	74.8	112.6
群 馬	243.4	233.4	183.0	50.4	70.3	69.3	51.9	17.5	217.3	181.6	73.3	108.3
埼 玉	186.2	180.2	137.7	42.5	73.7	72.1	53.3	18.8	228.0	190.3	64.9	125.4
千 葉	215.8	209.0	160.6	48.4	79.0	77.4	56.1	21.3	235.3	195.6	60.4	135.2
東 京	346.0	324.6	221.1	103.5	120.3	116.1	78.1	38.0	381.3	235.7	64.6	171.0
神 奈 川	232.0	223.0	162.3	60.7	79.2	77.4	55.1	22.3	256.9	215.5	60.5	155.0
新 潟	227.3	212.8	171.9	40.8	93.0	87.1	61.9	25.2	211.9	180.2	78.8	101.4
富 山	284.1	270.6	211.9	58.7	62.4	59.5	45.8	13.7	288.3	186.2	74.1	112.1
石 川	303.2	286.4	230.1	56.4	65.7	62.7	49.1	13.6	255.2	196.6	73.1	123.5
福 井	283.1	271.2	214.9	56.3	59.2	58.6	45.2	13.4	199.2	163.6	71.3	92.3
山 梨	267.8	257.9	204.7	53.1	74.8	73.8	56.2	17.6	232.0	194.4	82.3	112.1
長 野	261.9	249.8	198.4	51.4	81.9	77.6	59.9	17.8	231.0	194.8	80.1	114.7
岐 阜	237.9	231.5	185.1	46.4	88.2	85.3	66.4	18.9	211.1	178.5	80.4	98.0
静 岡	238.3	230.1	185.1	44.9	66.2	64.5	50.2	14.3	234.6	190.5	82.9	107.6
愛 知	247.0	234.7	177.1	57.6	80.9	78.7	60.5	18.1	216.7	176.0	67.4	108.7
三 重	252.3	241.2	195.1	46.1	65.3	64.2	51.8	12.5	207.1	179.4	76.3	103.1
滋 賀	253.7	242.2	187.9	54.3	58.8	57.3	44.5	12.8	238.4	189.6	67.3	122.4
京 都	355.6	334.3	251.2	83.1	77.1	75.1	57.8	17.3	266.9	196.5	59.3	137.2
大 阪	302.0	288.5	217.8	70.7	90.6	88.0	65.8	22.1	314.1	221.5	61.7	159.8
兵 庫	288.8	276.5	211.1	65.4	76.7	75.0	58.6	16.4	288.7	236.6	57.1	179.5
奈 良	296.2	286.8	225.4	61.3	72.7	71.4	56.7	14.7	246.5	197.4	54.2	143.2
和 歌 山	333.3	320.9	254.0	66.9	77.3	76.4	62.8	13.6	259.8	203.5	68.2	135.3
鳥 取	345.2	319.9	255.7	64.2	70.4	67.3	52.8	14.5	228.5	197.6	79.0	118.6
島 根	327.2	307.6	237.7	69.9	60.5	57.1	44.1	13.1	220.5	189.5	93.2	96.4
岡 山	336.8	324.0	251.1	72.8	94.7	91.7	64.6	27.2	228.0	191.4	66.1	125.2
広 島	285.1	272.6	212.8	59.9	90.9	88.7	64.8	23.9	265.4	224.6	71.0	153.6
山 口	284.6	267.2	216.7	50.5	72.4	70.4	56.3	14.1	268.4	219.4	86.1	133.3
徳 島	352.0	335.7	249.9	85.8	118.3	112.6	79.5	33.1	368.6	244.0	69.6	174.4
香 川	304.7	290.5	224.6	65.8	75.3	73.3	55.5	17.9	260.1	209.4	74.4	135.0
愛 媛	297.7	286.3	229.2	57.0	70.4	68.5	55.7	12.9	244.0	203.9	81.2	122.7
高 知	347.0	335.2	258.9	76.3	67.9	66.0	51.6	14.3	265.1	223.2	79.6	143.6
福 岡	326.9	312.1	243.8	68.3	111.5	105.1	76.1	29.0	250.1	214.9	76.4	138.5
佐 賀	303.4	293.6	226.2	67.4	77.3	75.7	60.5	15.1	251.3	215.6	95.8	119.9
長 崎	344.8	327.6	259.9	67.7	96.0	92.0	69.6	22.4	229.9	195.9	85.7	110.1
熊 本	315.9	302.2	242.0	60.2	79.6	77.3	59.0	18.3	231.8	195.4	77.9	117.5
大 分	312.5	297.9	238.1	59.8	66.6	65.0	53.4	11.7	213.6	187.7	76.7	111.0
宮 崎	276.4	260.8	208.1	52.8	69.8	66.6	52.7	14.0	217.5	180.8	78.3	102.5
鹿 児 島	298.7	288.7	230.8	57.8	88.0	84.7	63.8	20.9	211.6	186.9	83.3	103.6
沖 縄	274.5	266.1	202.3	63.8	60.6	58.1	44.2	13.9	165.9	149.4	58.4	90.9
(再掲)指定都市・特別区												
東 京 都 区 部	398.7	371.8	249.5	122.3	139.2	133.7	88.3	45.4	433.7	244.0	65.7	178.3
札 幌 市	353.6	337.9	269.4	68.5	107.2	103.0	79.5	23.6	281.9	231.6	95.9	135.7
仙 台 市	374.5	354.2	275.1	79.2	116.0	107.6	73.8	33.8	313.6	239.9	82.2	157.7
さいたま市	209.1	199.4	146.4	53.0	79.4	77.4	55.9	21.5	287.8	217.0	58.9	158.0
千 葉 市	317.5	300.2	221.1	79.1	93.2	90.4	64.9	25.5	288.5	223.3	59.7	163.6
横 浜 市	243.3	232.6	165.7	66.9	88.4	86.6	60.4	26.1	269.4	225.8	57.3	168.6
川 崎 市	247.3	238.5	169.4	69.1	62.2	61.5	41.7	19.7	242.8	212.7	51.1	161.5
相 模 原 市	246.2	234.9	174.1	60.8	68.6	68.0	51.0	16.9	253.0	225.6	75.0	150.6
新 潟 市	309.9	287.5	220.2	67.4	140.3	128.8	85.2	43.5	260.8	215.1	82.2	133.0
静 岡 市	280.4	268.5	210.1	58.4	78.5	76.0	55.9	20.1	262.1	211.3	87.6	123.7
浜 松 市	308.4	294.6	230.2	64.4	69.0	66.6	51.4	15.2	236.2	200.8	88.9	111.9
名 古 屋 市	344.2	325.2	235.8	89.4	113.2	108.4	81.2	27.2	277.3	213.2	71.5	141.7
京 都 市	464.7	433.0	315.9	117.0	84.9	82.4	61.0	21.4	321.6	225.1	63.8	161.4
大 阪 市	358.9	341.4	253.2	88.2	109.8	107.7	79.9	27.8	432.0	250.0	72.2	177.8
堺 市	251.5	245.2	192.3	52.9	76.1	73.8	60.1	13.7	235.4	208.6	64.9	143.7
神 戸 市	366.5	346.6	257.7	88.9	87.2	85.5	65.0	20.5	350.6	264.6	55.4	209.1
岡 山 市	447.4	429.8	319.6	110.2	127.8	122.1	82.3	39.8	297.1	231.0	73.9	157.2
広 島 市	329.3	313.0	234.5	78.5	107.1	103.5	70.9	32.6	296.0	244.0	71.5	172.5
北 九 州 市	385.5	363.4	288.0	75.4	133.5	123.1	90.5	32.6	251.7	229.2	93.2	136.0
福 岡 市	393.2	374.2	280.3	94.0	140.8	130.8	87.6	43.2	304.7	241.1	67.9	173.3
熊 本 市	450.7	432.0	333.1	98.9	96.3	93.1	69.0	24.1	299.5	241.3	79.3	162.1

## 医師偏在指標

(都道府県別)


 上位1/3 (Yellow box) 下位1/3 (Blue box)

都道府県コード	都道府県	医師偏在指標
00	全国	255.6
01	北海道	233.8
02	青森県	184.3
03	岩手県	182.5
04	宮城県	247.3
05	秋田県	199.4
06	山形県	200.2
07	福島県	190.5
08	茨城県	193.6
09	栃木県	230.5
10	群馬県	219.7
11	埼玉県	196.8
12	千葉県	213.0
13	東京都	353.9
14	神奈川県	247.5
15	新潟県	184.7
16	富山県	238.8
17	石川県	279.8
18	福井県	246.8
19	山梨県	240.8
20	長野県	219.9
21	岐阜県	221.5
22	静岡県	211.8
23	愛知県	240.2

都道府県コード	都道府県	医師偏在指標
24	三重県	225.6
25	滋賀県	260.4
26	京都府	326.7
27	大阪府	288.6
28	兵庫県	266.5
29	奈良県	268.9
30	和歌山県	274.9
31	鳥取県	270.4
32	島根県	265.1
33	岡山県	299.6
34	広島県	254.2
35	山口県	228.0
36	徳島県	289.3
37	香川県	266.9
38	愛媛県	246.4
39	高知県	268.2
40	福岡県	313.3
41	佐賀県	272.3
42	長崎県	284.0
43	熊本県	271.0
44	大分県	259.7
45	宮崎県	227.0
46	鹿児島県	254.8
47	沖縄県	292.1

※上位1/3の閾値を266.9、下位1/3の閾値を228.0と設定している。

(医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用にあたっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。

## 医師偏在指標

(二次医療圏別)

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
00	全国	全国	255.6
0101	北海道	南渡島	205.5
0102	北海道	南檜山	139.0
0103	北海道	北渡島檜山	112.6
0104	北海道	札幌	282.4
0105	北海道	後志	205.9
0106	北海道	南空知	166.9
0107	北海道	中空知	195.1
0108	北海道	北空知	145.0
0109	北海道	西胆振	184.0
0110	北海道	東胆振	180.7
0111	北海道	日高	152.0
0112	北海道	上川中部	291.0
0113	北海道	上川北部	186.6
0114	北海道	富良野	135.3
0115	北海道	留萌	181.3
0116	北海道	宗谷	130.2
0117	北海道	北網	144.1
0118	北海道	遠紋	148.3
0119	北海道	十勝	192.8
0120	北海道	釧路	158.8
0121	北海道	根室	116.6
0201	青森県	津軽地域	253.2
0202	青森県	八戸地域	164.4
0203	青森県	青森地域	186.6
0204	青森県	西北五地域	126.3
0205	青森県	上十三地域	139.6
0206	青森県	下北地域	152.7
0301	岩手県	盛岡	244.6
0302	岩手県	岩手中部	135.4
0303	岩手県	胆江	144.9
0304	岩手県	両磐	151.1
0305	岩手県	気仙	144.1
0306	岩手県	釜石	107.8
0307	岩手県	宮古	134.5
0308	岩手県	久慈	142.4
0309	岩手県	二戸	200.9

■ 上位1/3 ■ 下位1/3

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
0401	宮城県	仙南	169.7
0403	宮城県	仙台	288.8
0406	宮城県	大崎・栗原	172.6
0409	宮城県	石巻・登米・気仙沼	164.0
0501	秋田県	県北	142.0
0502	秋田県	県央	243.4
0503	秋田県	県南	159.6
0601	山形県	村山	237.4
0602	山形県	最上	120.0
0603	山形県	置賜	189.2
0604	山形県	庄内	162.8
0701	福島県	県北	266.1
0702	福島県	県中	188.3
0703	福島県	県南	162.7
0706	福島県	相双	155.5
0707	福島県	いわき	123.2
0708	福島県	会津・南会津	168.9
0801	茨城県	水戸	231.2
0802	茨城県	日立	140.3
0803	茨城県	常陸太田・ひたちなか	140.3
0804	茨城県	鹿行	137.2
0805	茨城県	土浦	184.4
0806	茨城県	つくば	337.7
0807	茨城県	取手・竜ヶ崎	173.3
0808	茨城県	筑西・下妻	153.0
0809	茨城県	古河・坂東	148.8
0901	栃木県	県北	171.2
0902	栃木県	県西	168.1
0903	栃木県	宇都宮	207.6
0904	栃木県	県東	207.0
0905	栃木県	県南	345.3
0906	栃木県	両毛	179.3

※ 医師確保計画策定ガイドライン～第8次（前期）～に基づき、都道府県の医師確保計画の策定スケジュールを踏まえ、各都道府県の二次医療圏が確定する前の段階（2022年3月時点）の二次医療圏における指標の値について上位1/3の閾値を217.6、下位1/3の閾値を179.3と設定している（小数第2位以下略）。なお今後、都道府県における第8次医療計画の策定に当たり二次医療圏の見直し等が行われた場合は、見直し後の二次医療圏の医師偏在指標を再計算し、前述の閾値を用いて区分分けを行う。したがって、上位1/3、下位1/3に区分される二次医療圏の数は、全国の二次医療圏の総数の1/3と必ずしも一致しない場合があり得る。

(医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用に当たっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。

## 医師偏在指標

(二次医療圏別)

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標	上位1/3		下位1/3	
				医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
1001	群馬県	前橋	340.2				
1002	群馬県	渋川	175.8				
1003	群馬県	伊勢崎	179.1				
1004	群馬県	高崎・安中	210.8				
1005	群馬県	藤岡	181.3				
1006	群馬県	富岡	181.7				
1007	群馬県	吾妻	154.4				
1008	群馬県	沼田	206.4				
1009	群馬県	桐生	174.5				
1010	群馬県	太田・館林	149.7				
1101	埼玉県	南部	203.7				
1102	埼玉県	南西部	207.0				
1103	埼玉県	東部	182.0				
1104	埼玉県	さいたま	236.6				
1105	埼玉県	県央	190.8				
1106	埼玉県	川越比企	215.6				
1107	埼玉県	西部	211.3				
1108	埼玉県	利根	155.7				
1109	埼玉県	北部	163.6				
1110	埼玉県	秩父	157.5				
1201	千葉県	千葉	268.6				
1202	千葉県	東葛南部	199.5				
1203	千葉県	東葛北部	203.1				
1204	千葉県	印旛	210.3				
1205	千葉県	香取海匝	196.4				
1206	千葉県	山武長生夷隅	145.1				
1207	千葉県	安房	322.6				
1208	千葉県	君津	173.5				
1209	千葉県	市原	200.1				
1301	東京都	区中央部	789.8				
1302	東京都	区南部	380.4				
1303	東京都	区西南部	413.7				
1304	東京都	区西部	569.1				
1305	東京都	区西北部	295.8				
1306	東京都	区東北部	216.4				
1307	東京都	区東部	307.6				
1308	東京都	西多摩	138.1				
1309	東京都	南多摩	164.6				
1310	東京都	北多摩西部	254.4				
1311	東京都	北多摩南部	312.5				
1312	東京都	北多摩北部	196.4				
1313	東京都	島しょ	131.6				
1404	神奈川県	川崎北部	285.3				
1405	神奈川県	川崎南部	347.3				
1406	神奈川県	横須賀・三浦	235.0				
1407	神奈川県	湘南東部	202.4				
1408	神奈川県	湘南西部	238.1				
1409	神奈川県	県央	187.4				
1410	神奈川県	相模原	217.7				
1411	神奈川県	県西	177.1				
1412	神奈川県	横浜	260.8				
1501	新潟県	下越	156.0				
1502	新潟県	新潟	234.3				
1503	新潟県	県央	141.6				
1504	新潟県	中越	158.2				
1505	新潟県	魚沼	132.0				
1506	新潟県	上越	159.6				
1507	新潟県	佐渡	138.9				
1601	富山県	新川	213.0				
1602	富山県	富山	273.2				
1603	富山県	高岡	211.5				
1604	富山県	砺波	202.2				
1701	石川県	南加賀	202.9				
1702	石川県	石川中央	328.0				
1703	石川県	能登中部	196.8				
1704	石川県	能登北部	151.7				

※ 医師確保計画策定ガイドライン～第8次（前期）～に基づき、都道府県の医師確保計画の策定スケジュールを踏まえ、各都道府県の二次医療圏が確定する前の段階（2022年3月時点）の二次医療圏における指標の値について上位1/3の閾値を217.6、下位1/3の閾値を179.3と設定している（小数第2位以下略）。なお今後、都道府県における第8次医療計画の策定に当たり二次医療圏の見直し等が行われた場合は、見直し後の二次医療圏の医師偏在指標を再計算し、前述の閾値を用いて区分分けを行う。したがって、上位1/3、下位1/3に区分される二次医療圏の数は、全国の二次医療圏の総数の1/3と必ずしも一致しない場合があり得る。

(医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用に当たっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。

## 医師偏在指標

(二次医療圏別)

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
1801	福井県	福井・坂井	301.0
1802	福井県	奥越	146.0
1803	福井県	丹南	145.9
1804	福井県	嶺南	181.3
1901	山梨県	中北	271.6
1902	山梨県	峡東	179.7
1903	山梨県	峡南	198.7
1904	山梨県	富士・東部	222.5
2001	長野県	佐久	222.6
2002	長野県	上小	155.2
2003	長野県	諏訪	210.2
2004	長野県	上伊那	167.2
2005	長野県	飯伊	164.4
2006	長野県	木曾	162.3
2007	長野県	松本	330.5
2008	長野県	大北	200.6
2009	長野県	長野	193.9
2010	長野県	北信	186.7
2101	岐阜県	岐阜	275.6
2102	岐阜県	西濃	168.1
2103	岐阜県	中濃	190.5
2104	岐阜県	東濃	201.0
2105	岐阜県	飛騨	168.0
2201	静岡県	賀茂	144.4
2202	静岡県	熱海伊東	190.4
2203	静岡県	駿東田方	201.4
2204	静岡県	富士	157.9
2205	静岡県	静岡	234.4
2206	静岡県	志太榛原	191.8
2207	静岡県	中東遠	176.3
2208	静岡県	西部	258.0

■ 上位1/3 ■ 下位1/3

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
2302	愛知県	海部	207.7
2304	愛知県	尾張東部	333.2
2305	愛知県	尾張西部	214.9
2306	愛知県	尾張北部	185.2
2307	愛知県	知多半島	196.5
2308	愛知県	西三河北部	148.0
2309	愛知県	西三河南部西	194.7
2310	愛知県	西三河南部東	188.8
2311	愛知県	東三河北部	165.2
2312	愛知県	東三河南部	184.2
2313	愛知県	名古屋・尾張中部	305.4
2401	三重県	北勢	210.4
2402	三重県	中勢伊賀	259.8
2403	三重県	南勢志摩	217.8
2404	三重県	東紀州	162.3
2501	滋賀県	大津	373.5
2502	滋賀県	湖南	262.2
2503	滋賀県	甲賀	176.8
2504	滋賀県	東近江	218.3
2505	滋賀県	湖東	181.0
2506	滋賀県	湖北	217.6
2507	滋賀県	湖西	245.0
2601	京都府	丹後	155.6
2602	京都府	中丹	198.2
2603	京都府	南丹	177.1
2604	京都府	京都・乙訓	401.4
2605	京都府	山城北	207.1
2606	京都府	山城南	160.8
2701	大阪府	豊能	350.7
2702	大阪府	三島	277.5
2703	大阪府	北河内	232.4
2704	大阪府	中河内	205.5
2705	大阪府	南河内	286.0
2706	大阪府	堺市	225.6
2707	大阪府	泉州	218.8
2708	大阪府	大阪市	369.0

※ 医師確保計画策定ガイドライン～第8次（前期）～に基づき、都道府県の医師確保計画の策定スケジュールを踏まえ、各都道府県の二次医療圏が確定する前の段階（2022年3月時点）の二次医療圏における指標の値について上位1/3の閾値を217.6、下位1/3の閾値を179.3と設定している（小数第2位以下略）。なお今後、都道府県における第8次医療計画の策定に当たり二次医療圏の見直し等が行われた場合は、見直し後の二次医療圏の医師偏在指標を再計算し、前述の閾値を用いて区分分けを行う。したがって、上位1/3、下位1/3に区分される二次医療圏の数は、全国の二次医療圏の総数の1/3と必ずしも一致しない場合があり得る。

(医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用に当たっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要が有る。

## 医師偏在指標

(二次医療圏別)

■ 上位1/3 ■ 下位1/3

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
2801	兵庫県	神戸	323.3
2804	兵庫県	東播磨	231.6
2805	兵庫県	北播磨	206.6
2808	兵庫県	但馬	209.9
2809	兵庫県	丹波	203.8
2810	兵庫県	淡路	216.3
2811	兵庫県	阪神	279.7
2812	兵庫県	播磨姫路	214.4
2901	奈良県	奈良	266.3
2902	奈良県	東和	281.7
2903	奈良県	西和	210.8
2904	奈良県	中和	312.3
2905	奈良県	南和	262.2
3001	和歌山県	和歌山	347.0
3002	和歌山県	那賀	194.8
3003	和歌山県	橋本	217.2
3004	和歌山県	有田	180.8
3005	和歌山県	御坊	243.9
3006	和歌山県	田辺	216.5
3007	和歌山県	新宮	162.2
3101	鳥取県	東部	222.0
3102	鳥取県	中部	205.4
3103	鳥取県	西部	350.8
3201	島根県	松江	247.1
3202	島根県	雲南	128.5
3203	島根県	出雲	393.2
3204	島根県	大田	172.1
3205	島根県	浜田	238.7
3206	島根県	益田	176.0
3207	島根県	隠岐	203.7
3301	岡山県	県南東部	346.8
3302	岡山県	県南西部	292.8
3303	岡山県	高梁・新見	148.2
3304	岡山県	真庭	166.6
3305	岡山県	津山・英田	196.3

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
3401	広島県	広島	298.9
3402	広島県	広島西	239.1
3403	広島県	呉	266.7
3404	広島県	広島中央	200.4
3405	広島県	尾三	198.2
3406	広島県	福山・府中	201.3
3407	広島県	備北	219.8
3501	山口県	岩国	223.9
3502	山口県	柳井	143.5
3503	山口県	周南	192.1
3504	山口県	山口・防府	223.4
3505	山口県	宇部・小野田	324.2
3506	山口県	下関	224.3
3507	山口県	長門	139.5
3508	山口県	萩	183.5
3601	徳島県	東部	332.4
3603	徳島県	南部	231.4
3605	徳島県	西部	153.2
3702	香川県	小豆	109.0
3706	香川県	東部	306.8
3707	香川県	西部	217.0
3801	愛媛県	宇摩	190.7
3802	愛媛県	新居浜・西条	199.4
3803	愛媛県	今治	198.4
3804	愛媛県	松山	292.0
3805	愛媛県	八幡浜・大洲	180.2
3806	愛媛県	宇和島	187.9
3901	高知県	安芸	206.8
3902	高知県	中央	300.3
3903	高知県	高幡	187.1
3904	高知県	幡多	159.7

※ 医師確保計画策定ガイドライン～第8次（前期）～に基づき、都道府県の医師確保計画の策定スケジュールを踏まえ、各都道府県の二次医療圏が確定する前の段階（2022年3月時点）の二次医療圏における指標の値について上位1/3の閾値を217.6、下位1/3の閾値を179.3と設定している（小数第2位以下略）。なお今後、都道府県における第8次医療計画の策定に当たり二次医療圏の見直し等が行われた場合は、見直し後の二次医療圏の医師偏在指標を再計算し、前述の閾値を用いて区分分けを行う。したがって、上位1/3、下位1/3に区分される二次医療圏の数は、全国の二次医療圏の総数の1/3と必ずしも一致しない場合があり得る。

(医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用にあたっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。

## 医師偏在指標

(二次医療圏別)

■ 上位1/3 ■ 下位1/3

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
4001	福岡県	福岡・糸島	399.0
4002	福岡県	粕屋	220.7
4003	福岡県	宗像	198.4
4004	福岡県	筑紫	224.7
4005	福岡県	朝倉	202.0
4006	福岡県	久留米	407.8
4007	福岡県	八女・筑後	216.3
4008	福岡県	有明	233.6
4009	福岡県	飯塚	341.3
4010	福岡県	直方・鞍手	184.4
4011	福岡県	田川	197.4
4012	福岡県	北九州	301.6
4013	福岡県	京築	151.6
4101	佐賀県	中部	363.5
4102	佐賀県	東部	165.5
4103	佐賀県	北部	241.4
4104	佐賀県	西部	157.5
4105	佐賀県	南部	254.1
4201	長崎県	長崎	365.0
4202	長崎県	佐世保県北	221.5
4203	長崎県	県央	270.6
4204	長崎県	県南	194.1
4206	長崎県	五島	199.7
4207	長崎県	上五島	200.8
4208	長崎県	壱岐	225.0
4209	長崎県	対馬	196.9
4302	熊本県	宇城	164.7
4303	熊本県	有明	198.5
4304	熊本県	鹿本	193.7
4305	熊本県	菊池	173.1
4306	熊本県	阿蘇	184.2
4308	熊本県	八代	244.8
4309	熊本県	芦北	248.5
4310	熊本県	球磨	182.5
4311	熊本県	天草	191.3
4312	熊本県	熊本・上益城	344.3

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
4401	大分県	東部	267.2
4403	大分県	中部	291.2
4405	大分県	南部	190.6
4406	大分県	豊肥	203.1
4408	大分県	西部	178.0
4409	大分県	北部	202.9
4501	宮崎県	宮崎東諸県	308.1
4502	宮崎県	都城北諸県	171.4
4503	宮崎県	延岡西臼杵	160.5
4504	宮崎県	日南串間	180.1
4505	宮崎県	西諸	164.7
4506	宮崎県	西都児湯	157.7
4507	宮崎県	日向入郷	149.8
4601	鹿児島県	鹿児島	349.0
4603	鹿児島県	南薩	200.1
4605	鹿児島県	川薩	220.0
4606	鹿児島県	出水	171.8
4607	鹿児島県	姶良・伊佐	176.3
4609	鹿児島県	曾於	153.8
4610	鹿児島県	肝属	182.4
4611	鹿児島県	熊毛	129.7
4612	鹿児島県	奄美	164.7
4701	沖縄県	北部	247.3
4702	沖縄県	中部	257.3
4703	沖縄県	南部	329.2
4704	沖縄県	宮古	195.3
4705	沖縄県	八重山	249.6

※ 医師確保計画策定ガイドライン～第8次（前期）～に基づき、都道府県の医師確保計画の策定スケジュールを踏まえ、各都道府県の二次医療圏が確定する前の段階（2022年3月時点）の二次医療圏における指標の値について上位1/3の閾値を217.6、下位1/3の閾値を179.3と設定している（小数第2位以下略）。なお今後、都道府県における第8次医療計画の策定に当たり二次医療圏の見直し等が行われた場合は、見直し後の二次医療圏の医師偏在指標を再計算し、前述の閾値を用いて区分分けを行う。したがって、上位1/3、下位1/3に区分される二次医療圏の数は、全国の二次医療圏の総数の1/3と必ずしも一致しない場合があり得る。

(医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用に当たっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。

資料省略 (P27~43)

資料③ 【福島県】 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

資料④ 【茨城県】 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

資料⑤ 【千葉県】 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

資料⑥ 【新潟県】 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

資料⑦ 【静岡県】 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

資料⑧ 【群馬県】 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

資料⑨ 「令和7年度医学部入学定員増員計画」

## 別記様式第2号(その2の1)

教 育 課 程 等 の 概 要															
(医学部医学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共 通 教 育 科 目	医療法学・医療倫理学の基礎	1前		2			○							4	オムニバス
	ヒューマンコミュニケーション	1通		2				○		1	2	2	1	76	一部共同
	医療統計学	1前		2			○							2	オムニバス
	英語	1通		2										3	オムニバス
	医療心理学	1前			2		○							1	
	臨床心理学	1後			2		○							1	
	ヘルスケアエデュケーション	1前			2		○							1	
	ヘルス・コミュニケーション	1前・後			2		○							1	
	医療経済学	1前・後			2		○							1	
	医療とボランティア	1前			2		○							3	オムニバス
	日本国憲法	1前・後			2		○							1	
	社会と医療	1前・後			2		○							1	
	基礎医療法学	1前			2		○							1	
	多文化社会論	1前・後			2		○							1	
	地域健康管理学入門	1前			2		○				1			5	一部共同
	災害からの復活と公衆衛生	1後			2		○				1			6	オムニバス/一部共同
	生命と物質のサイエンス	1後			2		○							1	
	新薬発見のケーススタディー	1前			1		○							4	オムニバス
	コンタクトレンズの基礎	1後			1		○							2	オムニバス
	夢の薬物送達システム (DDS)	1後			1		○							4	オムニバス
	グラフィック基礎	1後			2		○							1	
	細胞生物学入門	1前			2		○							3	オムニバス
	SDGs概論	1後			2		○							15	メディア/オムニバス
	医療界のワーク・ライフ学	1前			1		○				2		2	6	オムニバス/一部共同
	チーム医療論	1前			1		○				1			5	オムニバス/一部共同
	世界に羽ばたく医療人	1前・後			2		○							2	共同
	医療数理科学入門	1前			2		○							1	
	データサイエンス・AI入門	1前・後			2		○							1	メディア
	イングリッシュ・コミュニケーション	1前			2		○							1	
	アカデミック・イングリッシュ	1前			2		○							1	
	TOEIC対策英語	1前・後			2		○							1	
	リメディアル化学	1前			2		○							1	一部メディア※演習
	リメディアル物理学	1前			2		○							1	一部メディア※演習
	リメディアル生物学	1前			2		○							2	一部メディア/オムニバス※演習
	日本史の転換点を見極める	1前・後			2		○							1	メディア
	心ころがるサイコロジー	1前・後			2		○							1	メディア
	罪と罰を科学する	1前・後			2		○							1	メディア
	国際理解の扉を開く (ポストコロナル太平洋の探究)	1前・後			2		○							1	メディア
	安全と危機管理学	1前・後			2		○				1			8	メディア/オムニバス
	薬の現在・過去・未来	1前・後			2		○							10	メディア/オムニバス
	科学とはなんだろう	1前・後			2		○							1	メディア
	イノベーションをはじめよう	1前・後			2		○							1	メディア
	価値デザイン入門	1前・後			2		○							1	メディア
	中国語入門	1前・後			1		○							1	メディア
	韓国語入門	1前・後			1		○							1	メディア
小計 (45科目)		—	—	8	75	0				7	2	2	0	1	140

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(医学部医学科)																		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		基 幹 教 員 以 外 の 教 員 ( 助 手 を 除 く)		
専門基礎科目	医学序論総合演習	1		(24.0)					○			1	1	1		3	オムニバス/一部共同	
	プロフェッショナルリズムⅠ	1	○	(52.5)				○				6	1	2		4	オムニバス/一部共同	
	プロフェッショナルリズムⅡ	2	○	(12.0)				○				1				2	オムニバス	
	生命科学Ⅰ	1		(27.0)				○								3	オムニバス	
	生命科学Ⅱ	1		(43.5)				○								3	オムニバス	
	生命科学実験Ⅰ	1		(40.5)						○						5	共同	
	生命科学実験Ⅱ	1		(45.0)						○						6	共同	
	医学英語Ⅰ	2		(21.0)				○					1			4	オムニバス	
	医学英語Ⅱ	3		(18.0)				○					1	2		2	オムニバス	
	臨床英語	4		(21.0)				○					2	1		3	オムニバス	
	医療法学・医療倫理学	4		(21.0)				○								5	オムニバス	
	医療コミュニケーション	4		(7.5)						○					1		5	オムニバス
	学際的テーマ医療論	3	○		(12.0)				○				5					オムニバス/一部共同
小計（13科目）	—	—	—	345.0	0	0			—			11	3	5	0	0	34	
専門科目	解剖学	1	○	(342.0)				○				3		1	1		6	オムニバス/一部共同
	生理学	1	○	(22.5)				○				1	1				2	オムニバス/一部共同
	生化学	1	○	(30.0)				○				2					4	オムニバス
	病理学	2	○	(13.5)				○				2					2	オムニバス
	薬理学	2	○	(39.0)				○				1					4	オムニバス
	微生物学入門	1	○	(15.0)				○				1		2			3	オムニバス
	微生物学Ⅰ	2	○	(30.0)				○				1					3	オムニバス
	微生物学Ⅱ	2	○	(42.0)				○				1		1			3	オムニバス
	基礎医学統合講義（免疫）	2		(30.0)				○				1		2			3	オムニバス
	基礎医学統合講義（内分泌・代謝・消化器）	2		(51.0)				○				1	1		1		8	オムニバス
	基礎医学統合講義（呼吸器・腎・体液）	2		(22.5)				○									1	
	基礎医学統合講義（血液・循環・心臓）	2		(31.5)				○				1					4	オムニバス
	基礎医学統合講義（遺伝・遺伝子Ⅰ）	2		(15.0)				○				1					4	オムニバス
	基礎医学統合講義（遺伝・遺伝子Ⅱ）	2		(22.5)				○				2					1	オムニバス
	基礎医学統合講義（神経）	2		(54.0)				○				1	1				4	オムニバス
	基礎医学統合講義（腫瘍）	2		(15.0)				○				4					3	オムニバス
	統合実習	2		(159.0)						○		10	1	3	1	1	28	共同
	衛生学公衆衛生学	3	○	(48.0)				○				3					14	オムニバス/一部共同
	法医学	2	○	(16.5)				○				1					1	オムニバス
	臨床医学統合講義（呼吸器）	3	○	(45.0)				○				4	1		1	2	7	オムニバス
	臨床医学統合講義（循環器）	3	○	(66.0)				○				6	2	1			11	オムニバス
	臨床医学統合講義（血液）	3	○	(30.0)				○				2		1			4	オムニバス/一部共同
	臨床医学統合講義（腎・泌尿器）	3	○	(57.0)				○				7	1				11	オムニバス
	臨床医学統合講義（感染症）	3	○	(30.0)				○				1			1		4	オムニバス
	臨床医学統合講義（神経）	2	○	(60.0)				○				10					17	オムニバス
	臨床医学統合講義（消化管）	2	○	(43.5)				○				5	1				10	オムニバス
	臨床医学統合講義（肝胆臓）	3	○	(28.5)				○				8	1		1		3	オムニバス
	臨床医学統合講義（免疫・アレルギー）	3	○	(18.0)				○				1		1			4	オムニバス
	臨床医学統合講義（内分泌・代謝）	3	○	(34.5)				○				6					8	オムニバス
	臨床腫瘍学	3	○	(30.0)				○				4					8	オムニバス
	緩和医療学	4	○	(12.0)				○				2	1				4	オムニバス
外科学	3	○	(16.5)				○				5					5	オムニバス	
産婦人科学	4	○	(67.5)				○				6		1			12	オムニバス	
小児科学・小児外科学	4	○	(70.5)				○				3		4			11	オムニバス	
精神神経科学	4	○	(45.0)				○				3	2	2			6	オムニバス	
皮膚科学	3	○	(22.5)				○				4			1		8	オムニバス	
放射線科学	3	○	(48.0)				○				4				1	11	オムニバス	
整形外科	3	○	(42.0)				○				6	2		1		13	オムニバス	

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要																
(医学部医学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		基 幹 教 員 (助 手 を 除 く) 以 外 の 教 員
専 門 科 目	耳鼻咽喉科学	3	○	(21.0)			○			1		1		3	オムニバス	
	眼科学	3	○	(18.0)			○			1				9	オムニバス	
	麻酔科学	3	○	(16.5)			○			3	1			7	オムニバス	
	リハビリテーション医学	3	○	(12.0)			○			2	1		1	2	オムニバス	
	救急医学	3	○	(21.0)			○			6				6	オムニバス	
	患者安全学	4	○	(13.5)			○			2				1	オムニバス	
	臨床薬理学	3	○	(43.5)			○			1						
	診断学・臨床推論Ⅰ	2	○	(42.0)			○			10	1	1			4	オムニバス
	診断学・臨床推論Ⅱ	3	○	(42.0)			○			8	1	3	1		4	オムニバス
	診断学・臨床推論Ⅲ(症例演習)	3	○	(30.0)				○		1						
	診断学・臨床推論Ⅳ(症例演習)	4	○	(21.0)				○		1						
	診断学・臨床推論Ⅴ(診断学実習)	4	○	(52.5)					○	1						
	基礎医学臨床医学統合演習(TBL)	2		(30.0)					○	1		1			1	オムニバス
	地域医療学	3	○	(15.0)			○			1					7	オムニバス/一部共同
	参加型臨床実習(BSL)	4~5		2128.0												
	・皮膚科学臨床実習	4	○	(38.0)					○	4			1	3	8	
	・放射線科学臨床実習	4	○	(38.0)					○	3				7	8	
	・耳鼻咽喉科学臨床実習	4	○	(38.0)					○	3		1		6	4	
	・眼科学臨床実習	4	○	(38.0)					○	1			1		2	
	・泌尿器科学臨床実習	4	○	(38.0)					○	3				10	9	
	・口腔外科・形成外科学臨床実習	4	○	(38.0)					○	2	1	2			3	
	・心臓血管外科学臨床実習	4	○	(38.0)					○	2					5	
	・脳神経外科学臨床実習	4	○	(38.0)					○	2					5	
	・病理学臨床実習	4	○	(38.0)					○	2		1	1	2	5	
	・感染制御部・臨床検査医学臨床実習	4	○	(38.0)					○	2					2	
	・整形外科臨床実習	4	○	(76.0)					○	5	2		1	10	17	
	・ちばマイナー臨床実習	4	○	(38.0)					○	5	1				7	
	・溝口マイナー臨床実習	4	○	(38.0)					○	5	1			6	11	
	・総合内科臨床実習	5	○	(152.0)					○	5	2			10	8	
	・内科(呼吸器アレルギー)臨床実習	5	○	(76.0)					○	1			1	4	1	
	・内科(消化器)臨床実習	5	○	(76.0)					○	2	1		1	1	5	
	・内科(循環器)臨床実習	5	○	(76.0)					○	3	1			5	3	
	・内科(血液・腫瘍)臨床実習	5	○	(76.0)					○	3		1		2	6	
	・緩和医療学臨床実習	5	○	(38.0)					○	1	1				2	
	・脳神経内科学臨床実習	5	○	(76.0)					○	4				2	2	
・精神神経科学臨床実習	5	○	(76.0)					○	1	1	2			4		
・地域医療実習(精神科)	5	○	(38.0)					○	1							
・小児科学臨床実習	5	○	(152.0)					○	3		3		11	13		
・外科学臨床実習	5	○	(190.0)					○	6	3			2	10		
・リハビリテーション医学臨床実習	5	○						○	1	1		1				
・産婦人科学臨床実習	5	○	(152.0)					○	4					9		
・麻酔科学臨床実習	5	○	(38.0)					○	4					15		
・救急医学臨床実習	5	○	(190.0)					○	5					11		
・総合診療科臨床実習	5	○						○	1					1		
・内科(ちば三内・溝四内)臨床実習	5	○	(114.0)					○	10		1		14	20		
・地域医療実習Ⅰ	5	○	(38.0)					○	1							
・地域医療実習Ⅱ	5	○	(38.0)					○	1							
衛生学公衆衛生学実習	5	○	(60.0)					○	3		1			20		
選択制臨床実習(BSC)	6	○	(304.0)					○	63	13	11	7	98	176		
総合講義	6	○	(192.0)				○		33	6	4			20	オムニバス	
小計(87科目)	—	—	4827.5	0	0		—		113	17	17	8	126	350		

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要																
(医学部医学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 の教員 (助手を除く)
研公 コ究衆  医衛 ス養生 成学	臨床疫学研究序説	6			(10.5)		○			1						選択必修 選択必修 選択必修
	医学統計	6			(10.5)		○		1							
	医学研究演習	6			(45.0)			○	1							
	小計 (3科目)	—	—	0	66.0	0	—	—	1	0	0	0	0	0	0	
合計 (148科目)		—	—	8 5172.5	75 66.0	0	—	—	113	17	17	8	127	374		
学位又は称号		学士 (医学)			学位又は学科の分野			医学関係								
卒業・修了要件及び履修方法								授業期間等								
共通教育科目の必修8単位、選択4単位以上、及び専門基礎科目と専門科目の全科目を修得し、かつ共用試験 (OSCE・CBT)、総合試験、卒業試験及びPost CC OSCEに合格しなければならない。 ※<単位数>について、『共通教育科目』区分は単位数、それ以外の区分は、時間数で表記。								1学年の学期区分				2期				
								1学期の授業期間				15週				
								1時限の授業の標準時間				90分				

学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

<b>(1) 収容定員を変更する組織の概要</b>	<b>2</b>
①収容定員を変更する組織の概要 (名称、入学定員 (編入学定員)、収容定員、所在地)	2
②収容定員を変更する組織の特色	2
<b>(2) 人材需要の社会的な動向等</b>	<b>6</b>
①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析	6
②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析	14
③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域	14
④既設組織の定員充足の状況	15
<b>(3) 学生確保の見通し</b>	<b>28</b>
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	28
ア 既設組織における取組とその目標	28
イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標	30
ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数	30
②競合校の状況分析 (立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況)	33
ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性	33
イ 競合校の入学志願動向等	34
ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等 (競合校定員未充足の場合のみ)	35
エ 学生納付金等の金額設定の理由	35
③先行事例分析	36
④学生確保に関するアンケート調査	36
⑤人材需要に関するアンケート調査等	36
<b>(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由</b>	<b>36</b>

## 学生確保の見通し等を記載した書類

### (1) 収容定員を変更する組織の概要

#### ①収容定員を変更する組織の概要（名称、入学定員（編入学定員）、収容定員、所在地）

新設学科	入学定員	収容定員	所在地
帝京大学 医学部医学科	119 (令和7年度)	701 (令和7年度)	東京都板橋区加賀二丁目 11 番 1 号

#### ②収容定員を変更する組織の特色

本学は、「努力をすべての基とし偏見を排し 幅広い知識を身につけ 国際的視野に立って判断ができ 実学を通して創造力および人間味豊かな専門性ある人材の養成を目的とする」という建学の精神に則り、高等学校教育の上にさらに専門的知識と高度の理論並びに技術を教授し、グローバルな観点から日本国の発展に貢献できる、創造性の溢れた教養高い人材を育成することを使命としている。

この建学の精神に則り、医学部は、将来の医学・医療の様々な領域に共通して必要な専門的知識・技術を修得し、総合的視野と判断力および人間性を身につけて、医学および関連諸科学の進歩や社会情勢の変化に適応ができるよき医師を育成することを目的としている。

また、以下の通り、本学医学部の使命を掲げている。

#### 帝京大学医学部の使命

自立と自律の精神を身につけたよき医師を育成して社会に貢献する

Contributing to society by fostering independent physicians that have a strong sense of responsibility

自立と自律とは、自ら立ち自らを律する人間性とそれを支える問題発見力、判断力、行動力、責任感を意味し、本学における教育理念を示したものです。よき医師とは、時代とともに変化する多様な医療ニーズに生涯にわたって対応できる幅広い知識と技術に加え、多職種と協働し、患者及び家族と共に歩む人間性を身につけた医師を意味します。実践を通してこのようなよき医師を育成し、地域医療及び医学研究を通して国際社会に貢献することが帝京大学医学部の使命です。帝京大学医学部は、この使命を将来にわたって果たし続けるために、常に自らの評価と改善を継続します。

医学部の目的や使命を踏まえて、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーを次の通り定めている。

#### 医学部のディプロマポリシー（学位授与の方針）

医学部は、医学・医療の発展に寄与するために最新の医学知識と技量を身につけ、多様な医療を提供できるよき医師の育成を目指している。以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修めた者に対して学位を授与する。

1. よき医師として、将来の医学・医療の様々な領域に共通して必要な専門的知識・技術および態度・習慣を修得し、生涯にわたる学修の素地を身につけることができる。
2. 自ら問題を的確にとらえて解決する能力と創造性を身につけ、医学および関連諸科学の進歩や社会情勢の変化に適応することができる。
3. 医療を自然科学のみならず、その背景にある精神的・社会的問題を関係づけて考えることができるとともに総合的視野と判断力および人間性を身につけることができる。

#### 医学部のカリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）

学位授与に要求される能力を修得するために、医学部は、以下の方針でカリキュラムを編成する。

1. 共通教育科目は、豊かな人間性、医学・医療に不可欠な倫理観、基礎的コミュニケーションスキル、国際性ならびに医療人として必要な基礎的知識を身につけることを目的とした科目を編成する。
2. 専門基礎科目は、専門的知識・技術を学ぶ上で必要な各領域の基礎医学に関する科目を編成するとともにチーム医療の理解を深めるためアーリー・エクスポージャー(早期臨床体験)に関する科目を編成する。
3. 専門科目は、現代医療を担う一員として必要な臨床医学ならびに診断・検査・治療に関する科目を編成する。また、すべての医学知識や技術的な側面の理解を深め、医師としてあるべき態度を学ぶため各診療科の臨床実習を配置する。

本学医学部では、上記の目的や3ポリシーに加え、医学教育モデル・コア・カリキュラムの基本的な資質・能力をベースに以下のコンピテンス(能力)を身につけるアウトカムを掲げている。

### 本学医学部のアウトカム（コンピテンス一覧）

- A. 患者中心の医療を実践できる
- B. 安全な医療を提供できる
- C. コミュニケーションスキルを活用して、患者や家族と良好な関係を築き、チームの一員として責任を果たせる
- D. 社会制度や法律に基づいた医療を実践できる
- E. 疾病の予防、健康の増進に貢献できる
- F. 代表的な疾病などに関する医学知識を身につけている
- G. 頻繁に遭遇する疾病などの初期診療ができる
- H. EBM に立脚して必要な情報を収集・分析し、診療能力を向上する努力を生涯にわたって継続できる
- I. 医学・医療の進歩に貢献できる

本学医学部のすべての教育は、上記のアウトカムを基盤とした教育を推し進めており、その方針のもとに各医学教育が行われているが、特に地域に貢献する医師養成に必要とされる地域医療関連の主たる教育科目について、シラバスに記載している「授業の概要」は、以下の通りである。

#### 1) プロフェッショナリズムⅡ（第2学年）

プロフェッショナリズムⅠ・Ⅱを通して、医師としてのプロフェッショナリズムとは何かを知り、その行動規範に従って行動できることを学修する。プロフェッショナリズムⅡでは、高齢者の精神的・身体的特徴を学んだ上で、高齢者施設を訪問して高齢者とのコミュニケーションを実体験する。講義・実習を通して、地域社会における医療の状況、地域包括ケアシステム、地域における保健などを学修する。

#### 2) 地域医療学（第3学年）

地域医療学の総論から各論について、へき地、地方、関東近郊で実務されている先生方を講師に招いて、地域医療について幅広く学修する。具体的には、①地域医療、プライマリ・ケア、家庭医療の概念、②患者・医師関係のあり方（患者中心の臨床技法）、③地域の介護・福祉資源との連携、および在宅医療・ケア、④地域医療システム、へき地医療、医師の偏在の問題、⑤地域医療と社会医学とのかかわり、地域医療学的な疾患・健康問題、⑥実際の臨床事例に基づく学び方（Real-case based learning）などについて学修する。

### 3) 衛生学公衆衛生学（第3学年）

医師は公衆衛生活動の中核を担うことが期待されており、活動の基礎となる公衆衛生学を系統的に学ぶ。この講義の一部として、地域社会における医療の状況、機能および体制等を含めた地域保健について学修する。

### 4) 地域医療実習（Ⅰ・Ⅱ）（第5学年）

地域医療の実地体験を通して、地域医療の仕組み、地域医療機関や医師会の役割、多職種連携によるチーム医療、医療機関の経営と保険診療、地域特性による医療需要の多様性などについて学修する。科目名称については、地域医療実習Ⅰと地域医実習Ⅱに区別しているが、学生一人一人に2箇所の実習先を体験して貰うために、便宜上区別したものであり、基本的にⅠとⅡの教育内容・到達目標に違いはない。

なお、地域医療実習先については、2024年度現在40施設を確保している。

### 5) 衛生学公衆衛生学実習（第5学年）

衛生学公衆衛生学実習は、複数のテーマとそれぞれのテーマ毎にコーディネーターが配置されており、医学生は希望のテーマを選択する。地域医療をテーマとするグループ（地域医療学班）では、島嶼部や山間地域などの医療機関での実習を通して、地域医療やプライマリ・ケアの現状と課題を学修する。また、家庭医療をテーマとするグループ（家庭医療班）では、家庭医療、プライマリ・ケア医が、地域で活躍する現場を体験し、日本のプライマリ・ケアの今後について学修する。

### 6) 地域医療実習（精神科）（第5学年）

2022(令和4)年度より精神神経科学臨床実習の充実を図るため、2週間から3週間に変更し、1週増えた分は、精神科地域医療実習の内容を追加した。そこで精神医療の概要を広く知り、地域とのつながりの中で精神医療・精神保健がどのように機能しているのかを学修する。そのことを明示するため、科目名称は精神神経科学臨床実習（地域医療実習含む）とした。2024年度より同実習から、精神科地域医療実習の部分を切り離し、地域医療を全面に出した科目として単独開講した。科目名称は、地域医療実習（精神科）とし、地域の現場にて精神科診療チームの一員として担当医やメディカルスタッフと協働して医師のプロフェッショナルリズムを学修し、頻度の高い精神疾患の病態生理とケア、リハビリテーションの基本などを修得する。

このように時代の変化に伴う社会の要請を踏まえ地域医療の教育の充実を図るなど、臨時定員増に充分対応可能な教育課程の見直しを図っている。

## (2) 人材需要の社会的な動向等

### ①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

#### 1)福島県

福島県の医師数の状況については、厚生労働省が公表した「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況（令和4(2022)年12月31日現在）」（資料①）によると、人口10万人対医師数は、218.7人（47都道府県中42位）となっており、2年前(令和2(2020)年の205.7人に比べて増加しているが、全国平均の262.1人を大きく下回っている。

厚生労働省が公表した都道府県の「医師偏在指標（令和6年1月10日更新）」（資料②）では、全国医師偏在指標255.6に対して福島県は190.5となっており、全国の下位33.3%に該当する「医師少数都道府県」となる。全国で「医師偏在指標」の数値が200.0以下は7県になるが、福島県はこの7県の中に含まれており、全国的に見ても医師不足が非常に深刻である。

同県の医師数は、2011(平成23)年3月の東日本大震災以前から深刻な状況ではあったが、震災後にさらに減少した。その後、2017(平成29)年に東日本大震災以前の水準まで回復し、その後は増加傾向が見られる。

ただし、医師の地域偏在は深刻であり、県内を6の区域に分けた二次医療圏に目を向けると、全国二次医療圏の「医師偏在指標（令和6年1月10日更新）」（資料②）が255.6に対して、県北医療圏は266.1で全国の上位33.3%に位置する医師多数区域に該当するが、県南医療圏（162.7）、相双医療圏（155.5）、いわき医療圏（123.2）、会津・南会津医療圏（168.9）の4医療圏は、全国的に見て下位33.3%に位置する医師少数区域に該当している。特に相双医療圏においては、未だ東日本大震災以前の水準まで回復しておらず、今後の住民の帰還や医療提供体制の推移等を見据え、引き続き医師確保に向けた取り組みを進めていく必要がある。

このような状況下、福島県では地域枠医師等の地域定着のための取り組みとして、へき地医療対策に係る各種事業を円滑かつ効率的に実施することを目的に、2004(平成16)年1月に福島県へき地医療支援機構を設置、地域に必要な医師の確保その他地域医療の確保対策等について関係者による検討・協議を行う場として2008(平成20)年10月に福島県地域医療対策協議会を設置、医師不足や地域偏在を解消に向けた施策を実施するため、2011(平成23)年12月に福島県立医科大学内に福島県地域医療支援センターを設置するなどの組織作りに取り組んできた。

また、医師のキャリア形成支援と県内定着促進する取り組みとしては、修学資金貸与医師の県内定着促進、県内臨床研修病院の連携強化、指導医の養成等による臨床研修体制の充実、医学生や若手医師が定着できる魅力ある指導環境の整備等が挙げられる。

その他、医師を志す学生に対する支援については、地域医療に関心のある医学生を対象に、へき地診療所等の地域医療の現場視察や地域医療に従事する医師との懇談・地域住民との交流などの体験研修の実施、福島県内の臨床研修病院が一堂に会す合同説明会（合同ガイドン

ス)の開催、福島県内の臨床研修病院を見学する県外大学の医学部生(4年から6年生)を対象として、旅費(交通費・宿泊費)を支給する制度の運用などに取り組んでいる。

現在、福島県における医師修学資金貸与制度は複数あるが、帝京大学医学部地域枠に紐付けされている制度は「地域医療医師確保修学資金」制度である。

本学と福島県との地域枠の連携については、2010(平成22)年度から開始されており、2024(令和6)年度で15年目の長きに亘って連携してきたことになる。福島県と連携している大学は、2024(令和6)年度において福島県立医科大学と本学の2大学のみであり、他県と比較すると連携している大学が少なく、2025(令和7)年度以降も帝京大学「福島県枠」の臨時定員2名の維持を強く希望している。

福島県と本学との連携は必要不可欠なことから、改めて2025(令和7)年度の地域枠について福島県と本学とで協議をした結果、継続する合意が得られたため、この度、福島県保健福祉部長から本学の臨時入学定員(地域枠)2人を含む「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和6年8月7日付で厚生労働省医政局長宛に提出された。(資料③)この誓約書に基づき本学は、福島県との連携を前提とした臨時入学定員2人を計画する。

(引用元：福島県ホームページおよび「福島県医師確保計画」)

## 2)茨城県

茨城県の医師数の状況については、厚生労働省が公表した「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況(令和4(2022)年12月31日現在)」(資料①)によると、人口10万人対医師数は、202.0人(47都道府県中46位)となっており、2年前(令和2(2020)年の193.8人に比べて増加しているが、全国平均の262.1人を大きく下回っている。

厚生労働省が公表した都道府県の「医師偏在指標(令和6年1月10日更新)」(資料②)では、全国医師偏在指標255.6に対して茨城県は193.6となっており、全国の下位33.3%に該当する「医師少数都道府県」となる。全国で「医師偏在指標」の数値が200.0以下は7県になるが、茨城県はこの7県の中に含まれており、全国的に見ても医師不足が非常に深刻である。

また、県内の9つの二次医療圏を全国二次医療圏の「医師偏在指標(令和6年1月10日更新)」(資料②)(255.6)と比較すると、水戸医療圏(231.2)とつくば医療圏(337.7)は、全国の二次医療圏の上位33.3%に位置する医師多数区域に該当するが、日立医療圏(140.3)、常陸太田・ひたちなか医療圏(140.3)、鹿行医療圏(137.2)、取手・竜ヶ崎医療圏(173.3)、筑西・下妻医療圏(153.0)、古河・坂東医療圏(148.8)の6医療圏は、全国的に見ての下位33.3%に位置する医師少数区域に該当しており、県内における顕著な医師偏在の実態が浮き彫りとなっている。

2019(平成31)年3月の医師需給分科会において「将来時点(2036(令和18)年時点)における不足医師数等(都道府県単位)(暫定版)」が示され、茨城県の2036(令和18)年に向けた医師の年間不足養成数は81人と示された。この暫定数値に基づく2036(令和18)年時点の必要医師

数を確保するためには、茨城県としては、2024(令和 6)年度から 24 名の地域枠の新増設が必要と試算している。

医学部地域枠修学生を対象とした茨城県地域医療支援センターの取り組みとして、サマーセミナー・修学生の集い・スプリングセミナーなどの実施が挙げられる。サマーセミナーは、2022(令和 4)年度は Web 開催であったが、2023(令和 5)年度は、1～4 年生対象の病院見学会や 5 年生対象の地域医療研修会を現地開催で行った。また、6 年生修学生を対象に自治医科大学茨城県人会学術集会のオンライン参加を呼びかけた。修学生の集いについても、2022(令和 4)年度は Web 開催であったが、2023(令和 5)年度は 1～5 年生を対象とした修学生医師による症例発表会、学生企画（ワークショップ）および交流会を現地開催で実施した。スプリングセミナーについては、1～5 年生対象に医療圏紹介映像の放映や参加医療機関の医師らとの質疑応答などを Web 開催方式で実施した。2024(令和 6)年度も引き続きこれらの企画について現地開催を中心に行う予定である。

また、キャリア形成プログラムの取り組みとしては、基本診療科 19 領域のうち、臨床検査科を除く 18 領域について、県内の医療機関を基幹施設とするプログラムを作成済みである。実際の勤務をイメージしやすいよう、義務年限中のモデルを示すことで、修学生医師の義務の履行とキャリア形成への不安の解消を図っている。（引用元：茨城県ホームページおよび茨城県作成資料）

本学と茨城県とのこれまでの連携については、茨城県の不足医師数の確保のニーズに応えるため、2020(令和 2)年度より恒久定員枠にて茨城県特別地域枠の入学者選抜を実施してきたが、茨城県内の地域の医師不足に貢献する人材を養成し、医師確保を推進していくために、2023(令和 5)年度に茨城県と本学とで医学部入学定員にかかる臨時定員増の協議を行い、従来の恒久定員内の地域枠 1 名に加え、臨時定員による地域枠 1 名の合意が得られた。このことを踏まえ、茨城県保健医療部長から本学の臨時入学定員（地域枠）1 人を含む「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和 5 年 8 月 10 日付で厚生労働省医政局長宛に提出された。この誓約書に基づき本学は、2024(令和 6)年度より茨城県との連携を前提とした臨時入学定員 1 人の計画を加えた収容定員に係る学則変更を行った。2024(令和 6)年度において茨城県と本学とで協議をした結果、2025(令和 7)年度も継続する合意が得られたため、引き続き茨城県保健医療部長から本学の臨時入学定員（地域枠）1 人を含む「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和 6 年 8 月 9 日付で厚生労働省医政局長宛に正式に提出された（資料④）。この計画書に基づき本学は、茨城県との連携を前提とした臨時入学定員 1 人を計画する。

なお、従来の恒久定員枠での 1 名を維持し、かつ、臨時定員枠 1 名とするため、茨城県の地域枠設置数は計 2 名となる。

### 3)千葉県

千葉県の医師数の状況については、厚生労働省が公表した「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況（令和 4（2022）年 12 月 31 日現在）」（資料①）によると、人口 10 万人対医師数は、

209.0人(47都道府県中45位)となっており、2年前(令和2(2020)年の205.8人に比べて増加しているが、全国平均の262.1人を大きく下回っている。

厚生労働省が公表した都道府県の「医師偏在指標(令和6年1月10日更新)」(資料②)では、全国医師偏在指標255.6に対して千葉県は213.0となっており、全国の下位33.3%に該当する「医師少数都道府県」となる。

また、県内の9つの二次医療圏を全国二次医療圏の「医師偏在指標(令和6年1月10日更新)」(資料②)(255.6)と比較すると、千葉医療圏(268.6)と安房医療圏(322.6)は、全国の二次医療圏の上位33.3%に位置する医師多数区域に該当するが、山武長生夷隅医療圏(145.1)や君津医療圏(173.5)の2医療圏は、は、全国的に見て下位33.3%に位置する医師少数区域に該当しており、千葉県においても顕著な医師偏在が見られる。

このような状況下、千葉県の地域枠医師等の地域定着のための取り組みとして、地域に必要な医療を確保するため、県内の自治体病院の経営状態や医師不足による診療体制の縮小などの状況を把握し、各自治体の状況に応じた、医療資源の活用や機能分担などを図ることを目的として、2008(平成20)年9月に知事を本部長とする千葉県自治体病院支援対策本部を設置した。

また、2012(平成24)年10月に地域医療関係者と連携した千葉県地域医療支援センターを設置し、医師の地域偏在を解消するため、県内の医師不足の状況等を把握・分析し、医師のキャリア形成支援と一体的に医師不足病院の医師確保の支援等を行うとともに、医師確保に関する情報発信や相談対応を強化した。同センターの具体的な取り組みとして、①医師不足状況等の把握・分析、②千葉県医師修学資金貸付制度や千葉県ドクターバンク事業などの医師不足病院への支援、③臨床研修病院合同セミナー開催などのキャリア形成支援事業、④ホームページによる情報発信や女性医師等就業支援相談事業などの情報発信と相談への対応が挙げられる。

上記②の千葉県医師修学資金貸付制度については、2009(平成21)年度から2023(令和5)年度までに貸付を受けた者は625名で、毎年約60名ずつ制度利用者が増えおり、現在1~6年生で貸付制度を利用している修学生は320名である。修学資金貸付を利用した医師数は堅調に推移している。

上記③のキャリア形成支援事業については、地域医療へ貢献する意思を有する医学生に対して、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援をすることを目的として、「千葉県キャリア形成卒前支援プラン」を策定している。キャリア形成プログラムの内容については、病院見学バスツアーやセミナーなどの参加、キャリアコーディネータやキャリアサポーターへの相談などが挙げられる(引用元:千葉県ホームページ)。

このような支援を通じて地域医療に貢献する医師の育成を行っており、2024(令和6)年度において千葉県地域枠を設置する大学は5大学となっている。

本学と千葉県との地域枠の連携については、千葉県内に帝京大学ちば総合医療センターが設置されている縁もあり、2011(平成23)年度から開始されており、2024(令和6)年度で14年

目の長きに亘って連携してきたことになる。今後も千葉県内の地域の医師不足に貢献する人材を養成し、医師確保を推進していくために双方の連携は必要不可欠なことから、改めて2025(令和 7)年度の地域枠について千葉県と本学とで協議をした結果、継続する合意が得られたため、この度、千葉県知事から本学の臨時入学定員(地域枠)2人を含む地域枠入学者の地域への定着を誓約する「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和6年8月16日付で厚生労働省医政局長宛に正式に提出された(資料⑤)。この計画書に基づき本学は、千葉県との連携を前提とした臨時入学定員2人を計画する。

#### 4)新潟県

新潟県の医師数の状況については、厚生労働省が公表した「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況(令和4(2022)年12月31日現在)」(資料①)によると、人口10万人対医師数は、212.8人(47都道府県中44位)となっており、2年前(令和2(2020)年の204.3人)に比べて増加しているが、全国平均の262.1人を大きく下回っている。

厚生労働省が公表した都道府県の「医師偏在指標(令和6年1月10日更新)」(資料②)では、全国医師偏在指標255.6に対して新潟県は184.7となっており、全国の下位33.3%に該当する「医師少数都道府県」に該当する。全国で「医師偏在指標」の数値が200.0以下は7県になるが、新潟県はこの7県の中に含まれており、全国的に見ても医師不足が非常に深刻である。

また、県内の7つの二次医療圏を全国二次医療圏の「医師偏在指標(令和6年1月10日更新)」(資料②)(255.6)と比較すると、新潟医療圏(234.3)は、全国の二次医療圏の上位33.3%に位置する医師多数区域に該当するが、下越医療圏(156.0)、県央医療圏(141.6)、中越医療圏(158.2)、魚沼医療圏(132.0)、上越医療圏(159.6)、佐渡医療圏(138.9)の6医療圏は、全国的に見て下位33.3%に位置する医師少数区域に該当しており、明らかに医師数が一極集中化して、多くの地域で顕著な医師不足が見られる。新潟県における医師需給の現状と将来の見通しについては、将来時点の医師供給推計から、医師数が顕著に減少することが懸念されている。

新潟県では、将来の人口構造に対応した医療提供体制の構築が必要なことなどから「新潟県地域医療構想」を2017(平成29)年3月に策定した。その中で、新潟県の人口は、既に減少傾向にあり、2025(令和7)年には211万2,473人、2040(令和22)年には179万918人と、急速な人口減少を予測するとともに、高齢者人口の比率の方は今後大きく増加することを推計している。また、ここでも二次医療圏における人口10万対医師数や同病床数の格差について分析されている。

このような状況下、地域枠医師等の地域定着のための取り組みとして、地域医療を担う医師の養成やキャリア形成支援や医師不足病院への医師確保の支援等を行うため、福祉保健部医師・看護職員確保対策課内に「新潟県地域医療支援センター」を設置している。事業内容については、①新潟県医師養成修学資金貸与学生に対する地域医療実習の企画・運営および

キャリア形成プランの提示、②医師を対象としたワークライフに関する調査の実施・分析、③新潟県医師配置基礎調査の実施、④ドクターバンク事業への支援などが挙げられる。

また、新潟県が掲げる独自の取り組みとしては、臨床研修プログラムの魅力向上、臨床研修病院の教育力向上、イノベーター育成臨床研修コースの設定、病院・市と連携した海外留学支援制度、他県病院と連携した研修プログラムの創設、学生へのリクルート活動の強化、専門研修指導医派遣設定事業、特定診療奨学金貸与事業制度などが挙げられる。これらの取り組みが実を結び、2024(令和6)年の臨床研修医数が過去最多の161名に達した。

(引用元：新潟県ホームページおよび新潟県作成資料)

このように新潟県では、在学中から卒後教育までの様々な支援を通じて地域医療に貢献する医師の育成を行っているが、更に地域の医師確保を推進するため、地域枠については、毎年度新設・拡大に向けた調整を行っている。2024(令和6)年度地域枠の新設に際して、新潟県と本学との連携は必要不可欠であることから、双方で協議を行った結果、連携する合意が得られたため、新潟県福祉保健部長より本学の臨時入学定員(地域枠)1人を含む「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和5年8月10日付で厚生労働省医政局長宛に正式に提出された。この誓約書に基づき本学は、2024(令和6)年度より新潟県との連携を前提とした臨時入学定員1人の計画を加えた収容定員に係る学則変更を行った。この結果、2024(令和6)年度において新潟県地域枠を設置する大学は新たに本学も加わり12大学となっている。

引き続き2025(令和7)年度においても新潟県との協議の結果、継続する合意が得られたため、新潟県福祉保健部長から本学の臨時入学定員(地域枠)1人を含む「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和6年8月19日付で厚生労働省医政局長宛に正式に提出された(資料⑥)。この計画書に基づき本学は、新潟県との連携を前提とした臨時入学定員1人を計画する。

## 5)静岡県

静岡県の医師数の状況については、厚生労働省が公表した「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況(令和4(2022)年12月31日現在)」(資料①)によると、人口10万人対医師数は、230.1人(47都道府県中39位)となっており、2年前(令和2(2020)年の219.4人)に比べて増加しているが、全国平均の262.1人を大きく下回っている。

厚生労働省が公表した都道府県の「医師偏在指標(令和6年1月10日更新)」(資料②)では、全国医師偏在指標255.6に対して静岡県は211.8となっており、全国の下位33.3%に該当する「医師少数都道府県」に該当する。

また、県内の8つの二次医療圏を全国二次医療圏の「医師偏在指標(令和6年1月10日更新)」(資料②)(255.6)と比較すると、静岡医療圏(234.4)、西部医療圏(258.0)は、全国の二次医療圏の上位33.3%に位置する医師多数区域に該当するが、賀茂医療圏(144.4)、富士医療圏(157.9)、中東遠医療圏(176.3)の3医療圏は、全国の下位33.3%に位置する医師少数区域に該当しており、県内において顕著な医師偏在が見られる。

このような状況下、静岡県では地域枠医師等の地域定着のための取り組みとして、医師支援策を一元的かつ専門的に推進するため、2010(平成 22)年 10 月に「ふじのくに地域医療支援センター」を設置した。同センターが設置されたことにより、①医療の質の向上および医師を確保するための研修の充実、②医師および医学生の県内就職を促進するための情報発信・リクルート活動の促進、③医学修学研修資金利用者の配置方針の検討、④県内の各地域および各病院等の医療に関する調査および研究などについての業務が強化された。

上記①および②に関する医学部生に向けた取り組みとしては、県内病院での勤務に関する情報提供や先輩医師・他大学医学生との交流を目的とした「バーチャルメディカルカレッジ夏季セミナー」の開催、専任医師や先輩医師との交流を通して地域医療を学ぶ「医学修学研修資金利用者意見交換会」の開催、県内臨床研修病院の指導医や先輩研修医と交流を行う「病院合同説明会」の開催や「病院見学ツアー」の実施などが挙げられる。

さらに、静岡県では、県内の医師確保や医師偏在解消を目的として、一般社団法人静岡県医師会と協力し、県内で働きたい医師への就業支援などを行う医師向け無料職業紹介サイト「静岡県医師バンク」を運営して、様々なキャリアアップを希望する医師に役立つ情報を発信するなどの支援をしている。(引用元：静岡県ホームページおよび「静岡県医学修学研修資金ガイドブック 2024」)

上記③に関連する静岡県医学修学研修資金制度については、2009(平成 21)年度から2013(平成 25)年度当時の新規貸与枠は 100 人であったが、2014(平成 26)年度に 120 人に拡大し、2024(令和 6)年 3 月現在の実績において 1,620 人が利用しており、貸付制度を利用する修学生数は堅調に推移している。

このような支援を通じて地域医療に貢献する医師の育成を行っており、2024(令和 6)年度において静岡県地域枠を設置する大学は 10 大学となっている。

本学と静岡県との地域枠の連携については、2016(平成 28)年度から開始されており、2025(令和 7)年度でちょうど 10 年目を迎えることになる。今後も静岡県内の地域の医師不足に貢献する人材を養成し、医師確保を推進していく必要があり、改めて 2025(令和 7)年度の地域枠について静岡県と本学とで協議をした結果、継続する合意が得られたため、この度、静岡県健康福祉部長から本学の臨時入学定員(地域枠)2 人を含む「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和 6 年 8 月 14 日付で厚生労働省医政局長宛に正式に提出された(資料⑦)。この計画書に基づき本学は、静岡県との連携を前提とした臨時入学定員 2 人を計画する。

## 6)群馬県

群馬県の医師数の状況については、厚生労働省が公表した「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況(令和 4(2022)年 12 月 31 日現在)」(資料①)によると、人口 10 万人対医師数は、233.4 人(47 都道府県中 37 位)となっており、2 年前(令和 2(2020)年)の 233.8 人に比べて若干減少し、全国平均の 262.1 人を大きく下回っている。

厚生労働省が公表した都道府県の「医師偏在指標（令和 6 年 1 月 10 日更新）」（資料②）では、全国医師偏在指標 255.6 に対して群馬県は 219.7 となっており、全国の下位 33.3%に該当する「医師少数都道府県」に該当する。

また、県内 10 ヲ所の二次医療圏を全国二次医療圏の「医師偏在指標（令和 6 年 1 月 10 日更新）」（資料②）（255.6）と比較すると、前橋医療圏（340.2）は、全国の二次医療圏の上位 33.3%に位置する医師多数区域に該当するが、渋川医療圏（175.8）、伊勢崎医療圏（179.1）、吾妻医療圏（154.4）、桐生医療圏（174.5）、太田・館林医療圏（149.7）の 5 医療圏は、全国の下位 33.3%に位置する医師少数区域に該当しており、明らかに医師数が一極集中化して、多くの地域で顕著な医師不足が見られる。

上記の二次医療圏において効果的な対策の推進を図ることを目的として、地域保健医療対策協議会を設置している。具体的には、保健医療計画や地域医療構想などについての協議を進めている。

群馬県の保健医療計画については、県民が将来にわたり良質かつ適切な医療を効率的・継続的に受けられる体制を確保するため、第 8 次群馬県保健医療計画を 2018(平成 30)年 3 月に策定し、厚生労働省が公表した医師偏在指標を基に、地域間の医師偏在是正を図るため、医師確保計画の見直しを行っている。その後も医師確保計画や外来医療計画を定期的に見直すため、2020(令和 2)年 4 月に一部改訂版を作成している。

群馬県の医師確保対策の取り組みとしては、医師総数の確保や地域偏在、診療科偏在の解消のために、県、医師会、大学および県内の医療機関等が連携してオール群馬体制で取り組む「群馬県地域医療対策協議会（ぐんま総合医会）」を立ち上げ、関係者間の協議・調整を行っている。具体的には、①地域枠医師のキャリア形成プログラムに関する事項、②地域枠医師の派遣に関する事項、③医師少数区域などに派遣された医師の能力開発や向上支援に関すること、④大学における地域枠・地元枠の設定に関することなどが協議されている。

また、群馬県地域医療センターを設置し、①医師のキャリア形成支援、②医師不足病院の支援、③医師不足状況等の把握・分析、④情報発信と相談への対応などが行われている。

これらの各組織を通して、群馬県が医学生を対象とする具体的な取り組みとして、①充実した臨床研修を受けて貰うための合同説明会などの開催、②各種修学資金の制度設計、③臨床研修病院に関する広報活動・情報公開、④県外医学生を対象とした病院見学等の助成事業などが挙げられる。

上記の各種修学資金の制度として、2 種類の修学資金制度があるが、医学部地域枠学生に紐づいているのは、群馬県緊急医師確保修学資金制度である。

地域枠に関しては、群馬県と連携している大学が 2024(令和 6)年度において群馬大学のための、県としては地位枠の新設・拡充の必要性を検討した結果、2025(令和 7)年度における帝京大学「群馬県枠」の臨時定員 1 名について要請があり、本学として同県からの過去の志願者数などを踏まえて前向きに検討した結果、群馬県からの要請を応えることで同県の地域貢献に資するものと判断した。

このように2025(令和7)年度の地域枠について群馬県と本学とで協議をした結果、合意が得られたため、この度、群馬県健康福祉部長から本学の臨時入学定員（地域枠）1人を含む「地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書」が令和6年8月16日付で厚生労働省医政局長宛に提出された（資料⑧）。この誓約書に基づき本学は、群馬県との連携を前提とした臨時入学定員1人を計画する。

## ②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

文部科学省が公表している高等教育の在り方に関する特別部会（第6回）配付資料「参考データ集（2024年5月31日）」での日本の18歳人口の推移を見ると、2023年は約110万人であったものが減少し2035年には100万人を割って約96万人に減少していくものの、内閣府が公表している「令和5年版高齢社会白書（全体版）」によると、2025年には75歳以上の後期高齢者人口が2,180万人、65～74歳の前期高齢者人口が1,497万人に達すると予測されている。大勢の後期高齢者を支えるための医療人材養成の使命は引き続き急務であり、特に地域における医師不足は深刻である。

2025年の110万人から緩やかに減少し、2030年の105万人まで減少していく中であっても、「医学」の学問領域へのニーズは高く、2024年5月に実施された「河合塾第1回全統記述模試」学部系統別の状況では一般方式（112%）、共通テスト方式（96%）、合計（111%）になっており、全統記述模試私立大学志望動向集計での本学部の志望度も前年比103となり指数は下回らないため十分に入学定員を満たせると考える。

## ③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

本医学部の一般選抜入試の志願者の地域別の傾向として、東京・埼玉県・茨城県・千葉県・神奈川の1都4県で志願者全体の6割近くを占めている〈表①〉。

特別地域枠を設定する県についても一定数の一般入試選抜での志願者が存在し学生募集エリアは入学定員を充足できるとものと考ええる。

〈表①〉 医学部 一般選抜入試（地域特別枠を除く）志願者・受験者

都道府県名	2022年度		2023年度		2024年度	
	志願者	受験者	志願者	受験者	志願者	受験者
東京都	2,025	1,917	2,464	2,293	2,814	2,616
埼玉県	592	573	623	588	748	705
神奈川県	545	519	560	532	723	685
千葉県	240	213	264	245	397	371
茨城県	230	216	192	179	271	249

静岡県	116	114	124	116	168	163
群馬県	88	86	109	105	144	126
新潟県	86	76	72	69	111	100
福島県	25	22	52	50	61	52
上記以外の道府県、 高卒認定・大検 計	2,443	2,293	2,442	2,265	2,909	2,694
合計	6,390	6,029	6,902	6,442	8,346	7,761

#### ④既設組織の定員充足の状況

##### 八王子キャンパス 外国語学部 国際日本学科

##### 1) 定員充足の見込み

外国語学部国際日本学科は2022(令和4)年4月に新設され、「世界の中の日本」の視点に基づく日本の価値や役割に関する深い理解を踏まえ、日本を世界に発信する能力ならびに異文化理解とグローバル共生の能力を修得し、国際日本学に関する課題解決に貢献できる人材育成を目指している。世界がよりグローバル化し、日本が多文化共生社会となっていくことが予測される今こそ、上記のような多様な価値観を持ち、異文化理解のできる人材が求められる。

一方で、国際日本学科が開設を迎えたのは、コロナ禍の水際対策により様々な海外渡航制限が課され、世界情勢が大きく変化していた最中であった。人々の行動変容も余儀なくされてきたが、現在は段階的な制限緩和やコロナの位置づけが第5類感染症へ移行したことなどに伴い、アフターコロナの時代を迎えつつある。実際に、出国者数も回復傾向にある。2022(令和4)年と2023(令和5)年の1～12月における出国者数を比較すると、2,771,700人から9,624,100人と約3.5倍に増加しており、順調な出国者数の回復と言える。(出典：訪日外客数(2023年12月推計値)日本政府観光局)

こうした社会情勢の影響により、高校生の外向き志向や言語・国際系分野への興味関心も強まり、国際日本学科においても志願者の増加につながることを期待できる。

国際日本学科ではこれまで次のような特色ある教育を行ってきた。

開設初年度となる2022(令和4)年度は、日本人学生は「基礎英語I～X」、留学生は「基礎日本語I～X」を1年次必修科目として設置し、グローバル共生の課題解決の基礎となる実践的な言語コミュニケーション能力と異文化理解能力を高めることに重点を置いてきた。さらに、専門教育科目の「国際日本学入門科目」において、国際日本学理解の入門となる日本の文化、歴史、社会、経済と経営、法と政治、日本語学に関する基礎的知識の修得ならびに世界における日本語学習の現状と課題、日本研究の現状と課題を学んだうえで、2年次前期に全員が「語学・文化研修プログラム」に参加することとしている。本研修先として日本人学生は、本学グループダラムキャンパス(イギリス)及びイギリス、オーストラリア、ニュージーランド、フィリピン、タイ、ベト

ナム、カンボジア等の海外の協定校へ、留学生は国内（島根、滋賀、山形、岩手）に派遣され、いずれの場合も語学の授業と文化研修を受け、語学力を伸ばすとともに派遣先の国・地域の歴史や文化、産業などを学ぶことができる。また、研修後の2年次後期からは、「日本語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」「国際日本学セミナーⅠ・Ⅱ」という必修科目で日本の学生と留学生が「協働学修」による授業活動を行い、身近な話題からグローバル共生社会の課題に至るまで、相互理解と発信する能力を養成している。

実際に、2023（令和5）年度「語学・文化研修プログラム」に参加した在学生からは、本研修実施後のアンケートを通して、スピーキング力や、短い会話への対応力が向上したとの前向きな意見が多数寄せられており、参加学生にとっても同研修の満足度が高かったことが伺える。

また、日本人学生においても、1年次から協働科目を通して、留学生と共に社会問題や人間関係について学んでいたことで、実際研修先の現地でも抵抗なく異文化について理解を深め、生活することができたとの意見もあり、入学後の早期段階から協働学習にて異文化に触れてきた経験がその後の研修時に活かされ、学生自身の自信にも繋がっているように感じている。

上記の通り、国際日本学科の特色に加え、2024（令和6）年度に研修へ参加した2期生の体験談についても、オープンキャンパスや国際日本学科独自の特設サイトを通して、国際日本学科の魅力を発信することで、継続的に定員充足に向けて努めていく。

上記のような特色のある学科にもかかわらず、国際日本学科の入学定員に対して、未充足である背景として、2点考えられる。

1点目は、2022（令和4）年に発足したばかりの国際日本学科を知ってもらうため、より多くの機会を得なければならないが、学科紹介チラシの配布等、限定的な広報のみとなったために、受験生のところまで届かなかったことが挙げられる。そのため、2023（令和5）年度入試による入学者数は85人となり、定員150人を下回る結果となった。

2点目はコロナの影響である。海外への研修旅行（3か月未満）に派遣された高校生について、コロナ禍前の42,793人（2017年）から1,217人（2021年）に減少している。また、高校生の留学（3か月以上）については、4,076人（2017年）から1,901人（2021年）に減少し、さらに高校生の外国への修学旅行についても、179,910人（2017年）から0人（2021年）に減少している。（出典：「令和3年度高等学校等における国際交流等の状況について」 文部科学省総合教育政策局国際教育課）

以上のことから、2023（令和5）年度入試で入学してきた学生は、高校時代をほぼコロナ禍の状況で過ごし海外で勉学することが想起しにくい状況であったことが窺える。しかし、コロナが収束してきたため、今後受験候補者たちが言語コミュニケーション能力向上と異文化理解能力向上を目指した「語学・文化研修プログラム」という全員留学制度の取り組みを現実的なものとしてとらえられるようになってくれるのではないかと期待している。

2024（令和6）年度入試状況においては、志願者が312人と2023（令和5）年度入試の志願者240人と比較して30%程度増加し、また、入学者についても、96人と2023（令和5）年度の入試の入学者85人と比較して、微増ながらも増加傾向を示している。【別紙2-2-2】

## 【別紙2】既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

### 2) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

2025（令和7）年度入試へ向けて、以下のような取り組みを予定している。

#### ア)国際日本学科の体験授業開催

オープンキャンパスをはじめ、入学者を増やすための大切な広報発信の機会に体験授業を実施している。オープンキャンパスでは、通常授業の様子・体験授業・学生インタビューの収録動画を活用したり、広報委員が国際日本学科の魅力をパワーポイントのスライドにて作成し、それを各担当教員がアレンジした形で説明したりして国際日本学科の雰囲気や授業内容を伝えている。

2024（令和6）年度は、オープンキャンパスに来る高校生及び保護者全員に国際日本学科の魅力を写真と共に載せたチラシを配布している。また、外国語学科の体験授業時にも、国際日本学科の魅力を発信すべく、チラシを配り周知することとしている。これにより昨年より周知する機会が増えたと実感している。実際に7月に実施した体験授業では、7月20日（土）に19名、21日（日）に46名が参加し、昨年度と比べおよそ4倍も動員することができた。本学の傾向として、オープンキャンパスの参加者数に比例して志願者数が増減するため、オープンキャンパスの参加者数が増えたことによって今年度の志願者数の増加が見込まれる。

今年度のオープンキャンパスでの各取り組みの概要は以下の通りである。

- ・6/16（日）：オープンキャンパスにて体験授業・学科別体験イベント等を開催。
- ・7/9（火）：宇都宮キャンパスにおける「進路選択と探求学習インターンシッププログラム」にて体験授業2回実施。
- ・7/20（土）：オープンキャンパスにて、体験授業、学科紹介イベントを実施。
- ・7/21（日）：オープンキャンパスにて、体験授業、学科紹介イベントを実施。
- ・8/4（日）：オープンキャンパスにて、体験授業、学科別体験イベントを実施。
- ・8/23（金）：オープンキャンパスにて、体験授業、学科別体験イベントを実施。
- ・9/15（日）：オープンキャンパスにて、体験授業、学科別体験イベントを実施。

なお、9/15（日）のイベントについては、2年次前期に「語学・文化研修プログラム」を修了した先輩学生にプログラムでの体験を高校生にわかりやすく説明してもらい、国際日本学科の魅力についてアピールする予定である。

そのほか、7/25（木）には高校生を対象にした学科紹介イベントを独自に開催し、学生によるキャンパスツアーや国際日本学科の学びに触れる体験型授業を実施するなど、オープンキャンパス以外でも国際日本学科の魅力を高校生に伝える機会を設けた。

## イ)学科ホームページ等の充実化

国際日本学科の取り組みを発信できるよう、大学ホームページとは別に設けている国際日本学科独自の特設サイト (<https://www.teikyo-u.ac.jp/gjs/top.html>) を運営している。日本人学生1人と留学生(カナダ)1人、教員1人により、留学生にも伝わるよう英語字幕付きで、「学科紹介動画」も配信している。2024(令和6)年度は2期生も継続して「語学・文化研修プログラム」のもと国内外留学を行い、「在校生の声」として派遣大学ごとに写真や派遣学生のコメントを動画に編集し、帝京大学及び八王子キャンパスの SNS の Facebook、X(旧 Twitter)、Instagram に掲載したほか、2期生に関しては「語学・文化研修」の学修成果の一環として、英語で学科を紹介する動画を作成し、上記 SNS 及び大学 HP に掲載し、学生目線で国際日本学科の魅力を伝えている。そのほか、日本語教員養成課程の内容を大学ガイドブックの国際日本学科ページに追加し、カリキュラムの充実ぶりも伝わりやすくした。

## ウ)国際日本学科の魅力発信

地域貢献活動として、八王子市から依頼を受け、「八王子学園都市大学いちょう塾」に国際日本学科の教員を派遣し、近隣住民・市民向けに公開講座を実施する(令和6年度後期講座)。リカレント教育の充実への貢献とともに、国際日本学科の魅力向上に努めていく。

また、大学コンソーシアム八王子主催の「第14回夏休み子どもいちょう塾」(7月20日実施)に国際日本学科の教員を派遣し、当日は近隣住民40名程度を対象に親子体験型講座を提供した。講座当日は、留学生にも運営スタッフとして参加いただき、学生目線で国際日本学科の特色となっている日本人学生と留学生による協働学習の魅力について発信した。

こうした情報発信を充実させるため、広報委員が国際日本学科の活動情報を収集しており、今後の広報活動にも活かしていく。学科教員から集めた様々なイベント・研究の取り組みなどをトピックスとして大学ホームページにアップしていくなど、本学広報課と連携して取り組んでいる。

以上のような取り組みを通して、学生確保に向けて引き続き注力していく所存である。

## **宇都宮キャンパス 理工学部 航空宇宙工学科**

### 1) 定員充足の見込み

全国的に18歳人口が今後減少の一途を辿ることは、文部科学省による統計で既に明らかである。一方で全国平均の大学進学率を見れば、18歳人口ピークの1992(平成4)年の26.4%から上昇して2009(平成21)年度より50%台となり多少の変動はあるものの徐々に増加しながら2021(令和3)年度は56.1%、2022(令和4)年度は57.5%、2023(令和5)年度は58.7%と過去最高の進学率となった。

理工学部のある栃木県の状況は、全国的な動向に比べてここ数年の伸びは鈍くなっている。栃木県総合政策部総合政策課が公開している資料によると、18歳人口は1992(平成4)年度の31,592

人をピークに 2023 (令和 5)年度には 15,875 人と 49.7%の減少となった。大学進学率では 1993(平成 5)年度の 24.6%から 2011 (平成 23)年度の 48.8%と順調に上昇したが、2012 (平成 24)年度 47.0%、2013 (平成 25)年度 47.3%、2014(平成 26)年度は 47.2%と下落傾向になった。2015(平成 27)年度 47.7%、2016(平成 28)年度 48.2%と上昇に転じ、一旦 2017(平成 29)年度は 47.8%と再び減少したが、2018(平成 30)年度から 48.9%と上昇した。新型コロナの影響もあり、2020 (令和 2)年度に 48.5%と減少したが、2021 (令和 3)年度 49.7%、2022 (令和 4)年度 50.7%、2023 (令和 5)年度 52.7%と過去最高の進学率とはなったものの、全国の進学率 58.7%には達していない。

また、北関東 3 県(茨城県、栃木県、群馬県)の傾向として、2023 (令和 5)年度の大学進学率は、茨城県は 61.2%で全国 8 位、栃木県 52.7%で同 20 位、群馬県 51.4%で同 25 位であるが、自県内の進学率は同年度茨城県 18.9%で全国 42 位、栃木県 25.6%で 29 位、群馬県 32.6%で同 22 位であり、ここ数年同じような傾向が続いている。栃木県出身の大学進学者の半数近くが東京都、埼玉県、神奈川県に入学している。(出典：平成 21(2009)年度栃木県内の大学、短期大学等の状況、令和 5 (2023)年度栃木県内の大学、短期大学等の状況：栃木県総合政策部総合政策課作成による)

2020 (令和 2)年度～2024 (令和 6)年度の航空宇宙工学科の入学人数は横ばいが続き、2024 (令和 6)年度入学人数は増加しているが、収容定員充足率は 0.48 と 0.7 倍未満となっている。

これまで宇都宮キャンパスでは、次のような特色ある教育研究を行ってきた。

航空宇宙工学科では、2014(平成 26)年に学生主体の宇宙研究システム研究会で設計製造した超小型人工衛星「TeikyoSat-3」を JAXA・HIIA ロケットで打ち上げ、宇宙空間での衛星内部の環境データなどの取得を行った。この衛星では実現できなかった、粘菌観察ミッションを実現すべく、2021 (令和 3)年には、イプシロン・ロケットにて、「TeikyoSat-4」を地球周回軌道に乗せることに成功し、前述のミッション達成に向けて運用中である。これらの活動は、学生の「モノ創り」の能力を高めるものであり、教育研究実績の成果である。

また、人力飛行機に関する活動では、2022 (令和 4)年、2023 (令和 5)年の鳥人間コンテストへの出場が連続して決まり、琵琶湖での飛行に向けて、製作を行った。この活動も、学生主体による「モノ創り」の実践であり、航空工学分野の教育が生かされている。

先に述べたように北関東地域の県内大学進学状況は厳しい状況ではあるが、宇都宮キャンパスでは栃木県に根を張り、地域の行政や産業界と連携し教育研究の改善に取り組んでいる。北関東地域の大学進学状況が厳しい中、航空宇宙工学科の入学定員充足率は 2020 (令和 2)年度 0.78、2021 (令和 3)年度 0.58、2022 (令和 4)年度 0.42、2023 (令和 5)年度 0.44 と減少傾向にあるが、これはコロナ禍の影響で航空業界へのイメージダウンが本学の進学にも影響して、低い数値となっているものとする。2024 (令和 6)年度は 0.56 と増加しているが、航空業界の展望が不透明であり微増となっている。【別紙 2 - 8 - 2】

## 【別紙 2】 既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）

### 2) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

先に述べたような困難な大学進学状況のもと、今後、安定的に学生確保を続けていくため、2021（令和 3）年度より宇都宮キャンパスでは教職員が一体となり学生募集強化のための企画、立案を行う組織として学生募集戦略会議を立ち上げた。メンバーは理工学部長を議長として宇都宮キャンパスに設置されている各学科の学科長及び入試運営委員会、教務委員会、学生委員会、就職委員会の委員長、事務の役職者、入試広報担当の事務職員で構成される。2024（令和 6）年度は、高大連携を推進するために協定を結んでいる高校を中心に 7 月には高校単位で 1 日大学体験ができる「進路選択と探求に関するインターンシップ」を昨年度に引き続き開催したり、高校教員を対象に説明会を開催して、高校教員と大学教員の結びつきを強固にし、高校からの要望なども聞き出して選ばれる大学となるよう学生獲得に向けて積極的な活動を行った。高校生に対しては通常行われているオープンキャンパスのほか、平日でも参加できる高校別の見学会を開催している。

2022（令和 4）年度のオープンキャンパスは、コロナ禍の影響を受けて、人数を制限して対面でのオープンキャンパスを実施したが、コロナ禍前までの来場者数には達せず、2023（令和 5）年度は人数制限を設けずに対面でのオープンキャンパスを開催して来場者数を伸ばした。また、Web オープンキャンパスや Web での個別相談会も実施して入学者増に繋げた。2024（令和 6）年度は実施回数を増やすことで、大学広報できる機会が増し、志願者増に結びつけていく。

今後は、留学生の積極的な受け入れを実施するために、継続して日本語学校訪問やオンラインを含む説明会、相談会を実施する。そして、国内の日本語学校とも指定校協定を結び留学生を確保する他、中国、韓国、ベトナムでの海外現地で入学試験を行い日本語能力 N2 相当を取得した学生には渡日前に入学許可を与えている。

また、宇都宮キャンパス内には収容定員 200 人の国際学生寮宇都宮があり、留学生と日本人学生が共同利用する国際学生寮で、入居を希望する留学生や日本人学生も多くおり、海外や近隣からだけでなく遠方の都道府県からの入学者の増加が見込まれる。

2025（令和 7）年度には、理工学部の機械・精密システム工学科、航空宇宙工学科、情報電子工学科、バイオサイエンス学科を総合理工学科と板橋キャンパスのデータサイエンス学科へ改組し、総合理工学科内に機械・航空宇宙コース、ロボティクス・AI コース、情報科学コース、環境バイオテクノロジーコースを設置する。対面に加え Web によるオープンキャンパスや相談会、見学会を通じて新たな組織の広報を行い、学生確保に努めていく。

## 福岡キャンパス 福岡医療技術学部 理学療法学科

### 1) 定員充足の見込み

2016（平成 28）年度以降、徐々に入学者数が減少した要因として九州管内、特に福岡市の中心部に競合する大学が増えたことに加え、2023（令和 5）年度は 18 歳人口が大幅に減少したことが要因と考えられる。（出典：教育企画センター 都道府県別 18 歳人口予測値推移・福岡県理学療法士会 理学療法士養成学校一覧）

1965(昭和 40)年に「理学療法士及び作業療法士法」が制定され、理学療法の定義として第 2 条に、『この法律で「理学療法」とは、身体に障害がある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行なわせ、及び電気刺激、マツサージ、温熱その他の物理的手段を加えることをいう。』と記載されている。(出典：理学療法士及び作業療法士法 第二条)

すなわち、法制定当初、理学療法は身体に障害を有する方に対して、医師の指示のもと医療として行われるものであった。しかし、法律の制定から 60 年足らずの現在では、医療のみにとどまらず、介護や福祉分野、健常者に対する保健、疾病予防、健康増進から職場での労働災害予防、スポーツ選手の外傷予防やコンディショニングなど、あらゆる人々の健康にかかわる仕事となっている。このことは「公益社団法人 日本理学療法学会連合」に 15 の学術分科学会と 5 つの研究会が存在していることから伺える。

(出典：日本理学療法学会連合 HP <https://www.jspt.or.jp/about/organization/>)

これらは、あらゆる分野で理学療法士の専門性が求められていることを示しており、高等教育機関での理学療法士養成の必要性は、今後も高まるものと考えられる。

2014 (平成 26)年度のキャンパス移転後、入学定員 80 名に対し、2014 (平成 26)年度は 94 名、2015 (平成 27)年度は 86 名と定員充足していたが、2016(平成 28)年度から入学者数が減少し、2020 (令和 2)年度から 2024 (令和 6)年度までの 5 年間の入学者数の平均は 61 名 (入学定員充足率 76%) である。(参考：入試データ(志願者・入学者・OC 受験率)2014～)【別紙 2-10-1】

#### 【別紙 2】 既設学科等の入学定員の充足状況 (直近 5 年間)

2024 (令和 6)年 3 月現在の理学療法士の職場の分布をみると、78%が医療施設であり、今後ますます進む高齢社会で必要とされる介護サービス施設・事業所では 15%、障害者福祉施設・事業所においては 1.4%、保健や福祉といった行政機関は 0.6%に留まっているのが現状である。

(出典：日本理学療法士協会 HP <https://www.japanpt.or.jp/activity/data/>)

しかしながら、厚生労働省が医療と介護を医療機関や施設などで行うサービスから地域の包括的な支援・サービス提供体制である「地域包括ケアシステム」を推進していることは承知のとおりであり、この「地域包括ケアシステム」における国民の健康、福祉において理学療法士が寄与することは大きく、今後ますます介護保険関連施設や保健・福祉施設、行政での需要が高まるものと思われる。(出典：地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律)

また、近年スポーツ分野での需要が高まっており、当該学科の卒業生の中には、プロスポーツチームに理学療法士として採用され、活躍している者もいる。(参考：サッカーJ1 川崎フロンターレ、プロ野球埼玉西武ライオンズなど) さらに、高等学校の部活動のサポート、オリンピックやパラリンピック、国民スポーツ大会での選手の外傷予防やコンディショニング、アスレティックリハビリテーションの実践者として、理学療法士の需要は高まっている。特に中学校や高等学校での部活動が社会スポーツに移行している近年では、スポーツ医療の知識を持ったスポーツ指導者が求められており、様々な場面での活動も期待されている。

これらの要因により、今後も理学療法士の需要が拡大することが予想される。社会的認知度や理学療法士の魅力をより向上させる方法としては、後述の「学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果」に記載しているが、近隣の小・中・高等学校と連携した活動や、オープンキャンパス・出張講義等で当該学科の教育内容、職業自体を普及・啓発し、定員充足に繋げていく。

## 2) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

今後の学生確保に向けた取り組みについては、現在、当該学科教員と福岡キャンパス入試課で定期的に戦略会議を開催し、以下の取り組みを計画・実施している。

### ①来場型イベントの開催

当該学科に興味を持ってもらうために、2022（令和 4）年度から「アカデミックキャンプ」として、高校生を対象としたイベントを実施している。筋電図を用いた筋活動の実験・実験結果のまとめ、発表等を行い、より専門性の高い内容となっている。当該学科の学生や教員の補助のもとで理学療法を体験し、交流することで当該学科への志望度を高めることができている。オープンキャンパスとの差別化を図り、オープンキャンパスに参加しない層へのアプローチを強化することで志願者の増加が見込めるため、2024（令和 6）年度も継続して実施する。

### ②教員による高校訪問

当該学科学生の臨床実習期間中に、実習地を訪問する際、該当県出身在学生が卒業した高校を訪問し、お世話になった高校教員に直接近況報告を行っている。これにより、卒業生の学修状況や就職内定状況を定期的に報告し、高校教員との信頼関係を築くことができる。

### ③SNS の活用

定期的な情報配信計画のもとに SNS による情報発信を行っている。高校生が大学生活を自分ごととしてイメージし、当該学科での学びに関して親近感を抱くことで、志望度の向上が期待できる。また、福岡キャンパス独自の Web サイトと連携し、幅広く PR することで認知度向上が見込める。

### ④高校へ出張講義

近隣高校へ出張講義の提案は、以前から当該学科独自のリーフレットを作成し、配布しているが、2024（令和 6）年度は、スポーツ外傷予防等について、高校に案内し、部活動を行っている生徒 37 名への講演を予定している。自分ごととして理学療法に触れる機会を設けることで志望度が高まり、志願者の増加が見込める。

#### ⑤ トレーナーサークルの活用

当該学科には、将来スポーツ関連の就職を希望して入学してくる学生も多くいる。そのため、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの資格を有する当該学科の教員が中心となり、2022（令和 4）年度に「トレーナーサークル」を立ち上げ、学生はスポーツ外傷に対する知識や技術の向上を目指して活動している。2023（令和 5）年度には近隣の小学校からの依頼で、小学生のメディカルチェックやストレッチ指導をサークルの学生とともに実施した。また、大牟田市内の小学校の陸上大会のサポートも依頼され、実施している。これらの活動は、早期からの本学への認知度向上に繋がる。

#### ⑥ オープンキャンパス実施内容

2024（令和 6）年度のオープンキャンパスは、8 回（2024/4/21、6/9、7/13、8/8、8/9、8/19、9/15、2025/3/22）の開催を予定している。プログラムについて、他大学との差別化を図るために、2023（令和 5）年度から「学科説明」動画を作成し、オープンキャンパスガイドブックに掲載した QR コードを読み込むことで、参加者がいつでも視聴できるようにした。また、2024（令和 6）年度から当該学科の特徴である EI（Emotional Intelligence;感情知能）ゼミを前面に打ち出し、PR を行っている。保護者からの反応も良好であり、入学者の増加が見込める。

### 福岡キャンパス 福岡医療技術学部 作業療法学科

#### 1) 定員充足の見込み

日本の超高齢社会の進行が、作業療法士の需要増加に大きく関与している。内閣府の調査によると、2023（令和 5）年の 65 歳以上の高齢者人口が 3,623 万人に達し、総人口 1 億 2,435 万人に占める割合は 29.1%である。さらに、2040（令和 22）年には高齢者人口が約 3,900 万人に達すると予測されており、全人口の約 35%を占める見込みである。北部九州地区の福岡県、佐賀県、長崎県、大分県などでも、他の地域と同様に急速な高齢化が進んでいる。この急速な高齢化に伴い、リハビリテーションや介護サービスの需要が急増し、作業療法士の役割がますます重要になっている。特に、高齢者の自立支援や QOL（生活の質）の向上を目的としたリハビリテーションのニーズが高まっていることから、作業療法士の需要はさらに拡大すると見込まれる。

（出典：令和 6 年版 高齢社会白書）

また、特別支援教育の充実が作業療法士の需要増加に寄与している。文部科学省のデータによると、2022（令和 4）年度の特別支援教育を受ける児童生徒数は 353,438 人であり、10 年前に比べて約 2 倍に増加している。（出典：令和 4 年度 特別支援教育資料）これに伴い、特別支援学校や通常の学校における特別支援教育の現場で、作業療法士が必要とされている。作業療法士は、障害のある児童生徒の発達支援や生活スキルの向上をサポートする役割を担っており、教育現場での重要性が増している。

さらに、地域包括ケアシステムの推進も作業療法士の需要を押し上げている。地域包括ケアシステムは、住み慣れた地域で自立した生活を続けるために、医療・介護・福祉が連携して包括的

なケアを提供する仕組みである。現在、全国に 5,431 の地域包括支援センターが設置されており、在宅医療や介護施設での作業療法士の役割が拡大している。特に、在宅リハビリテーションやデイサービス、訪問リハビリテーションなど、多岐にわたる場面で作業療法士の専門的な支援が求められる。(出典：2023 地域包括支援センター)

予防リハビリテーションの重要性も、作業療法士の需要増加に影響を与えていて、予防医療や健康増進の観点から、病気や障害の発症を防ぐためのリハビリテーションが注目されている。特に、高齢者や生活習慣病患者を対象とした運動療法や生活指導が重要視されており、作業療法士の専門知識が求められている。予防リハビリテーションの普及により、病院だけでなく地域社会や企業においても作業療法士の活躍の場が広がっている。

最後に、障害福祉サービスの拡充が作業療法士の需要を増加させている。「障害者総合支援法」に基づく福祉サービスの拡充に伴い、作業療法士の専門的な支援が求められている。特に、放課後等デイサービスや障害者支援施設での作業療法士の役割が重要となっており、障害者の日常生活の支援や社会参加を促進するためのリハビリテーションが求められている。

これらの要因により、今後も作業療法士の需要が拡大することが予想されるが、「神奈川県内高校生の医療福祉職の認知度、職業選択、作業療法のイメージに関する実態調査」によると医療福祉職の仕事内容の認知度は、医師や看護師が 80%以上と高い値を示しているが、作業療法士は 22.1%と低く、作業療法士の名称からは「イメージがわからない」「わからない」等の回答があり認知されていない状況である。(出典：神奈川県立保健福祉大学誌 第 17 巻第 1 号 2020 年、74-76)。

また、中学生を対象とした職業紹介 Web サイトの人気職業ランキングでは作業療法士が 100 位内に入っていないのが現状である。(出典：<https://www.13hw.com/jobapps/ranking.html> (13 歳のハローワーク公式サイト 2022 年 4 月))

社会的認知度を向上させる方法としては、後述の「学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果」に記載しているが、広報戦略を行うことでオープンキャンパスの参加者数を増加させ、当該学科の教育内容、作業療法士の職業自体を普及・啓発し、定員充足に繋げていくこととしている。結果として、2024(令和 6)年度入試の実志願者数は 19 人(前年比:76%)と減少したが、当該学科においては、オープンキャンパス参加者のうち 83.3%(2023 年度)が実際に受験まで繋がっており、作業療法士を目指す参加者が増加すれば受験者数・入学者数も増加すると考える。【別紙 2-10-2】

【別紙 2】既設学科等の入学定員の充足状況(直近 5 年間)

## 2) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

今後の学生確保に向けた取り組みについては、現在、当該学科教員と福岡キャンパス入試課で定期的に戦略会議を開催し、以下の取り組みを計画・実施している。

- ① 積極的に出張講義やキャンパス見学会を実施している。2022(令和4)年以降、高等学校からSDGsに関連した講義依頼が多かったことを踏まえ、SDGsの項目に沿った講義内容を記載したリーフレットを作成し、高等学校への説明を行っている。高等学校での進路学習等において、出張講義やキャンパス見学での模擬講義を実施することで作業療法士の役割や業務内容に対するイメージの改善や認知度の向上が見込める。
- ② 当該学科教員と入試課で高等学校へ同行訪問を行い、出張講義・体験授業の実施や学科の魅力、入試概要について案内を行っている。また、卒業生の学修状況や就職内定状況を定期的に報告し、高校教員との信頼関係を築くことができる。  
2023(令和5)年度に訪問した高校から、学科単独の来場型イベントへの参加者や入学実績も増加傾向にある。
- ③ 2024(令和6)年度のオープンキャンパスは、8回(2024/4/21、6/9、7/13、8/8、8/9、8/19、9/15、2025/3/22)の開催を予定している。プログラムでは、VR・eスポーツを活用したリハビリ体験や作業療法の最新の研究(3Dプリンターを活用した筋電義手製作プロジェクト)に加え、身体障害領域、精神障害領域、発達領域、高齢者領域など基本的な作業療法体験を実施することで作業療法士の業務内容や具体的な活躍の場をPRする。また、学生の研究内容やサークル、学外活動(ボランティア)等の説明を行い、参加者がより具体的な大学生活をイメージすることで更なる受験率向上が見込める。2024(令和6)年度は4月、6月、7月と3回実施したが、参加者数が昨年同時期比700%と増加傾向にある。当該学科教員と入試課で連携して実施している出張講義・キャンパス見学・高校訪問による対面での広報活動が、オープンキャンパス参加者の増加に繋がっている。(参考:2024年度オープンキャンパス集計(保護者込み学科別))
- ④ 当該学科の教育内容や特徴、作業療法の魅力を分かりやすく伝えるためにアニメーション動画を製作し、定期的な情報配信計画のもとSNSによる情報発信を行う。また、福岡キャンパス独自のWebサイトと連携し、幅広くPRすることで認知度向上が見込める。
- ⑤ 対面での学生募集を強化するために、オープンキャンパスとは別に当該学科単独のキャンパス来場型イベント「医療体験ワークショップ2023」を2023(令和5)年8月19日と2024(令和6)年3月17日に実施した。その結果、1日を通して当該学科の学生や教員の補助のもとで最新技術を活用した作業療法を体験し、交流することで当該学科への志望度を高めることができた。2024(令和6)年度も8月24日に初回を予定し、VRを用いた新たなプログラムを実施していく。

## 1) 定員充足の見込み

わが国では、医療の高度化、保健・衛生・福祉の充実などにより平均寿命が延びている一方、出生数は減少し、少子高齢化が進展している。内閣府が発表した「高齢社会白書」によると、2030(令和12)年に日本の総人口(1億2000万人)の約3分の1にあたる約3,700万人が65歳以上の高齢者になると言われている。(出典：令和6年度版 高齢社会白書)

そのような状況の中で、人々の医療・看護へのニーズが増大し、多様化・複雑化している。国民のニーズに応え、健康な社会をつくることを目的とし、地域を基盤とした「地域包括ケアシステム」を促進させるためには、病院や診療所などの医療機関だけではなく、老人介護施設や在宅における訪問看護などに看護師の必要性が高まり、高齢化が進む日本において看護師の人材確保も急務となり、看護師の需要は高まっているといえる。

また、厚生労働省の「第11回看護職員需要分科会」では、2025(令和7)年の全国における看護職員供給数の約175～182万人に対して、需要数は約188～202万人という推計結果が示された。(出典：「第11回看護職員需要分科会」)つまり、最大で27万人もの看護師が不足する見込みであり、今後も看護師の需要が高まり続けることが予想される。

しかし、看護系大学や看護学部がこの20年で数多く新設され、現在、全国に約300校あり、福岡県下においては16校もの看護系大学がある。18歳人口が減少する中で大学間の競争が激化しているため、本学における教育体制の強みを強調し、他の養成校との差別化を図る必要がある。(出典：看護学部へ行こう!HP・令和6年版 看護への道)

入学定員については設置当初より80人に設定しているが、直近5年間において入学定員未充足の状況が続いているため、現在の以下の取り組みをさらに充実させていく。

### ・社会が求める看護師養成

今後の社会情勢の変化や国民のニーズへの対応、地域における包括的なケアの推進、ヘルスプロモーションや予防に関する保健活動等が重視される中、当該学科の教育を特徴づけるものとして、2科目の実習を新設した。一つは、これまで以上に高い看護実践力を養うために「看護診断実習」を領域実習の開始前に実施し、もう一つは、在宅領域を含む、地域における看護実践に関する教育内容の充実に向けて「地域連携実習」を取り入れている。近年の医療の高度化・複雑化に伴う医療の質の確保、看護職に求められる役割の拡大等から、新卒看護師に求められる資質も高まっており、これらの新設した実習によって、社会のニーズに合った看護師の養成に取り組んでいる。

### ・アドバイザー制度(教員1人あたり各学年2～3人の学生を担当)

学修面の支援、生活上や健康上の相談・連絡など身近に相談できる体制が整っている。また、アドバイザーが授業科目等も担当することで、国家試験対策、ライフデザイン演習I～IV、卒業研究等の対策や講義へのモチベーションが向上し、高い学生満足度を得ている。このようなアドバイザーによる学生に寄り添った支援体制は安心した学生生活への保障となる。

### ・助産師および保健師の資格取得

福岡県には16校の看護系大学が存在するが、看護師免許に加え、保健師免許が取得できる大学は15校であり、助産師免許が4年間で取得できる大学は本学を含み、わずか2校のみである。保健師、特に助産師の資格取得が4年間で可能なことを受験生に広く周知することで、志願者数の増加が見込める。(出典：令和6年版 看護への道)

以上の内容に加え、後述の「学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果」に記載している広報戦略を行うことで当該学科の魅力を高め、受験者数・入学者数の増加に繋げる。

## 2) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

今後の学生確保に向けた取り組みについては、現在、当該学科教員と福岡キャンパス入試課が連携し、以下の取り組みを計画・実施している。

- ①高校との連携を高めるために、積極的に出張講義やキャンパス見学を実施している。キャンパス見学では、出身高校の在校生に実習室での交流に参加してもらい、高校教員や生徒に大学での学びや生活について説明を行っている。また、高校訪問の際には出身高校の教員に向けた学生の近況を綴った手紙の作成や当該学科教員と入試課で高校への同行訪問を計画している。卒業生の学修状況や就職内定状況を定期的に報告し、高校教員との信頼関係を構築する。
- ②2024(令和6)年度オープンキャンパスは、8回(2024/4/21、6/9、7/13、8/8、8/9、8/19、9/15、2025/3/22)の開催を予定しており、参加者一人一人の満足度を向上させるために、当該学科全教員で連携し、プログラムや説明内容の充実を図っている。また、学生が自ら作成したスライドを使用し、当該学科の魅力や大学生活について参加者へ説明することで参加者の興味関心も深まり、受験者数の向上が期待できる。
- ③定期的な情報配信計画のもとにSNSによる情報発信を行っている。高校生が大学生活を自分ごととしてイメージし、当該学科での学びに関して親近感を抱くことで、志望度の向上が期待できる。また、公開講座や当該学科教員が取り組んでいる研究等について、新聞・TVなど様々なメディアを活用して広報することで認知度の向上とイメージアップに繋がり、受験者数の増加が見込める。
- ④大牟田市教育委員会と連携し、小・中学校に対する学生ボランティア育成を行っていく。現在、2023(令和5)年度入学生56名中28名(50.0%)がボランティアへの参加を希望しており、2024(令和6)年8月1日に学生への説明会を教育委員会と合同で実施する。小・中学生と関わりを持つことは、若年のうちから本学を認知してもらおうきっかけとなる。また、当

該学科学学生の高い参加希望率からも推測できるように、人との関わりを通して専門職者として必要なスキルや価値観を獲得する機会を設けることにより、学生満足度の向上も期待できる。大牟田市内の小・中学生と連携を深めることで、進学高校に捉われず将来的に入学者の増加が見込める。

- ⑤国家試験対策として、1年次より模擬試験や模擬試験を活用した個別学修支援・支援計画について立案・実施している。2年次以降は到達度確認テストと連動させながら、要学修者に対して、学科国家試験対策委員・アドバイザーを中心にフォローを行っている。3年次は模擬試験を活用して、演習・実習と連動した一般・状況設定問題に主眼を置いた対策を講じている。4年次では、各回の模擬試験の順位を参考にクラス分けを行い、到達度に応じた対策を行っている。2022(令和4)年度から低学年の国家試験対策を行っており、学力向上とともに学生満足度の向上が期待される。国家試験合格に向け、1年次からの手厚いサポートPRすることで志願者の増加が見込める。

### (3) 学生確保の見通し

#### ①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

##### ア 既設組織における取組とその目標

##### 入学定員設定のこれまでの経過と2025年度入学定員の考え方

これまで国内における医師偏在対策(地域の医師確保の方策)の取り組みとして、2008(平成20)年6月に『経済財政改革の基本方針2008』が閣議決定され、医師養成課程の入学定員を早急に過去最大程度まで増員するという方針が打ち出された。本学において、この方針に基づき2009(平成21)年の入学定員を100人から110人に変更した。また、この定員増を機会に、地域医師の養成を目的とした『帝京大学地域医療医師確保奨学金制度』を制定(2010(平成22)年から施行)し、地域の医師不足のための支援体制に取り組んできた。

その後、2009(平成21)年6月に『経済財政改革の基本方針2009』が閣議決定され、地域における医師不足の解消を図るために医学部入学定員増の方針が打ち出されたことから、福島県と医師確保計画について協議を行い、同県と連携した地域の医師確保のための入学定員増(1人)、また、研究医養成のための入学定員増(1人)、計2人の定員増を行い、2010(平成22)年度の入学定員を110人から112人に変更した。

また、2010(平成22)年6月に『新成長戦略』が閣議決定され、前年度同様に医学部入学定員増の方針が出されたことから、改めて分院の帝京大学ちば総合医療センターの所在地である千葉県と医師確保計画について協議を行い、同県と連携した医師確保のための定員増(1人)を行い、2011(平成23)年度の入学定員を112人から113人に変更した。

その後、文部科学省高等教育局長及び厚生労働省医政局長通知『地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増加について』を踏まえ、2012(平成24)年度の入学定員を113人から117人に、2015(平成27)年度に入学定員を117人から118人に変更した。更に、2015(平

成 27)年度には、静岡県と協議を行い、2 人の入学定員増を計画し、2016(平成 28)年度の入学定員を 118 人から 120 人に変更した。

2020 (令和 2)年度の医学部入学定員については、2018(平成 30)年 6 月 15 日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2018」および文部科学省が 2019(令和元)年 9 月 2 日付で通達した「地域の医師確保等の観点からの令和 2 年度医学部入学定員の増加について」の文書を踏まえ、これまで連携を深めてきた各県と協議を進め、2020(令和 2)年から 2 年間における臨時定員を福島県 2 人、千葉県 2 人、静岡県 2 人の計 6 人の地域枠を改めて設定した。その際に、過去 2 年間において定員枠を確保出来ていなかった千葉県枠 3 人分と研究医枠の 1 人分については、臨時定員枠から除外し、前年度の 120 人から 116 人に変更した。

2022(令和 4)年度の医学部入学定員については、平成 30 年 6 月 15 日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2018」および「令和 4 年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について(通知)」(令和 2 年 11 月 25 日付 文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知)を踏まえ、これまで連携を深めてきた各県と協議を進めたところ、各県において医師偏在の課題を抱えており、医師確保の必要性が高いことから、2021(令和 3)年度と同様の枠組み(福島県 2 人、千葉県 2 人、静岡県 2 人)で臨時定員を申請した。なお、福島県に関しては、過去 2 年間(2020 年度と 2021 年度)において定員を充足していなかったため、厚生労働省、文部科学省、福島県、本学とでヒアリングを行ったが、「令和 4 年度の「地域枠」による定員増について(通知)」(令和 3 年 8 月 2 日付文部科学省高等教育局医学教育課事務連絡)にて、福島県 2 人まで、千葉県 2 人まで、静岡県 2 人までの計 6 人までの要望が認められたことにより、2022(令和 4)年度の医学部入学定員を恒久定員の 110 人に 6 人を加え 116 人に変更した。

2023(令和 5)年度の医学部入学定員については、「令和 5 年度の医学部臨時定員増について」(令和 4 年 8 月 5 日付 文部科学省高等教育局医学教育課事務連絡)を踏まえた、2023(令和 5)年度の医学部入学定員に関する暫定的な措置により、福島県 2 人まで、千葉県 2 人まで、静岡県 2 人までの計 6 人までの要望が認められたことから、2022(令和 4)年度と同様に医学部入学定員を恒久定員の 110 人に 6 人を加え 116 人に変更した。

2024(令和 6)年度の医学部入学定員については、「令和 6 年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について(通知)」(令和 4 年 11 月 4 日付け 4 文科高第 1152 号文部科学省高等教育局長、医政発 1104 第 34 号厚生労働省医政局長通知)を踏まえた、2024(令和 6)年度の医学部入学定員に関する暫定的な措置により、2023(令和 5)年に認められた福島県 2 人まで、千葉県 2 人まで、静岡県 2 人までに加え、これまで恒久定員枠で特別地域枠の入学者選抜を実施していた茨城県 1 人までと新潟県 1 人まで(うち、1 名診療科選定あり)の要望が認められたことから、2024(令和 6)年度の医学部入学定員を 110 人から 118 人に変更を行った。

2025(令和 7)年の本学医学部入学定員については、福島県、茨城県、千葉県、新潟県、静岡県および群馬県と本学との間で必要な協議を行った結果、この度、「令和 7 年度医学部入学定員増員計画」(資料⑨)を令和 6 年 8 月 20 日付にて文部科学省高等教育局長宛に提出した。

2025(令和 7)年度の本学医学部入学定員については、恒久的な入学定員 110 人に福島県 2 人、茨城県 1 人、千葉県 2 人、新潟県 1 人、静岡県 2 人および群馬県 1 人の地域枠 9 人を臨時入学定員として加え、合計 119 人に変更するものである。

#### イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標

受験生の動向や社会情勢等を踏まえ、引き続き入学者選抜方法の見直しを行っている。

2025(令和 7)年度入試においては、総合型選抜入試を実施し本学への入学を強く志望する多様な資質を持つ意欲ある学生、地域入試枠を設け東京都以外からの多様な人材を受け入れることで建学の精神に則した人材を養成していくことを目標としている。

現在、増員する地域(県)の高等学校の訪問を行い、医学部進学状況を把握し、長期的かつ安定的に学生を確保できる方策を得るため情報収集に努めている。

#### ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数

地域枠の学生確保に関して、2019(平成 31)年度入学者まで、福島県以外は、入学後の手上げ方式を採用していたが、2020(令和 2)年度より、文部科学省および厚生労働省の方針に則り、すべての地域枠入試を別枠方式にて選抜する方式を導入し現在に至っている。

2023(令和 5)年度まで実施された特別地域枠の入学者選抜については、福島県、千葉県、静岡県、茨城県の 4 県を実施しているが、臨時入学定員に紐づいている特別地域枠については、福島県、千葉県、静岡県の 3 県で、茨城県については恒久入学定員内で実施していた。

特別地域枠導入後の過去 4 年間における本学医学部の入学者選抜区分毎の志願者数は、〈表②〉の通りである。

2023(令和 5)年度入学者選抜の特別地域枠 4 県の志願者数は、前年度比 76.80%と落ち込んだが、2024(令和 6)年度入学者選抜では、前年度 199 名から 336 名(168.80%)へ増加しているため、引き続き十分な志願を見込める状態になっている。

なお、〈表②〉の一般選抜と特別地域枠の志願者数については、3 日間の入試日の延べ志願者数である。

(表②) 過去4年間医学部入学者選抜 志願者数

入学者選抜区分	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	志願者数	前年比	志願者数	前年比	志願者数	前年比	志願者数	前年比
一般選抜	6,892名	81.65%	6,649名	96.47%	7,101名	106.80%	8,682名	122.26%
福島県特別地域枠 (臨時定員)	65名	127.50%	110名	169.20%	75名	68.20%	83名	110.70%
千葉県特別地域枠 (臨時定員)	101名	155.40%	71名	70.30%	38名	53.50%	31名	81.50%
静岡県特別地域枠 (臨時定員)	67名	97.10%	61名	91.00%	64名	104.90%	148名	231.30%
茨城県特別地域枠 ※2021～23年度は恒久定員、2024 年度より恒久・臨時定員	19名	70.40%	17名	89.50%	22名	129.40%	25名	113.60%
新潟県特別地域枠 (臨時定員)	-	-	-	-	-	-	49名	-
大学入学共通テスト利用選抜	647名	74.50%	581名	89.80%	626名	107.70%	773名	123.50%
学校推薦型選抜・その他	38名	80.90%	49名	128.90%	68名	138.78%	61名	89.70%
合 計	7,577名	81.00%	7,279名	96.10%	7,795名	107.10%	9,516名	122.00%
特別地域枠4県内訳 ※2024年度より特別地域枠5県	252名	118.90%	259名	102.80%	199名	76.80%	336名	168.80%

同様に過去4年間における特別地域枠の合格者数と入学者数は〈表③〉の通りである。

(表③) 過去4年間医学部特別地域枠入学者選抜 合格者数・入学者数

入学者選抜区分	定員	2021年度		2022年度		2023年度		定員	2024年度	
		合格者数	入学者数	合格者数	入学者数	合格者数	入学者数		合格者数	入学者数
福島県特別地域枠 (臨時定員)	2名	3名	1名	3名	2名	3名	2名	2名	3名	2名
千葉県特別地域枠 (臨時定員)	2名	3名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名
静岡県特別地域枠 (臨時定員)	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	3名	2名
茨城県特別地域枠 ※2021～23年度は恒 久定員、2024年度よ り恒久・臨時定員	1名	0名	0名	1名	1名	1名	1名	2名	2名	2名
新潟県特別地域枠 (臨時定員)	1名	-	-	-	-	-	-	1名	1名	1名
合 計	9名	8名	5名	8名	7名	8名	7名	9名	11名	9名

2021(令和3)年度以前の入学者選抜は、定員を確保することができなかったが、2022年(令和4)度以降の入学者選抜においては、定員を充足している。

2024(令和 6)年度入学者選抜の特別地域枠 5 県の志願者数は 336 名 (168.8%) であり、新潟県を除く 4 県の志願者数でも 287 名 (144.2%) と増加傾向にある。

また、入学定員については、2024(令和 6)年度入試での定員は充足しており、2025(令和 7)年度より、特別地域枠を導入する群馬県の過去 3 年間の志願状況は〈表④〉の通りであり、〈表④〉の過去の入学者選抜のデータから、群馬県から本学地域枠への志願者数はある程度見込まれ入学定員を充足できるものとする。

〈表④〉 過去 3 年間群馬県からの一般選抜志願者数・合格者数・入学者数等

年度	志願者数	二次選考 受験者数	合格者数	入学者数
2022 年度	55 名	7 名	2 名	1 名
2023 年度	54 名	7 名	5 名	1 名
2024 年度	92 名	4 名	1 名	0 名

学生確保に向けた取り組みとして、オープンキャンパスで本学の魅力を発信していくこと、さらに広報を通じたイメージ戦略が大切という方針のもとに取り組んでいる。特に、オープンキャンパスは、学生確保に向けた一番の宣伝効果という認識から、学内の重要行事の一つとして位置づけており、オープンキャンパス委員会を立ち上げて取り組んでいる。

2022(令和 4)年度入試志願者を対象とした 2021(令和 3)年度オープンキャンパスは、コロナ禍で実施のため、完全予約制で人数を制限して実施した。2023(令和 5)年度入試志願者を対象とした 2022(令和 4)年度オープンキャンパスにおいても、コロナ禍での実施のため、前年度同様に完全予約制で人数を制限して実施した。予約制による人数制限の都合で、オープンキャンパスに参加出来ない志願者をフォローするために、受験生視点による「オープンキャンパスの体験動画」を作成し、本学のホームページに公開して、本学の教育や施設等を紹介した。また、本部入試室にて予約制によるオンラインでの個別相談を実施した。

なお、この 2 年間のオープンキャンパスは、コロナ対策を意識したコンパクトな内容であったが 2024(令和 6)年度開催では、イベント自由参加形式へ変更し、来場者の多様なニーズにも応えられる従来の開催方式とした。医学部体験授業等も実施するオープンキャンパスでは、1,373 の申し込みがあり昨年の 728 名と比べ 188.60%となった。体験授業、入試全体説明、個別相談、キャンパス見学ツアーなどを中心に実施している。個別相談については、本部入試室による入試相談、医学教育センター教員による医学部全般の相談、学生課職員による奨学金の相談、在学生による学生生活の相談に分かれて対応している。

全体説明では、特別地域枠入学者選抜を受験する場合の留意点をあわせて説明し、エントランスの配付物コーナーには、特別地域枠に関連する県が作成しているリーフレットコーナーを設置し資料を配付して制度の周知に努めている。

2023(令和 5)年度特別地域枠入学者選抜説明会については、県自治体と共催し、「茨城県医師修学資金貸与制度等に係る WEB 説明会」には 91 名が参加した。

2024(令和 6)年度入学者向け特別地域枠入学者選抜説明会は〈表⑤〉の 4 県を対象に開催し 660 名（総数、動画視聴回数除く）が参加し、PR に努めている。

〈表⑤〉 2024(令和 6)年度 入学者向け特別地域枠入学者選抜説明会

	特別地域枠入学者選抜説明会	人数
1	茨城県医師修学資金貸与制度等に係る WEB 説明会	115
2	千葉県医師修学資金貸与制度説明会（令和 6 年度希望者向け）10 月 12 日	26
3	千葉県医師修学資金貸与制度説明会（令和 6 年度希望者向け）11 月 1 日	26
4	新潟県医学部地域枠等入試説明会（オンライン） 参加者：493 名（新潟県・地域枠等 12 大学の説明会をまとめて申し込みを受けていたため、延べ人数） ※帝京大学が参加した説明会の動画視聴回数は 154 回	493

来場者から回収しているオープンキャンパスの調査の結果は、おおむね好評であり、満足度が得られている。

その他、広報活動については、高校生を中心に若者の特性として、新聞・テレビ・ラジオ・書籍などの利用がかなり減少し、スマートフォンでの情報収集が主流になっていることを勘案し、利用者数が多い Google や Yahoo サイトなどへの広告や SNS などの媒体を積極的に取り入れている。また、上述の通り、動画制作に力を入れており、WEB 広告にて訴求を図るなど学生確保に向けた取り組みに努めている。

特別地域枠入学者選抜に連携している各県が設定する奨学金制度の概要については、ホームページで情報公開している。

## ②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

### ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

埼玉医科大学、杏林大学、聖マリアンナ医科大学、東海大学を併願する志願者が多く、競合校であると考えられる。2024 年 5 月実施した「河合塾 第 1 回全統記述模試」における一般入試での状況は前年比 112%と増加し、減少した共通テスト方式(94%)との合計でも 111%となっている。

高等学校所在地や交通利便性による影響も併願先選択の要素のひとつになると考え、医学部を設置する私立大学 31 校をあわせた 81 大学の中で、東京都に位置する本学部にあっては、まだまだ安定的に全国からの志願が集まりやすい環境であり、学部系統別の医学部では地域特別枠入試を設けた入試制度と当該県や全国から志願者もいることから選定した。（フォームページ「第 12 回（2024 年度）テレメール全国一斉進学調査」）

## イ 競合校の入学志願動向等

各大学の年内入試への志願者が増え続けている中、私立の医学部では、学校推薦型選抜や総合型選抜を導入し建学の精神に沿える人材を確保しているところが多くみられる。

本学事務職員専門スタッフが高等学校を訪問し説明会の開催や情報収集をする中で、本学医学部での募集定員の増加、地域枠の設定、総合型選抜入試の導入は受験生にとっての受験のメリットに繋がると認識している。

旺文社の大学受験パスナビから、競合校4校の2021(令和3)年度～2023(令和5)年度の募集人数と受験者数から受験倍率を確認した。(〈表⑥〉旺文社パスナビより 参照)

〈表⑥〉 競合校4校の募集人数と受験者数

大学名	選抜区分	2021年度入試				2022年度入試				2023年度入試			
		募集人員	受験者	合格者	倍率	募集人員	受験者	合格者	倍率	募集人員	受験者	合格者	倍率
埼玉医科大学 (埼玉県入間郡毛呂山町)	全選抜合計	130	3,769	231	29.0	130	3,909	226	30.1	130	3,392	212	26.1
	一般選抜	90	3,658	189	40.6	90	3,823	187	42.5	90	3,287	173	36.5
	総合型選抜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	推薦型選抜	40	111	42	2.8	40	86	39	2.2	40	105	39	2.6
	共通テスト	5	346	11	69.2	10	398	21	39.8	10	576	18	57.6
杏林大学 (東京都三鷹市)	全選抜合計	114	3,005	196	26.4	116	3,285	218	28.3	117	3,766	244	32.2
	一般選抜	113	2,997	196	26.5	115	3,282	218	28.5	117	3,766	244	32.2
	総合型選抜	1	8	0	8.0	1	3	0	3.0	-	-	-	-
	推薦型選抜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	共通テスト	15	800	25	53.3	15	723	24	48.2	15	924	26	61.6
聖マリアンナ医科大学 (神奈川県川崎市)	全選抜合計	115	3,134	164	27.3	115	2,949	189	25.6	129	3,316	199	25.7
	一般選抜	80	2,972	129	37.2	80	2,825	155	35.3	99	3,286	183	33.2
	総合型選抜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	推薦型選抜	35	162	35	4.6	35	124	34	3.5	30	30	16	1.0
	共通テスト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東海大学 (神奈川県伊勢原市)	一般選抜	60	2,779	126	46.3	60	2,005	102	33.4	60	3,186	119	53.1
	総合型選抜	5	49	8	9.8	10	98	24	9.8	10	108	15	10.8
	推薦型選抜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	共通テスト	18	792	60	44.0	18	574	49	31.9	18	954	62	53.0

埼玉医科大学 (旺文社パスナビ<https://passnavi.obunsha.co.jp/univ/1970/bairitsu/?nendo=2021>)

杏林大学 (旺文社パスナビ : <https://passnavi.obunsha.co.jp/univ/2350/bairitsu/?facultyID=020&nendo=2021>)

聖マリアンナ医科大学 (旺文社パスナビ : <https://passnavi.obunsha.co.jp/univ/3300/bairitsu/>)

東海大学 (旺文社パスナビ : <https://passnavi.obunsha.co.jp/univ/2710/bairitsu/?nendo=2022>)

競合校の一般選抜での3年平均の受験倍率をみると杏林大学の29.1倍から東海大学の44.3倍までと競合校の志願倍率、合格倍率ともに高い数字となっており、本学を含むすべての大学で志願者を十分確保できていることから本学でも募集定員に対し十分な志願者が確保でき、また定員についても充足できると考える。

本学は、2024(令和6)年4月現在、10学部33学科を設置する総合大学である。

医学部を要する板橋キャンパスには、薬学部、医療技術学部が設置されており、チームで医療を学ぶことができることが強みである。

#### ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等(競合校定員未充足の場合のみ)

日本私立学校振興・共済事業団「令和5(2023)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」での医学系統区分における志願倍率は20倍を超えており、競合の4大学でも定員の充足ができる状態が続くものと考えられる。

#### エ 学生納付金等の金額設定の理由

学納金について競合校と考えている4大学(〈表⑦〉)をはじめ他私立大学学生納付金の設定状況とも確認しつつ、本学部への学生からの要望や社会的要請などによる更なる教育内容の充実や維持していくために必要な学生納付金として設定をしている。

2025(令和7)年度入試より初年度納入金額の総額は変更せずに費目金額の見直しを行った。競合校と考える4大学平均金額よりもやや高額となるものの、他大学と総額を比較し本学医学部における金額設定は適切であると考ええる。

〈表⑦〉 2025(令和7)年度 初年度納入金(学費)

(各大学Webサイト(2024年8月8日時点)および『入学試験要項』より作成)

	帝京大学	埼玉医科大学	杏林大学	聖マリアンナ医科大学	東海大学
入学金	¥1,500,000	¥2,000,000	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,000,000
授業料	¥3,150,000	¥2,750,000	¥3,000,000	¥3,700,000	¥2,148,000
施設拡充費	¥2,100,000				
施設設備費		¥1,500,000	¥4,000,000		¥2,100,000
実験実習費	¥227,000	¥1,000,000	¥1,000,000		
教育運営費					¥632,000
教育維持費				¥1,200,000	
医学教育維持費	¥2,385,000				
医学教育充実特別学納金		¥1,000,000			
教育充実費				¥570,000	¥520,000

小計	¥9,362,000	¥8,250,000	¥9,500,000	¥6,970,000	¥6,400,000
その他・諸費	¥8,140	¥570,000	¥740,700	¥317,000	¥273,200
初年度納入金額合計	¥9,370,140	¥8,820,000	¥10,240,700	¥7,287,000	¥6,673,200

### ③先行事例分析

各自治体との連携による双方での PR や定員を確保できていることから、情報収集や意見交換は行えているものの、分析するまでには至っていない。

### ④学生確保に関するアンケート調査

本学医学部にあっては入学定員が充足しており、過去 4 年間医学部特別地域枠入学者選抜合格者数・入学者も充足することが続いている。系統区分（医学）での他大学の募集状況についても定員が確保できているため、調査実施をしてない。

### ⑤人材需要に関するアンケート調査等

超高齢化社会を迎える日本でのさらなる高度化する医療が求められ、多様化していく環境にあって、そのニーズに対応できる医師を養成する使命は急務であり、医師数の不足や、地域偏在、診療科偏在などのニーズの高まりも続くことが予想され、医師不足解消の各自治体による医師修学資金貸与制度にあわせ各大学設置する地域特別入試枠による人材需要があることから、当該アンケート調査は行っていない。

#### （４）収容定員を変更する組織の定員設定の理由

地域の医師確保等の観点からの「令和 7 年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について（通知）」（令和 5 年 11 月 27 日付け 5 文科高第 1230 号文部科学省高等教育局長、医政医発 1127 第 3 号厚生労働省医政局長連名通知）において、地域における医師確保のための令和 7 年度の医学部入学定員増に関する方針が示された事に基づき、医師偏在の課題を抱える福島県、茨城県、千葉県、新潟県、静岡県および群馬県の医師確保の要請に応え、引き続き本学医学部における地域枠臨時定員増が必要であることから、地域枠 9 人を臨時入学定員として加え、合計 119 人に変更した。

以上

## 資料目次

- 別紙 1 新設組織収容定員を増加する組織が置かれる都道府県への入学状況
- 別紙 2 既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）
- 別紙 3 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績
  
- 資料① 「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況（令和 4(2022)年 12 月 31 日現在）」
- 資料② 「医師偏在指標（令和 6 年 1 月 10 日更新）」
- 資料③ 【福島県】地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書
- 資料④ 【茨城県】地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書
- 資料⑤ 【千葉県】地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書
- 資料⑥ 【新潟県】地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書
- 資料⑦ 【静岡県】地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書
- 資料⑧ 【群馬県】地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書
- 資料⑨ 「令和 7 年度医学部入学定員増員計画」

## 収容定員を増加する組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	東京都	54,268人	34.5%
2	神奈川県	23,390人	14.9%
3	埼玉県	18,327人	11.7%
4	千葉県	14,112人	9.0%
5	茨城県	5,375人	3.4%
	全 体	157,086人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○収容定員を増加する組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	収容定員増加 組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	東京都	100.85%	103.70%	103.57%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○収容定員を増加する組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	医学	100.20%	100.51%	100.43%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）  
 大学学部学科等名：帝京大学文学部日本文学学科

別紙2-1-1

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	42人	42人	42人	42人	46人	43人	
	延べ人数	志願者数	246人	180人	168人	289人	223人	221人
		受験者数	242人	176人	167人	282人	221人	218人
		合格者数	66人	51人	95人	111人	115人	88人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	3人	0人	1人
		辞退者数	11人	17人	28人	51人	45人	30人
	実人数	志願者数	131人	88人	97人	163人	121人	120人
		受験者数	129人	87人	97人	160人	121人	119人
		合格者数	65人	51人	90人	107人	115人	86人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	3人	0人	1人
		辞退者数	10人	17人	23人	47人	45人	28人
	入学者数	55人	34人	67人	60人	70人	57人	
	学校推薦型選抜	募集人数	18人	18人	18人	18人	14人	17人
		延べ人数	志願者数	29人	33人	21人	39人	6人
受験者数			27人	33人	21人	39人	6人	25人
合格者数			19人	18人	14人	28人	6人	17人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	3人	3人	5人	1人	3人
実人数		志願者数	24人	21人	16人	29人	6人	19人
		受験者数	23人	21人	16人	29人	6人	19人
		合格者数	19人	18人	14人	28人	6人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	3人	3人	5人	1人	3人
入学者数		18人	15人	11人	23人	5人	14人	
一般選抜		募集人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人
		延べ人数	志願者数	475人	320人	342人	272人	233人
	受験者数		441人	303人	312人	249人	217人	304人
	合格者数		100人	179人	209人	160人	168人	163人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	63人	0人	13人
	辞退者数		76人	139人	163人	131人	130人	128人
	実人数	志願者数	371人	266人	307人	236人	209人	278人
		受験者数	346人	258人	281人	219人	196人	260人
		合格者数	99人	176人	208人	156人	168人	161人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	63人	0人	13人
		辞退者数	75人	136人	162人	127人	130人	126人
	入学者数	24人	40人	46人	29人	38人	35人	
	共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
		延べ人数	志願者数	299人	202人	136人	91人	76人
受験者数			298人	200人	135人	91人	76人	160人
合格者数			30人	29人	1人	7人	8人	15人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			29人	28人	1人	7人	8人	15人
実人数		志願者数	298人	202人	136人	91人	76人	161人
		受験者数	297人	200人	135人	91人	76人	160人
		合格者数	30人	29人	1人	7人	8人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	29人	28人	1人	7人	8人	15人
入学者数		1人	1人	0人	0人	0人	0人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	46人	51人	18人	35人	38人
	受験者数		45人	42人	14人	29人	32人	32人
	合格者数		27人	18人	8人	17人	21人	18人
	うち追加合格者数		0人	0人	1人	1人	0人	0人
	辞退者数		2人	1人	2人	3人	4人	2人
	実人数	志願者数	46人	50人	17人	33人	37人	37人
		受験者数	45人	41人	13人	28人	32人	32人
		合格者数	27人	18人	8人	17人	21人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	2人	3人	4人	2人
	入学者数	25人	17人	6人	14人	17人	16人	
	合計	募集人数	120人	120人	120人	120人	120人	120人
		延べ人数	志願者数	1095人	786人	685人	726人	576人
受験者数			1053人	754人	649人	690人	552人	740人
合格者数			242人	295人	327人	323人	318人	301人
うち追加合格者数			0人	0人	1人	67人	0人	14人
辞退者数			119人	188人	197人	197人	188人	178人
実人数		志願者数	870人	627人	573人	552人	449人	614人
		受験者数	840人	607人	542人	527人	431人	589人
		合格者数	240人	292人	321人	315人	318人	297人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	67人	0人	14人
		辞退者数	117人	185人	191人	189人	188人	174人
入学者数		123人	107人	130人	126人	130人	123人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120
入学定員充足率	1.03	0.89	1.08	1.05	1.08	1.03
歩留率	0.51	0.36	0.40	0.39	0.41	0.41

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	74人	74人	74人	74人	81人	75人	
	延べ人数	志願者数	450人	331人	392人	461人	346人	396人
		受験者数	444人	331人	387人	455人	345人	392人
		合格者数	120人	108人	180人	162人	169人	148人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	27人	41人	44人	57人	38人
	実人数	志願者数	227人	165人	207人	224人	186人	202人
		受験者数	224人	165人	205人	222人	185人	200人
		合格者数	120人	108人	178人	160人	169人	147人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	27人	39人	42人	57人	37人
	入学者数	101人	81人	139人	118人	112人	110人	
	学校推薦型選抜	募集人数	32人	32人	32人	32人	25人	31人
延べ人数		志願者数	65人	58人	42人	57人	24人	49人
		受験者数	64人	58人	41人	55人	24人	48人
		合格者数	29人	31人	28人	32人	24人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	4人	2人	4人	5人	3人
実人数		志願者数	48人	44人	37人	40人	24人	39人
		受験者数	47人	44人	36人	39人	24人	38人
		合格者数	29人	31人	28人	32人	24人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	4人	2人	4人	5人	3人
入学者数		28人	27人	26人	28人	19人	26人	
一般選抜		募集人数	90人	90人	90人	90人	90人	90人
	延べ人数	志願者数	872人	669人	671人	522人	489人	645人
		受験者数	832人	629人	629人	489人	472人	610人
		合格者数	223人	348人	275人	376人	403人	325人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	58人	0人	12人
		辞退者数	182人	280人	229人	296人	305人	258人
	実人数	志願者数	683人	550人	558人	450人	450人	538人
		受験者数	657人	531人	536人	428人	436人	518人
		合格者数	223人	339人	275人	368人	403人	322人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	58人	0人	12人
		辞退者数	182人	271人	229人	288人	305人	255人
	入学者数	41人	68人	46人	80人	98人	67人	
	共通テスト利用入試	募集人数	17人	17人	17人	17人	17人	17人
延べ人数		志願者数	518人	458人	302人	177人	207人	332人
		受験者数	518人	456人	301人	177人	207人	332人
		合格者数	197人	52人	4人	6人	12人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	174人	51人	4人	6人	12人	49人
実人数		志願者数	517人	456人	302人	177人	207人	332人
		受験者数	517人	454人	301人	177人	207人	331人
		合格者数	197人	52人	4人	6人	12人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	174人	51人	4人	6人	12人	49人
入学者数		23人	1人	0人	0人	0人	5人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	30人	35人	16人	24人	51人	31人
		受験者数	27人	25人	13人	15人	44人	25人
		合格者数	11人	13人	9人	6人	21人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	2人	1人	4人	2人
	実人数	志願者数	30人	34人	16人	23人	46人	30人
		受験者数	27人	24人	13人	14人	40人	24人
		合格者数	11人	13人	9人	6人	21人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	2人	1人	4人	2人
	入学者数	11人	12人	7人	5人	17人	10人	
	合計	募集人数	213人	213人	213人	213人	213人	213人
延べ人数		志願者数	1935人	1551人	1423人	1241人	1117人	1453人
		受験者数	1885人	1499人	1371人	1191人	1092人	1408人
		合格者数	580人	552人	496人	582人	629人	568人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	58人	0人	12人
		辞退者数	376人	363人	278人	351人	383人	350人
実人数		志願者数	1505人	1249人	1120人	914人	913人	1140人
		受験者数	1472人	1218人	1091人	880人	892人	1111人
		合格者数	580人	543人	494人	572人	629人	564人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	58人	0人	12人
		辞退者数	376人	354人	276人	341人	383人	346人
入学者数		204人	189人	218人	231人	246人	218人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	213人	213人	213人	213人	213人	213
入学定員充足率	0.96	0.89	1.02	1.08	1.15	1.02
歩留率	0.35	0.34	0.44	0.40	0.39	0.38

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	73人	73人	73人	73人	79人	74人	
	延べ人数	志願者数	346人	254人	321人	308人	361人	318人
		受験者数	340人	252人	319人	304人	355人	314人
		合格者数	126人	95人	150人	151人	191人	143人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	3人	1人
		辞退者数	21人	23人	56人	60人	70人	46人
	実人数	志願者数	195人	139人	174人	167人	200人	175人
		受験者数	193人	138人	173人	166人	198人	174人
		合格者数	125人	93人	144人	148人	191人	140人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	3人	1人
		辞退者数	20人	21人	50人	57人	70人	44人
	入学者数	105人	72人	94人	91人	121人	97人	
	学校推薦型選抜	募集人数	31人	31人	31人	31人	25人	30人
		延べ人数	志願者数	48人	43人	55人	33人	24人
受験者数			48人	43人	55人	33人	24人	41人
合格者数			24人	26人	34人	25人	24人	27人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	4人	5人	2人	5人	3人
実人数		志願者数	39人	33人	44人	26人	24人	33人
		受験者数	39人	33人	44人	26人	24人	33人
		合格者数	24人	26人	34人	25人	24人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	4人	5人	2人	5人	3人
入学者数		24人	22人	29人	23人	19人	23人	
一般選抜		募集人数	87人	87人	87人	87人	87人	87人
		延べ人数	志願者数	615人	575人	557人	490人	433人
	受験者数		576人	536人	524人	460人	410人	501人
	合格者数		229人	338人	382人	413人	354人	343人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	23人	0人	5人
	辞退者数		181人	285人	295人	315人	257人	267人
	実人数	志願者数	512人	479人	503人	443人	397人	467人
		受験者数	488人	459人	479人	419人	376人	444人
		合格者数	227人	331人	380人	410人	354人	340人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	22人	0人	4人
		辞退者数	179人	278人	293人	312人	257人	264人
	入学者数	48人	53人	87人	98人	97人	77人	
	共通テスト利用入試	募集人数	17人	17人	17人	17人	17人	17人
		延べ人数	志願者数	379人	332人	222人	127人	193人
受験者数			379人	331人	222人	125人	193人	250人
合格者数			101人	78人	4人	4人	8人	39人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			98人	75人	4人	4人	8人	38人
実人数		志願者数	379人	332人	222人	127人	193人	251人
		受験者数	379人	331人	222人	125人	193人	250人
		合格者数	101人	78人	4人	4人	8人	39人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	98人	75人	4人	4人	8人	38人
入学者数		3人	3人	0人	0人	0人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	77人	119人	74人	86人	133人
	受験者数		61人	91人	59人	57人	96人	73人
	合格者数		23人	33人	35人	22人	34人	29人
	うち追加合格者数		0人	0人	9人	0人	0人	2人
	辞退者数		7人	7人	11人	2人	8人	7人
	実人数	志願者数	76人	109人	69人	82人	124人	92人
		受験者数	60人	84人	56人	57人	91人	70人
		合格者数	23人	33人	35人	22人	34人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	9人	0人	0人	2人
		辞退者数	7人	7人	11人	2人	8人	7人
	入学者数	16人	26人	24人	20人	26人	22人	
	合計	募集人数	208人	208人	208人	208人	208人	208人
		延べ人数	志願者数	1465人	1323人	1229人	1044人	1144人
受験者数			1404人	1253人	1179人	979人	1078人	1179人
合格者数			503人	570人	605人	615人	611人	581人
うち追加合格者数			0人	0人	9人	23人	3人	7人
辞退者数			307人	394人	371人	383人	348人	361人
実人数		志願者数	1201人	1092人	1012人	845人	938人	1018人
		受験者数	1159人	1045人	974人	793人	882人	971人
		合格者数	500人	561人	597人	609人	611人	576人
		うち追加合格者数	0人	0人	9人	22人	3人	7人
		辞退者数	304人	385人	363人	377人	348人	355人
入学者数		196人	176人	234人	232人	263人	220人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	208人	208人	208人	208人	208人	208
入学定員充足率	0.94	0.85	1.13	1.12	1.26	1.06
歩留率	0.39	0.31	0.39	0.38	0.43	0.38

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：帝京大学文学部心理学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	70人	70人	70人	70人	76人	71人	
	延べ人数	志願者数	341人	386人	402人	469人	425人	405人
		受験者数	338人	382人	396人	457人	405人	396人
		合格者数	110人	91人	148人	151人	179人	136人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	9人	2人
		辞退者数	26人	20人	33人	43人	54人	35人
	実人数	志願者数	187人	187人	216人	250人	229人	214人
		受験者数	185人	186人	212人	245人	223人	210人
		合格者数	109人	90人	146人	149人	179人	135人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	9人	2人
		辞退者数	25人	19人	31人	41人	54人	34人
	入学者数	84人	71人	115人	108人	125人	101人	
	学校推薦型選抜	募集人数	30人	30人	30人	30人	24人	29人
		延べ人数	志願者数	50人	51人	67人	69人	24人
受験者数			50人	50人	67人	67人	24人	52人
合格者数			13人	23人	29人	31人	24人	24人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	1人	3人	3人	0人	2人
実人数		志願者数	38人	36人	45人	47人	24人	38人
		受験者数	38人	36人	45人	46人	24人	38人
		合格者数	13人	23人	29人	31人	24人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	3人	3人	0人	2人
入学者数		12人	22人	26人	28人	24人	22人	
一般選抜		募集人数	84人	84人	84人	84人	84人	84人
		延べ人数	志願者数	696人	851人	556人	570人	412人
	受験者数		660人	799人	519人	522人	391人	578人
	合格者数		216人	263人	230人	216人	225人	230人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	79人	0人	16人
	辞退者数		136人	212人	161人	170人	158人	167人
	実人数	志願者数	555人	650人	448人	436人	351人	488人
		受験者数	530人	624人	423人	411人	338人	465人
		合格者数	216人	255人	230人	210人	225人	227人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	79人	0人	16人
		辞退者数	136人	204人	161人	164人	158人	165人
	入学者数	80人	51人	69人	46人	67人	63人	
	共通テスト利用入試	募集人数	16人	16人	16人	16人	16人	16人
		延べ人数	志願者数	604人	464人	248人	198人	217人
受験者数			603人	462人	247人	196人	217人	345人
合格者数			169人	37人	33人	23人	27人	58人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			157人	37人	33人	23人	27人	55人
実人数		志願者数	601人	464人	247人	198人	217人	345人
		受験者数	600人	462人	246人	196人	217人	344人
		合格者数	169人	37人	33人	23人	27人	58人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	157人	37人	33人	23人	27人	55人
入学者数		12人	0人	0人	0人	0人	2人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	103人	109人	72人	95人	122人
	受験者数		86人	89人	59人	78人	102人	83人
	合格者数		28人	40人	35人	41人	40人	37人
	うち追加合格者数		0人	0人	3人	8人	0人	2人
	辞退者数		3人	10人	2人	6人	7人	6人
	実人数	志願者数	100人	106人	69人	91人	115人	96人
		受験者数	83人	86人	58人	74人	96人	79人
		合格者数	28人	40人	35人	41人	40人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	3人	8人	0人	2人
		辞退者数	3人	10人	2人	6人	7人	6人
	入学者数	25人	30人	33人	35人	33人	31人	
	合計	募集人数	200人	200人	200人	200人	200人	200人
		延べ人数	志願者数	1794人	1861人	1345人	1401人	1200人
受験者数			1737人	1782人	1288人	1320人	1139人	1453人
合格者数			536人	454人	475人	462人	495人	484人
うち追加合格者数			0人	0人	3人	87人	9人	20人
辞退者数			323人	280人	232人	245人	246人	265人
実人数		志願者数	1481人	1443人	1025人	1022人	936人	1181人
		受験者数	1436人	1394人	984人	972人	898人	1137人
		合格者数	535人	445人	473人	454人	495人	480人
		うち追加合格者数	0人	0人	3人	87人	9人	20人
		辞退者数	322人	271人	230人	237人	246人	261人
入学者数		213人	174人	243人	217人	249人	219人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	200人	200人	200人	200人	200人	200
入学定員充足率	1.07	0.87	1.22	1.09	1.25	1.10
歩留率	0.40	0.38	0.51	0.47	0.50	0.45

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：帝京大学外国語学部外国語学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	105人	105人	88人	88人	95人	96人	
	延べ人数	志願者数	720人	570人	532人	489人	558人	574人
		受験者数	704人	562人	519人	478人	541人	561人
		合格者数	123人	157人	240人	247人	251人	204人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	3人	1人
		辞退者数	39人	50人	86人	99人	97人	74人
	実人数	志願者数	389人	300人	319人	286人	332人	325人
		受験者数	379人	298人	314人	280人	321人	318人
		合格者数	123人	157人	238人	244人	251人	203人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	3人	1人
		辞退者数	39人	50人	84人	96人	97人	73人
	入学者数	84人	107人	154人	148人	154人	129人	
	学校推薦型選抜	募集人数	45人	45人	37人	37人	30人	39人
		延べ人数	志願者数	235人	244人	171人	123人	67人
受験者数			231人	240人	171人	123人	67人	166人
合格者数			94人	131人	98人	87人	58人	94人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			3人	9人	8人	5人	8人	7人
実人数		志願者数	183人	196人	141人	106人	67人	139人
		受験者数	180人	194人	141人	106人	67人	138人
		合格者数	94人	131人	98人	87人	58人	94人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	9人	8人	5人	8人	7人
入学者数		91人	122人	90人	82人	50人	87人	
一般選抜		募集人数	126人	126人	105人	105人	105人	113人
		延べ人数	志願者数	959人	793人	572人	345人	391人
	受験者数		915人	759人	520人	333人	373人	580人
	合格者数		310人	361人	153人	232人	309人	273人
	うち追加合格者数		0人	0人	11人	16人	0人	5人
	辞退者数		235人	312人	117人	191人	231人	217人
	実人数	志願者数	766人	628人	485人	303人	366人	510人
		受験者数	740人	609人	444人	292人	351人	487人
		合格者数	309人	348人	153人	230人	309人	270人
		うち追加合格者数	0人	0人	11人	16人	0人	5人
		辞退者数	234人	299人	117人	189人	231人	214人
	入学者数	75人	49人	36人	41人	78人	56人	
	共通テスト利用入試	募集人数	24人	24人	20人	20人	20人	22人
		延べ人数	志願者数	478人	317人	195人	106人	145人
受験者数			475人	315人	194人	105人	145人	247人
合格者数			111人	26人	7人	11人	13人	34人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			105人	26人	7人	11人	12人	32人
実人数		志願者数	444人	286人	188人	103人	137人	232人
		受験者数	441人	284人	187人	102人	137人	230人
		合格者数	107人	25人	6人	11人	13人	32人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	101人	25人	6人	11人	12人	31人
入学者数		6人	0人	0人	0人	1人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	76人	55人	46人	39人	54人
	受験者数		74人	50人	43人	38人	46人	50人
	合格者数		42人	21人	35人	25人	23人	29人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		12人	5人	6人	5人	2人	6人
	実人数	志願者数	76人	53人	45人	39人	53人	53人
		受験者数	74人	48人	42人	38人	45人	49人
		合格者数	42人	21人	35人	25人	23人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	5人	6人	5人	2人	6人
	入学者数	30人	16人	29人	20人	21人	23人	
	合計	募集人数	300人	300人	250人	250人	250人	270人
		延べ人数	志願者数	2468人	1979人	1516人	1102人	1215人
受験者数			2399人	1926人	1447人	1077人	1172人	1604人
合格者数			680人	696人	533人	602人	654人	633人
うち追加合格者数			0人	0人	11人	16人	3人	6人
辞退者数			394人	402人	224人	311人	350人	336人
実人数		志願者数	1858人	1463人	1178人	837人	955人	1258人
		受験者数	1814人	1433人	1128人	818人	921人	1223人
		合格者数	675人	682人	530人	597人	654人	628人
		うち追加合格者数	0人	0人	11人	16人	3人	6人
		辞退者数	389人	388人	221人	306人	350人	331人
入学者数		286人	294人	309人	291人	304人	297人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	300人	300人	250人	250人	250人	270
入学定員充足率	0.95	0.98	1.24	1.16	1.22	1.11
歩留率	0.42	0.42	0.58	0.48	0.46	0.47

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
・令和4年度入学定員減（△50人）

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）  
 大学学部学科等名：帝京大学外国語学部国際日本学科

別紙2-2-2

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	-	-	35人	35人	38人	36人	
	延べ人数	志願者数	-	-	103人	55人	47人	68人
		受験者数	-	-	100人	53人	46人	66人
		合格者数	-	-	52人	31人	27人	37人
		うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	-	-	22人	16人	13人	17人
		実人数	-	-	64人	33人	29人	42人
	実人数	志願者数	-	-	63人	31人	29人	41人
		受験者数	-	-	52人	31人	27人	37人
		合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	-	-	22人	16人	13人	17人
		辞退者数	-	-	30人	15人	14人	20人
		入学者数	-	-	15人	15人	12人	14人
	学校推薦型選抜	募集人数	-	-	15人	15人	12人	14人
延べ人数		志願者数	-	-	24人	15人	15人	18人
		受験者数	-	-	24人	15人	15人	18人
		合格者数	-	-	22人	11人	15人	16人
		うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	-	-	4人	2人	0人	2人
		実人数	-	-	23人	12人	15人	17人
実人数		志願者数	-	-	23人	12人	15人	17人
		受験者数	-	-	22人	11人	15人	16人
		合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	-	-	4人	2人	0人	2人
		辞退者数	-	-	18人	9人	15人	14人
		入学者数	-	-	42人	42人	42人	42人
一般選抜		募集人数	-	-	112人	72人	55人	80人
	延べ人数	志願者数	-	-	105人	71人	51人	76人
		受験者数	-	-	94人	66人	47人	69人
		合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	-	-	68人	55人	41人	55人
		辞退者数	-	-	103人	67人	52人	74人
		実人数	-	-	97人	66人	48人	70人
	実人数	志願者数	-	-	94人	66人	47人	69人
		受験者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		合格者数	-	-	68人	55人	41人	55人
		うち追加合格者数	-	-	26人	11人	6人	14人
		辞退者数	-	-	8人	8人	8人	8人
		入学者数	-	-	33人	30人	35人	33人
	共通テスト利用入試	募集人数	-	-	24人	14人	26人	21人
延べ人数		志願者数	-	-	24人	14人	24人	21人
		受験者数	-	-	24人	14人	24人	21人
		合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	-	-	24人	14人	24人	21人
		辞退者数	-	-	33人	30人	35人	33人
		実人数	-	-	33人	30人	35人	33人
実人数		志願者数	-	-	24人	14人	26人	21人
		受験者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		合格者数	-	-	24人	14人	24人	21人
		うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	-	-	0人	0人	2人	1人
		入学者数	-	-	50人	50人	50人	50人
その他の特別選抜		募集人数	-	-	95人	102人	193人	130人
	延べ人数	志願者数	-	-	77人	84人	150人	104人
		受験者数	-	-	56人	60人	73人	63人
		合格者数	-	-	12人	7人	0人	6人
		うち追加合格者数	-	-	15人	10人	14人	13人
		辞退者数	-	-	94人	98人	181人	124人
		実人数	-	-	76人	82人	144人	101人
	実人数	志願者数	-	-	56人	60人	73人	63人
		受験者数	-	-	12人	7人	0人	6人
		合格者数	-	-	15人	10人	14人	13人
		うち追加合格者数	-	-	41人	50人	59人	50人
		辞退者数	-	-	150人	150人	150人	150人
		入学者数	-	-	367人	274人	345人	329人
	合計	募集人数	-	-	150人	150人	150人	150人
延べ人数		志願者数	-	-	339人	253人	297人	296人
		受験者数	-	-	248人	182人	188人	206人
		合格者数	-	-	12人	7人	0人	6人
		うち追加合格者数	-	-	133人	97人	92人	107人
		辞退者数	-	-	317人	240人	312人	290人
		実人数	-	-	292人	221人	271人	261人
実人数		志願者数	-	-	248人	182人	188人	206人
		受験者数	-	-	12人	7人	0人	6人
		合格者数	-	-	133人	97人	92人	107人
		うち追加合格者数	-	-	85人	96人	96人	99人
		辞退者数	-	-	115人	85人	96人	99人
		入学者数	-	-	115人	85人	96人	99人

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	-	-	150人	150人	150人	150
入学定員充足率	-	-	0.77	0.57	0.64	0.66
歩留率	-	-	0.46	0.47	0.51	0.48

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
 ・令和4年度開設

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	35人	35人	35人	35人	38人	36人	
	延べ人数	志願者数	205人	167人	197人	198人	254人	204人
		受験者数	201人	167人	195人	195人	245人	201人
		合格者数	48人	30人	64人	80人	94人	63人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	2人	1人	1人
		辞退者数	5人	9人	21人	23人	27人	17人
	実人数	志願者数	115人	89人	104人	108人	135人	110人
		受験者数	112人	89人	103人	105人	132人	108人
		合格者数	48人	30人	64人	77人	94人	63人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	2人	1人	1人
		辞退者数	5人	9人	21人	20人	27人	16人
	入学者数	43人	21人	43人	57人	67人	46人	
	学校推薦型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	12人	14人
		延べ人数	志願者数	32人	34人	44人	31人	13人
受験者数			32人	34人	44人	31人	13人	31人
合格者数			13人	19人	16人	14人	13人	15人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	1人	1人	1人	3人	1人
実人数		志願者数	24人	26人	31人	23人	13人	23人
		受験者数	24人	26人	31人	23人	13人	23人
		合格者数	13人	19人	16人	14人	13人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	1人	3人	1人
入学者数		12人	18人	15人	13人	10人	14人	
一般選抜		募集人数	42人	42人	42人	42人	42人	42人
		延べ人数	志願者数	343人	290人	267人	196人	168人
	受験者数		320人	270人	248人	170人	158人	233人
	合格者数		80人	119人	79人	98人	98人	95人
	うち追加合格者数		0人	0人	6人	50人	0人	11人
	辞退者数		62人	94人	58人	84人	78人	75人
	実人数	志願者数	267人	230人	204人	161人	138人	200人
		受験者数	256人	214人	194人	149人	132人	189人
		合格者数	80人	113人	79人	97人	98人	93人
		うち追加合格者数	0人	0人	6人	50人	0人	11人
		辞退者数	62人	88人	58人	83人	78人	74人
	入学者数	18人	25人	21人	14人	20人	20人	
	共通テスト利用入試	募集人数	8人	8人	8人	8人	8人	8人
		延べ人数	志願者数	192人	174人	95人	69人	59人
受験者数			192人	173人	94人	69人	59人	117人
合格者数			52人	16人	11人	4人	4人	17人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			44人	16人	11人	4人	4人	16人
実人数		志願者数	192人	173人	94人	69人	59人	117人
		受験者数	192人	172人	93人	69人	59人	117人
		合格者数	52人	16人	11人	4人	4人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	44人	16人	11人	4人	4人	16人
入学者数		8人	0人	0人	0人	0人	2人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	51人	68人	52人	72人	89人
	受験者数		48人	55人	50人	63人	74人	58人
	合格者数		19人	35人	36人	42人	30人	32人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	1人	0人	0人
	辞退者数		2人	6人	2人	4人	4人	4人
	実人数	志願者数	50人	66人	51人	71人	84人	64人
		受験者数	47人	53人	49人	62人	70人	56人
		合格者数	19人	35人	36人	42人	30人	32人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		辞退者数	2人	6人	2人	4人	4人	4人
	入学者数	17人	29人	34人	38人	26人	29人	
	合計	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
		延べ人数	志願者数	823人	733人	655人	566人	583人
受験者数			793人	699人	631人	528人	549人	640人
合格者数			212人	219人	206人	238人	239人	223人
うち追加合格者数			0人	0人	6人	53人	1人	12人
辞退者数			114人	126人	93人	116人	116人	113人
実人数		志願者数	648人	584人	484人	432人	429人	515人
		受験者数	631人	554人	470人	408人	406人	494人
		合格者数	212人	213人	206人	234人	239人	221人
		うち追加合格者数	0人	0人	6人	53人	1人	12人
		辞退者数	114人	120人	93人	112人	116人	111人
入学者数		98人	93人	113人	122人	123人	110人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入学定員充足率	0.98	0.93	1.13	1.22	1.23	1.10
歩留率	0.46	0.42	0.55	0.51	0.51	0.49

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	80人	80人	80人	80人	87人	81人	
	延べ人数	志願者数	453人	370人	441人	340人	367人	394人
		受験者数	450人	364人	427人	334人	357人	386人
		合格者数	123人	106人	164人	192人	200人	157人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	32人	31人	49人	79人	72人	53人
	実人数	志願者数	243人	190人	239人	194人	217人	217人
		受験者数	240人	188人	234人	191人	213人	213人
		合格者数	122人	104人	161人	184人	200人	154人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	31人	29人	46人	71人	72人	50人
	入学者数	91人	75人	115人	113人	128人	104人	
	学校推薦型選抜	募集人数	34人	34人	34人	34人	27人	33人
		延べ人数	志願者数	76人	70人	53人	22人	21人
受験者数			76人	70人	53人	22人	21人	48人
合格者数			36人	36人	30人	16人	21人	28人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			8人	6人	3人	4人	4人	5人
実人数		志願者数	47人	41人	36人	17人	21人	32人
		受験者数	47人	41人	36人	17人	21人	32人
		合格者数	36人	36人	30人	16人	21人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	6人	3人	4人	4人	5人
入学者数		28人	30人	27人	12人	17人	23人	
一般選抜		募集人数	97人	97人	97人	97人	97人	97人
		延べ人数	志願者数	633人	604人	493人	351人	339人
	受験者数		602人	553人	462人	325人	315人	451人
	合格者数		246人	324人	245人	266人	250人	266人
	うち追加合格者数		0人	0人	7人	31人	0人	8人
	辞退者数		167人	221人	183人	202人	178人	190人
	実人数	志願者数	466人	438人	390人	305人	279人	376人
		受験者数	446人	411人	369人	283人	262人	354人
		合格者数	244人	312人	244人	264人	250人	263人
		うち追加合格者数	0人	0人	7人	31人	0人	8人
		辞退者数	165人	209人	182人	200人	178人	187人
	入学者数	79人	103人	62人	64人	72人	76人	
	共通テスト利用入試	募集人数	19人	19人	19人	19人	19人	19人
		延べ人数	志願者数	242人	257人	200人	134人	146人
受験者数			241人	257人	198人	134人	146人	195人
合格者数			99人	43人	58人	25人	22人	49人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			84人	43人	57人	25人	21人	46人
実人数		志願者数	231人	248人	192人	130人	144人	189人
		受験者数	230人	248人	191人	130人	144人	189人
		合格者数	97人	43人	56人	25人	22人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	82人	43人	55人	25人	21人	45人
入学者数		15人	0人	1人	0人	1人	3人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	9人	14人	12人	14人	8人
	受験者数		9人	14人	12人	14人	8人	11人
	合格者数		9人	14人	12人	14人	8人	11人
	うち追加合格者数		0人	0人	2人	0人	0人	0人
	辞退者数		2人	5人	1人	0人	0人	2人
	実人数	志願者数	9人	14人	12人	14人	8人	11人
		受験者数	9人	14人	12人	14人	8人	11人
		合格者数	9人	14人	12人	14人	8人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	2人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	5人	1人	0人	0人	2人
	入学者数	7人	9人	11人	14人	8人	10人	
	合計	募集人数	230人	230人	230人	230人	230人	230人
		延べ人数	志願者数	1413人	1315人	1199人	861人	881人
受験者数			1378人	1258人	1152人	829人	847人	1093人
合格者数			513人	523人	509人	513人	501人	512人
うち追加合格者数			0人	0人	9人	31人	0人	8人
辞退者数			293人	306人	293人	310人	275人	295人
実人数		志願者数	996人	931人	869人	660人	669人	825人
		受験者数	972人	902人	842人	635人	648人	800人
		合格者数	508人	509人	503人	503人	501人	505人
		うち追加合格者数	0人	0人	9人	31人	0人	8人
		辞退者数	288人	292人	287人	300人	275人	288人
入学者数		220人	217人	216人	203人	226人	216人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	230人	230人	230人	230人	230人	230
入学定員充足率	0.96	0.94	0.94	0.88	0.98	0.94
歩留率	0.43	0.41	0.42	0.40	0.45	0.42

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	192人	192人	192人	192人	208人	195人	
	延べ人数	志願者数	851人	913人	868人	1121人	915人	934人
		受験者数	832人	905人	854人	1098人	896人	917人
		合格者数	274人	255人	369人	366人	407人	334人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	9人	2人
		辞退者数	37人	45人	93人	90人	107人	74人
	実人数	志願者数	452人	452人	471人	560人	490人	485人
		受験者数	443人	450人	465人	552人	481人	478人
		合格者数	273人	254人	364人	358人	407人	331人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	9人	2人
		辞退者数	36人	44人	88人	82人	107人	71人
	入学者数	237人	210人	276人	276人	300人	260人	
	学校推薦型選抜	募集人数	82人	82人	82人	82人	66人	79人
延べ人数		志願者数	192人	163人	137人	191人	79人	152人
		受験者数	190人	162人	135人	191人	78人	151人
		合格者数	80人	90人	98人	123人	78人	94人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	7人	4人	10人	5人
実人数		志願者数	143人	132人	115人	143人	79人	122人
		受験者数	141人	131人	114人	143人	78人	121人
		合格者数	80人	90人	98人	123人	78人	94人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	7人	4人	10人	5人
入学者数		78人	88人	91人	119人	68人	89人	
一般選抜		募集人数	232人	232人	232人	232人	232人	232人
	延べ人数	志願者数	2154人	1613人	1683人	1357人	1190人	1599人
		受験者数	2010人	1538人	1575人	1262人	1128人	1503人
		合格者数	610人	819人	880人	914人	882人	821人
		うち追加合格者数	0人	0人	20人	134人	0人	31人
		辞退者数	454人	666人	679人	725人	650人	635人
	実人数	志願者数	1690人	1306人	1398人	1172人	1075人	1328人
		受験者数	1601人	1257人	1327人	1106人	1028人	1264人
		合格者数	608人	800人	878人	901人	882人	814人
		うち追加合格者数	0人	0人	20人	134人	0人	31人
		辞退者数	452人	647人	677人	712人	650人	628人
	入学者数	156人	153人	201人	189人	232人	186人	
	共通テスト利用入試	募集人数	44人	44人	44人	44人	44人	44人
延べ人数		志願者数	1070人	665人	564人	380人	557人	647人
		受験者数	1067人	660人	564人	377人	557人	645人
		合格者数	238人	73人	60人	52人	72人	99人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	228人	73人	60人	50人	72人	97人
実人数		志願者数	1065人	662人	562人	380人	557人	645人
		受験者数	1062人	657人	562人	377人	557人	643人
		合格者数	238人	73人	60人	52人	72人	99人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	228人	73人	60人	50人	72人	97人
入学者数		10人	0人	0人	2人	0人	2人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	156人	166人	104人	132人	164人	144人
		受験者数	134人	140人	82人	111人	127人	119人
		合格者数	64人	58人	55人	55人	62人	59人
		うち追加合格者数	0人	0人	11人	3人	0人	3人
		辞退者数	6人	7人	11人	8人	12人	9人
	実人数	志願者数	155人	157人	101人	126人	159人	140人
		受験者数	133人	134人	79人	106人	126人	116人
		合格者数	64人	58人	55人	55人	62人	59人
		うち追加合格者数	0人	0人	11人	3人	0人	3人
		辞退者数	6人	7人	11人	8人	12人	9人
	入学者数	58人	51人	44人	47人	50人	50人	
	合計	募集人数	550人	550人	550人	550人	550人	550人
延べ人数		志願者数	4423人	3520人	3356人	3181人	2905人	3477人
		受験者数	4233人	3405人	3210人	3039人	2786人	3335人
		合格者数	1266人	1295人	1462人	1510人	1501人	1407人
		うち追加合格者数	0人	0人	31人	137人	9人	35人
		辞退者数	727人	793人	850人	877人	851人	820人
実人数		志願者数	3505人	2709人	2647人	2381人	2360人	2720人
		受験者数	3380人	2629人	2547人	2284人	2270人	2622人
		合格者数	1263人	1275人	1455人	1489人	1501人	1397人
		うち追加合格者数	0人	0人	31人	137人	9人	35人
		辞退者数	724人	773人	843人	856人	851人	809人
入学者数		539人	502人	612人	633人	650人	587人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	550人	550人	550人	550人	550人	550
入学定員充足率	0.98	0.91	1.11	1.15	1.18	1.07
歩留率	0.43	0.39	0.42	0.42	0.43	0.42

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	70人	70人	70人	70人	76人	71人	
	延べ人数	志願者数	224人	156人	139人	237人	199人	191人
		受験者数	222人	155人	136人	229人	189人	186人
		合格者数	110人	81人	81人	140人	122人	107人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	29人	33人	48人	84人	65人	52人
	実人数	志願者数	136人	93人	95人	151人	133人	122人
		受験者数	135人	92人	94人	147人	127人	119人
		合格者数	110人	81人	81人	139人	122人	107人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	29人	33人	48人	83人	65人	52人
	入学者数	81人	48人	33人	56人	57人	55人	
	学校推薦型選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	24人	21人
		延べ人数	志願者数	63人	27人	41人	28人	17人
受験者数			62人	26人	41人	28人	17人	35人
合格者数			29人	24人	33人	24人	17人	25人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			5人	4人	4人	5人	0人	4人
実人数		志願者数	46人	25人	36人	24人	17人	30人
		受験者数	45人	24人	36人	24人	17人	29人
		合格者数	29人	24人	33人	24人	17人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	4人	4人	5人	0人	4人
入学者数		24人	20人	29人	19人	17人	22人	
一般選抜		募集人数	94人	94人	94人	94人	84人	92人
		延べ人数	志願者数	698人	480人	535人	355人	294人
	受験者数		653人	453人	507人	327人	276人	443人
	合格者数		256人	378人	431人	295人	247人	321人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	1人	0人	0人
	辞退者数		196人	324人	361人	203人	172人	251人
	実人数	志願者数	574人	426人	486人	326人	274人	417人
		受験者数	544人	404人	464人	303人	257人	394人
		合格者数	256人	373人	430人	295人	247人	320人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		辞退者数	196人	319人	360人	203人	172人	250人
	入学者数	60人	54人	70人	92人	75人	70人	
	共通テスト利用入試	募集人数	16人	16人	16人	16人	16人	16人
		延べ人数	志願者数	292人	166人	105人	69人	82人
受験者数			290人	164人	105人	69人	82人	142人
合格者数			40人	25人	22人	15人	14人	23人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			39人	23人	22人	15人	14人	23人
実人数		志願者数	292人	166人	105人	69人	82人	143人
		受験者数	290人	164人	105人	69人	82人	142人
		合格者数	40人	25人	22人	15人	14人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	39人	23人	22人	15人	14人	23人
入学者数		1人	2人	0人	0人	0人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	74人	69人	25人	54人	111人
	受験者数		64人	52人	19人	38人	86人	52人
	合格者数		22人	20人	8人	17人	34人	20人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	6人	0人	1人
	辞退者数		4人	1人	1人	4人	5人	3人
	実人数	志願者数	73人	68人	24人	54人	105人	65人
		受験者数	64人	51人	19人	38人	84人	51人
		合格者数	22人	20人	8人	17人	34人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	6人	0人	1人
		辞退者数	4人	1人	1人	4人	5人	3人
	入学者数	18人	19人	7人	13人	29人	17人	
	合計	募集人数	200人	200人	200人	200人	200人	200人
		延べ人数	志願者数	1351人	898人	845人	743人	703人
受験者数			1291人	850人	808人	691人	650人	858人
合格者数			457人	528人	575人	491人	434人	497人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	7人	0人	1人
辞退者数			273人	385人	436人	311人	256人	332人
実人数		志願者数	1121人	778人	746人	624人	611人	776人
		受験者数	1078人	735人	718人	581人	567人	736人
		合格者数	457人	523人	574人	490人	434人	496人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	7人	0人	1人
		辞退者数	273人	380人	435人	310人	256人	331人
入学者数		184人	143人	139人	180人	178人	165人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	200人	200人	200人	200人	200人	200
入学定員充足率	0.92	0.72	0.70	0.90	0.89	0.82
歩留率	0.40	0.27	0.24	0.37	0.41	0.34

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	38人	20人	
	延べ人数	志願者数	96人	53人	50人	81人	71人	70人
		受験者数	95人	53人	50人	78人	65人	68人
		合格者数	27人	22人	30人	47人	39人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	1人	11人	16人	18人	11人
	実人数	志願者数	53人	28人	30人	51人	45人	41人
		受験者数	53人	28人	30人	49人	42人	40人
		合格者数	27人	22人	29人	47人	39人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	1人	10人	16人	18人	10人
	入学者数	20人	21人	19人	31人	21人	22人	
	学校推薦型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	12人	14人
延べ人数		志願者数	57人	28人	29人	33人	26人	35人
		受験者数	56人	28人	29人	33人	26人	34人
		合格者数	31人	25人	27人	32人	26人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	4人	2人	2人	2人
実人数		志願者数	47人	25人	27人	32人	26人	31人
		受験者数	46人	25人	27人	32人	26人	31人
		合格者数	31人	25人	27人	32人	26人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	4人	2人	2人	2人
入学者数		30人	23人	23人	30人	24人	26人	
一般選抜		募集人数	60人	60人	60人	60人	42人	56人
	延べ人数	志願者数	428人	170人	148人	179人	116人	208人
		受験者数	391人	154人	132人	159人	107人	189人
		合格者数	159人	111人	112人	139人	96人	123人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	124人	85人	88人	106人	81人	97人
	実人数	志願者数	341人	146人	131人	158人	107人	177人
		受験者数	317人	132人	120人	140人	99人	162人
		合格者数	158人	111人	112人	138人	96人	123人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	123人	85人	88人	105人	81人	96人
	入学者数	35人	26人	24人	33人	15人	27人	
	共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	10人	10人	8人	10人
延べ人数		志願者数	211人	109人	220人	127人	160人	165人
		受験者数	210人	108人	220人	124人	160人	164人
		合格者数	54人	56人	121人	64人	74人	74人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	53人	47人	118人	60人	70人	70人
実人数		志願者数	211人	109人	220人	127人	160人	165人
		受験者数	210人	108人	220人	124人	160人	164人
		合格者数	54人	56人	121人	64人	74人	74人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	53人	47人	118人	60人	70人	70人
入学者数		1人	9人	3人	4人	4人	4人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	30人	22人	6人	18人	20人	19人
		受験者数	28人	14人	4人	14人	13人	15人
		合格者数	9人	2人	2人	4人	5人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	1人	2人	1人	1人
	実人数	志願者数	30人	21人	6人	18人	19人	19人
		受験者数	28人	14人	4人	14人	12人	14人
		合格者数	9人	2人	2人	4人	5人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	1人	2人	1人	1人
	入学者数	7人	1人	1人	2人	4人	3人	
	合計	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
延べ人数		志願者数	822人	382人	453人	438人	393人	498人
		受験者数	780人	357人	435人	408人	371人	470人
		合格者数	280人	216人	292人	286人	240人	263人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	187人	136人	222人	186人	172人	181人
実人数		志願者数	682人	329人	414人	386人	357人	434人
		受験者数	654人	307人	401人	359人	339人	412人
		合格者数	279人	216人	291人	285人	240人	262人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	186人	136人	221人	185人	172人	180人
入学者数		93人	80人	70人	100人	68人	82人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入学定員充足率	0.93	0.80	0.70	1.00	0.68	0.82
歩留率	0.33	0.37	0.24	0.35	0.28	0.32

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	192人	192人	192人	192人	208人	195人	
	延べ人数	志願者数	1076人	1047人	1181人	1504人	1226人	1207人
		受験者数	1060人	1021人	1145人	1489人	1196人	1182人
		合格者数	274人	253人	406人	360人	445人	348人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	14人	3人
		辞退者数	42人	53人	107人	102人	129人	87人
	実人数	志願者数	567人	516人	627人	752人	653人	623人
		受験者数	560人	507人	608人	745人	638人	612人
		合格者数	273人	253人	401人	357人	445人	346人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	14人	3人
		辞退者数	41人	53人	102人	99人	129人	85人
	入学者数	232人	200人	299人	258人	316人	261人	
	学校推薦型選抜	募集人数	82人	82人	82人	82人	66人	79人
		延べ人数	志願者数	190人	173人	211人	224人	90人
受験者数			181人	171人	207人	222人	89人	174人
合格者数			70人	91人	94人	109人	89人	91人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	6人	3人	5人	14人	6人
実人数		志願者数	144人	125人	163人	158人	90人	136人
		受験者数	139人	123人	161人	157人	89人	134人
		合格者数	70人	91人	94人	109人	89人	91人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	6人	3人	5人	14人	6人
入学者数		69人	85人	91人	104人	75人	85人	
一般選抜		募集人数	232人	232人	232人	232人	232人	232人
		延べ人数	志願者数	1740人	1548人	1362人	1317人	1103人
	受験者数		1635人	1457人	1280人	1224人	1045人	1328人
	合格者数		466人	704人	713人	752人	820人	691人
	うち追加合格者数		0人	0人	17人	172人	0人	38人
	辞退者数		345人	578人	577人	606人	604人	542人
	実人数	志願者数	1375人	1182人	1143人	1080人	973人	1151人
		受験者数	1299人	1134人	1091人	1022人	927人	1095人
		合格者数	466人	689人	709人	738人	820人	684人
		うち追加合格者数	0人	0人	17人	172人	0人	38人
		辞退者数	345人	563人	573人	592人	604人	535人
	入学者数	121人	126人	136人	146人	216人	149人	
	共通テスト利用入試	募集人数	44人	44人	44人	44人	44人	44人
		延べ人数	志願者数	1947人	658人	403人	339人	327人
受験者数			1940人	655人	400人	337人	327人	732人
合格者数			278人	52人	31人	29人	22人	82人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			269人	51人	31人	29人	22人	80人
実人数		志願者数	1945人	658人	403人	338人	325人	734人
		受験者数	1938人	655人	400人	336人	325人	731人
		合格者数	278人	52人	31人	29人	22人	82人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	269人	51人	31人	29人	22人	80人
入学者数		9人	1人	0人	0人	0人	2人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	315人	370人	285人	362人	535人
	受験者数		277人	311人	244人	293人	423人	310人
	合格者数		115人	133人	151人	139人	159人	139人
	うち追加合格者数		0人	0人	18人	14人	0人	6人
	辞退者数		17人	17人	32人	22人	19人	21人
	実人数	志願者数	310人	362人	272人	344人	495人	357人
		受験者数	273人	304人	234人	284人	393人	298人
		合格者数	115人	133人	151人	139人	159人	139人
		うち追加合格者数	0人	0人	18人	14人	0人	6人
		辞退者数	17人	17人	32人	22人	19人	21人
	入学者数	98人	116人	119人	117人	140人	118人	
	合計	募集人数	550人	550人	550人	550人	550人	550人
		延べ人数	志願者数	5268人	3796人	3442人	3746人	3281人
受験者数			5093人	3615人	3276人	3565人	3080人	3726人
合格者数			1203人	1233人	1395人	1389人	1535人	1351人
うち追加合格者数			0人	0人	35人	186人	14人	47人
辞退者数			674人	705人	750人	764人	788人	736人
実人数		志願者数	4341人	2843人	2608人	2672人	2536人	3000人
		受験者数	4209人	2723人	2494人	2544人	2372人	2868人
		合格者数	1202人	1218人	1386人	1372人	1535人	1343人
		うち追加合格者数	0人	0人	35人	186人	14人	47人
		辞退者数	673人	690人	741人	747人	788人	728人
入学者数		529人	528人	645人	625人	747人	615人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	550人	550人	550人	550人	550人	550
入学定員充足率	0.96	0.96	1.17	1.14	1.36	1.12
歩留率	0.44	0.43	0.46	0.45	0.49	0.45

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	59人	59人	59人	59人	64人	60人	
	延べ人数	志願者数	301人	270人	202人	300人	378人	290人
		受験者数	301人	268人	200人	296人	358人	285人
		合格者数	79人	88人	109人	116人	171人	113人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	12人	2人
		辞退者数	17人	26人	37人	33人	82人	39人
	実人数	志願者数	155人	144人	123人	161人	202人	157人
		受験者数	155人	143人	122人	161人	197人	156人
		合格者数	79人	88人	105人	116人	171人	112人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	12人	2人
		辞退者数	17人	26人	33人	33人	82人	38人
	入学者数	62人	62人	72人	83人	89人	74人	
	学校推薦型選抜	募集人数	25人	25人	25人	25人	20人	24人
延べ人数		志願者数	42人	59人	41人	62人	25人	46人
		受験者数	42人	59人	41人	62人	24人	46人
		合格者数	26人	37人	29人	41人	24人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	5人	6人	6人	5人	5人
実人数		志願者数	34人	42人	33人	44人	24人	35人
		受験者数	34人	42人	33人	44人	24人	35人
		合格者数	26人	37人	29人	41人	24人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	5人	6人	6人	5人	5人
入学者数		24人	32人	23人	35人	19人	27人	
一般選抜		募集人数	72人	72人	72人	72人	72人	72人
	延べ人数	志願者数	356人	355人	237人	214人	197人	272人
		受験者数	335人	331人	228人	194人	192人	256人
		合格者数	150人	224人	169人	157人	162人	172人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	6人	0人	1人
		辞退者数	102人	182人	120人	129人	121人	131人
	実人数	志願者数	292人	273人	203人	184人	174人	225人
		受験者数	275人	259人	195人	168人	169人	213人
		合格者数	149人	217人	169人	157人	162人	171人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	6人	0人	1人
		辞退者数	101人	175人	120人	129人	121人	129人
	入学者数	48人	42人	49人	28人	41人	42人	
	共通テスト利用入試	募集人数	14人	14人	14人	14人	14人	14人
延べ人数		志願者数	291人	157人	114人	67人	69人	140人
		受験者数	290人	155人	114人	66人	69人	139人
		合格者数	76人	19人	15人	18人	14人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	74人	19人	15人	17人	14人	28人
実人数		志願者数	290人	155人	114人	67人	69人	139人
		受験者数	289人	153人	114人	66人	69人	138人
		合格者数	76人	19人	15人	18人	14人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	74人	19人	15人	17人	14人	28人
入学者数		2人	0人	0人	1人	0人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	87人	64人	34人	29人	61人	55人
		受験者数	76人	58人	30人	27人	50人	48人
		合格者数	33人	19人	21人	11人	23人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	2人	1人	0人	1人
		辞退者数	4人	1人	0人	2人	3人	2人
	実人数	志願者数	86人	61人	33人	29人	60人	54人
		受験者数	75人	55人	29人	27人	49人	47人
		合格者数	33人	19人	21人	11人	23人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	2人	1人	0人	1人
		辞退者数	4人	1人	0人	2人	3人	2人
	入学者数	29人	18人	21人	9人	20人	19人	
	合計	募集人数	170人	170人	170人	170人	170人	170人
延べ人数		志願者数	1077人	905人	628人	672人	730人	802人
		受験者数	1044人	871人	613人	645人	693人	773人
		合格者数	364人	387人	343人	343人	394人	366人
		うち追加合格者数	0人	0人	2人	7人	12人	4人
		辞退者数	199人	233人	178人	187人	225人	204人
実人数		志願者数	857人	675人	506人	485人	529人	610人
		受験者数	828人	652人	493人	466人	508人	589人
		合格者数	363人	380人	339人	343人	394人	364人
		うち追加合格者数	0人	0人	2人	7人	12人	4人
		辞退者数	198人	226人	174人	187人	225人	202人
入学者数		165人	154人	165人	156人	169人	162人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	170人	170人	170人	170人	170人	170
入学定員充足率	0.97	0.91	0.97	0.92	0.99	0.95
歩留率	0.45	0.40	0.48	0.45	0.43	0.44

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：帝京大学法学部法律学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	131人	131人	131人	131人	142人	133人	
	延べ人数	志願者数	514人	398人	520人	506人	355人	459人
		受験者数	488人	395人	506人	491人	348人	446人
		合格者数	212人	155人	269人	215人	208人	212人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	35人	39人	109人	87人	110人	76人
	実人数	志願者数	283人	213人	293人	275人	218人	256人
		受験者数	269人	212人	287人	268人	213人	250人
		合格者数	211人	154人	259人	210人	208人	208人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	34人	38人	99人	82人	110人	73人
	入学者数	177人	116人	160人	128人	98人	136人	
	学校推薦型選抜	募集人数	56人	56人	56人	56人	45人	54人
延べ人数		志願者数	115人	99人	90人	97人	52人	91人
		受験者数	111人	97人	90人	96人	52人	89人
		合格者数	65人	71人	73人	79人	52人	68人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	3人	7人	5人	4人
実人数		志願者数	93人	84人	81人	82人	52人	78人
		受験者数	92人	82人	81人	81人	52人	78人
		合格者数	65人	71人	73人	79人	52人	68人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	3人	7人	5人	4人
入学者数		63人	69人	70人	72人	47人	64人	
一般選抜		募集人数	158人	158人	158人	158人	158人	158人
	延べ人数	志願者数	1166人	1083人	1036人	746人	704人	947人
		受験者数	1087人	1006人	966人	703人	668人	886人
		合格者数	395人	649人	708人	616人	605人	595人
		うち追加合格者数	0人	0人	44人	32人	0人	15人
		辞退者数	314人	544人	565人	469人	449人	468人
	実人数	志願者数	979人	918人	926人	661人	652人	827人
		受験者数	921人	877人	865人	628人	622人	783人
		合格者数	393人	639人	701人	611人	605人	590人
		うち追加合格者数	0人	0人	44人	30人	0人	15人
		辞退者数	312人	534人	558人	464人	449人	463人
	入学者数	81人	105人	143人	147人	156人	126人	
	共通テスト利用入試	募集人数	30人	30人	30人	30人	30人	30人
延べ人数		志願者数	1121人	562人	321人	197人	258人	492人
		受験者数	1116人	560人	321人	195人	258人	490人
		合格者数	294人	59人	46人	38人	61人	100人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	281人	59人	45人	38人	60人	97人
実人数		志願者数	1117人	562人	321人	197人	258人	491人
		受験者数	1112人	560人	321人	195人	258人	489人
		合格者数	293人	59人	46人	38人	61人	99人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	280人	59人	45人	38人	60人	96人
入学者数		13人	0人	1人	0人	1人	3人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	36人	67人	36人	55人	74人	54人
		受験者数	32人	55人	31人	46人	53人	43人
		合格者数	17人	40人	25人	38人	33人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	3人	0人	0人	1人
		辞退者数	1人	6人	2人	4人	7人	4人
	実人数	志願者数	35人	65人	36人	55人	73人	53人
		受験者数	32人	54人	31人	46人	52人	43人
		合格者数	17人	40人	25人	38人	33人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	3人	0人	0人	1人
		辞退者数	1人	6人	2人	4人	7人	4人
	入学者数	16人	34人	23人	34人	26人	27人	
	合計	募集人数	375人	375人	375人	375人	375人	375人
延べ人数		志願者数	2952人	2209人	2003人	1601人	1443人	2042人
		受験者数	2834人	2113人	1914人	1531人	1379人	1954人
		合格者数	983人	974人	1121人	986人	959人	1005人
		うち追加合格者数	0人	0人	47人	32人	0人	16人
		辞退者数	633人	650人	724人	605人	631人	649人
実人数		志願者数	2507人	1842人	1657人	1270人	1253人	1706人
		受験者数	2426人	1785人	1585人	1218人	1197人	1642人
		合格者数	979人	963人	1104人	976人	959人	996人
		うち追加合格者数	0人	0人	47人	30人	0人	15人
		辞退者数	629人	639人	707人	595人	631人	640人
入学者数		350人	324人	397人	381人	328人	356人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	375人	375人	375人	375人	375人	375
入学定員充足率	0.93	0.86	1.06	1.02	0.87	0.95
歩留率	0.36	0.33	0.35	0.39	0.34	0.35

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	35人	35人	35人	35人	38人	36人	
	延べ人数	志願者数	160人	175人	108人	143人	136人	144人
		受験者数	145人	172人	102人	140人	131人	138人
		合格者数	52人	40人	52人	67人	75人	57人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	13人	12人	13人	26人	27人	18人
	実人数	志願者数	92人	94人	61人	80人	78人	81人
		受験者数	84人	94人	58人	79人	75人	78人
		合格者数	51人	40人	52人	66人	75人	57人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	12人	13人	25人	27人	18人
	入学者数	39人	28人	39人	41人	48人	39人	
	学校推薦型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	12人	14人
		延べ人数	志願者数	28人	25人	23人	42人	17人
受験者数			28人	25人	23人	42人	17人	27人
合格者数			17人	17人	20人	32人	17人	21人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	2人	2人	1人	0人	1人
実人数		志願者数	23人	21人	22人	34人	17人	23人
		受験者数	23人	21人	22人	34人	17人	23人
		合格者数	17人	17人	20人	32人	17人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	2人	1人	0人	1人
入学者数		16人	15人	18人	31人	17人	19人	
一般選抜		募集人数	42人	42人	42人	42人	42人	42人
		延べ人数	志願者数	373人	293人	270人	181人	140人
	受験者数		356人	275人	255人	163人	133人	236人
	合格者数		154人	164人	175人	139人	120人	150人
	うち追加合格者数		0人	0人	11人	42人	0人	11人
	辞退者数		121人	132人	143人	120人	91人	121人
	実人数	志願者数	313人	238人	241人	154人	127人	215人
		受験者数	301人	225人	230人	141人	121人	204人
		合格者数	153人	163人	174人	132人	120人	148人
		うち追加合格者数	0人	0人	11人	42人	0人	11人
		辞退者数	120人	131人	142人	113人	91人	119人
	入学者数	33人	32人	32人	19人	29人	29人	
	共通テスト利用入試	募集人数	8人	8人	8人	8人	8人	8人
		延べ人数	志願者数	287人	108人	73人	48人	71人
受験者数			287人	106人	73人	48人	71人	117人
合格者数			37人	9人	7人	11人	18人	16人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			37人	9人	7人	11人	18人	16人
実人数		志願者数	286人	107人	73人	48人	71人	117人
		受験者数	286人	105人	73人	48人	71人	117人
		合格者数	37人	9人	7人	11人	18人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	37人	9人	7人	11人	18人	16人
入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	14人	18人	17人	14人	23人
	受験者数		12人	16人	16人	14人	19人	15人
	合格者数		11人	13人	14人	8人	15人	12人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	1人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	14人	18人	17人	14人	23人	17人
		受験者数	12人	16人	16人	14人	19人	15人
		合格者数	11人	13人	14人	8人	15人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	1人	0人
	入学者数	11人	13人	13人	8人	14人	12人	
	合計	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
		延べ人数	志願者数	862人	619人	491人	428人	387人
受験者数			828人	594人	469人	407人	371人	534人
合格者数			271人	243人	268人	257人	245人	257人
うち追加合格者数			0人	0人	11人	42人	0人	11人
辞退者数			172人	155人	166人	158人	137人	158人
実人数		志願者数	728人	478人	414人	330人	316人	453人
		受験者数	706人	461人	399人	316人	303人	437人
		合格者数	269人	242人	267人	249人	245人	254人
		うち追加合格者数	0人	0人	11人	42人	0人	11人
		辞退者数	170人	154人	165人	150人	137人	155人
入学者数		99人	88人	102人	99人	108人	99人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入学定員充足率	0.99	0.88	1.02	0.99	1.08	0.99
歩留率	0.37	0.36	0.38	0.39	0.44	0.39

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：帝京大学医学部医学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	-	-	-	-	-	-	
	延べ人数	志願者数	-	-	-	-	-	-
		受験者数	-	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-	-
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
		辞退者数	-	-	-	-	-	-
	実人数	志願者数	-	-	-	-	-	-
		受験者数	-	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-	-
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
		辞退者数	-	-	-	-	-	-
入学者数	-	-	-	-	-	-		
学校推薦型選抜	募集人数	10人	10人	10人	15人	15人	12人	
	延べ人数	志願者数	47人	38人	49人	66人	61人	52人
		受験者数	47人	38人	49人	66人	61人	52人
		合格者数	10人	12人	13人	15人	15人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	47人	38人	49人	66人	61人	52人
		受験者数	47人	38人	49人	66人	61人	52人
		合格者数	10人	12人	13人	15人	15人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数	10人	12人	13人	15人	15人	13人		
一般選抜	募集人数	96人	96人	96人	93人	95人	95人	
	延べ人数	志願者数	8441人	6892人	6649人	7101人	8682人	7553人
		受験者数	7940人	6425人	6229人	6588人	8072人	7051人
		合格者数	287人	230人	212人	231人	227人	237人
		うち追加合格者数	0人	0人	44人	64人	57人	33人
		辞退者数	176人	129人	114人	137人	127人	137人
	実人数	志願者数	3544人	3091人	2955人	3162人	3594人	3269人
		受験者数	3419人	2948人	2830人	3048人	3474人	3144人
		合格者数	287人	228人	212人	231人	227人	237人
		うち追加合格者数	0人	0人	44人	64人	57人	33人
		辞退者数	176人	127人	114人	137人	127人	136人
入学者数	111人	101人	98人	94人	100人	101人		
共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	10人	8人	8人	9人	
	延べ人数	志願者数	868人	647人	581人	626人	773人	699人
		受験者数	813人	606人	537人	587人	726人	654人
		合格者数	10人	13人	13人	18人	17人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	11人	8人	12人	14人	11人
	実人数	志願者数	868人	647人	581人	626人	773人	699人
		受験者数	813人	606人	537人	587人	726人	654人
		合格者数	10人	13人	13人	18人	17人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	11人	8人	12人	14人	11人
入学者数	1人	2人	5人	6人	3人	3人		
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	2人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	2人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	2人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	2人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	2人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	2人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数	0人	0人	0人	2人	0人	0人		
合計	募集人数	116人	116人	116人	116人	118人	116人	
	延べ人数	志願者数	9356人	7577人	7279人	7795人	9516人	8305人
		受験者数	8800人	7069人	6815人	7243人	8859人	7757人
		合格者数	307人	255人	238人	266人	259人	265人
		うち追加合格者数	0人	0人	44人	64人	57人	33人
		辞退者数	185人	140人	122人	149人	141人	147人
	実人数	志願者数	4459人	3776人	3585人	3856人	4428人	4021人
		受験者数	4279人	3592人	3416人	3703人	4261人	3850人
		合格者数	307人	253人	238人	266人	259人	265人
		うち追加合格者数	0人	0人	44人	64人	57人	33人
		辞退者数	185人	138人	122人	149人	141人	147人
入学者数	122人	115人	116人	117人	118人	118人		

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	116人	116人	116人	116人	118人	116.4
入学定員充足率	1.05	0.99	1.00	1.01	1.00	1.01
歩留率	0.40	0.45	0.49	0.44	0.46	0.45

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
 ・令和2～5年度臨時入学定員増（6人）／令和6年度臨時入学定員増（8人）

大学学部学科等名：帝京大学薬学部薬学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	48人	48人	48人	65人	83人	58人	
	延べ人数	志願者数	464人	333人	356人	405人	555人	423人
		受験者数	460人	332人	352人	402人	541人	417人
		合格者数	69人	77人	108人	164人	168人	117人
		うち追加合格者数	0人	0人	13人	0人	0人	3人
		辞退者数	39人	39人	56人	67人	65人	53人
	実人数	志願者数	255人	184人	205人	229人	267人	228人
		受験者数	253人	184人	203人	227人	261人	226人
		合格者数	69人	77人	108人	164人	168人	117人
		うち追加合格者数	0人	0人	13人	0人	0人	3人
		辞退者数	39人	39人	56人	67人	65人	53人
	入学者数	30人	38人	52人	97人	103人	64人	
	学校推薦型選抜	募集人数	48人	48人	48人	48人	30人	44人
		延べ人数	志願者数	174人	107人	145人	113人	106人
受験者数			174人	107人	139人	113人	104人	127人
合格者数			57人	49人	98人	72人	50人	65人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			15人	15人	36人	22人	29人	23人
実人数		志願者数	174人	107人	145人	113人	106人	129人
		受験者数	174人	107人	139人	113人	104人	127人
		合格者数	57人	49人	98人	72人	50人	65人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	15人	15人	36人	22人	29人	23人
入学者数		42人	34人	62人	50人	21人	42人	
一般選抜		募集人数	192人	192人	192人	191人	191人	192人
		延べ人数	志願者数	2049人	1577人	1386人	1287人	900人
	受験者数		1840人	1457人	1271人	1161人	813人	1308人
	合格者数		436人	501人	509人	430人	366人	448人
	うち追加合格者数		0人	0人	35人	0人	10人	9人
	辞退者数		217人	285人	282人	230人	218人	246人
	実人数	志願者数	1056人	902人	855人	779人	585人	835人
		受験者数	959人	837人	809人	720人	548人	775人
		合格者数	436人	499人	507人	430人	366人	448人
		うち追加合格者数	0人	0人	35人	0人	10人	9人
		辞退者数	217人	283人	280人	230人	218人	246人
	入学者数	219人	216人	227人	200人	148人	202人	
	共通テスト利用入試	募集人数	32人	32人	32人	16人	16人	26人
		延べ人数	志願者数	404人	308人	287人	260人	237人
受験者数			355人	262人	245人	214人	218人	259人
合格者数			3人	5人	0人	0人	1人	2人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			3人	4人	0人	0人	1人	2人
実人数		志願者数	404人	308人	287人	260人	237人	299人
		受験者数	355人	262人	245人	214人	218人	259人
		合格者数	3人	5人	0人	0人	1人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	4人	0人	0人	1人	2人
入学者数		0人	1人	0人	0人	0人	0人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	6人	4人	6人	7人	8人
	受験者数		6人	4人	6人	7人	8人	6人
	合格者数		6人	4人	6人	7人	8人	6人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	1人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	6人	4人	6人	7人	8人	6人
		受験者数	6人	4人	6人	7人	8人	6人
		合格者数	6人	4人	6人	7人	8人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	6人	3人	6人	7人	8人	6人	
	合計	募集人数	320人	320人	320人	320人	320人	320人
		延べ人数	志願者数	3097人	2329人	2180人	2072人	1806人
受験者数			2835人	2162人	2013人	1897人	1684人	2118人
合格者数			571人	636人	721人	673人	593人	639人
うち追加合格者数			0人	0人	48人	0人	10人	12人
辞退者数			274人	344人	374人	319人	313人	325人
実人数		志願者数	1895人	1505人	1498人	1388人	1203人	1498人
		受験者数	1747人	1394人	1402人	1281人	1139人	1393人
		合格者数	571人	634人	719人	673人	593人	638人
		うち追加合格者数	0人	0人	48人	0人	10人	12人
		辞退者数	274人	342人	372人	319人	313人	324人
入学者数		297人	292人	347人	354人	280人	314人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	320人	320人	320人	320人	320人	320
入学定員充足率	0.93	0.91	1.08	1.11	0.88	0.98
歩留率	0.52	0.46	0.48	0.53	0.47	0.49

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	8人	8人	8人	13人	15人	10人	
	延べ人数	志願者数	24人	8人	23人	38人	21人	23人
		受験者数	21人	8人	23人	37人	21人	22人
		合格者数	10人	5人	10人	17人	12人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	5人	5人	11人	3人	5人
	実人数	志願者数	14人	7人	15人	25人	12人	15人
		受験者数	13人	7人	15人	24人	12人	14人
		合格者数	10人	5人	10人	17人	12人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	5人	5人	11人	3人	5人
	入学者数	8人	0人	5人	6人	9人	6人	
	学校推薦型選抜	募集人数	7人	7人	7人	7人	5人	7人
		延べ人数	志願者数	13人	7人	6人	7人	5人
受験者数			13人	7人	6人	7人	5人	8人
合格者数			11人	7人	6人	5人	5人	7人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	11人	7人	6人	5人	5人	7人
		受験者数	11人	7人	6人	5人	5人	7人
		合格者数	11人	7人	6人	5人	5人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		11人	7人	6人	5人	5人	7人	
一般選抜		募集人数	30人	30人	30人	25人	25人	28人
		延べ人数	志願者数	209人	188人	188人	137人	126人
	受験者数		190人	181人	173人	128人	118人	158人
	合格者数		95人	124人	128人	98人	102人	109人
	うち追加合格者数		0人	0人	8人	0人	0人	2人
	辞退者数		68人	84人	87人	74人	66人	76人
	実人数	志願者数	173人	159人	158人	124人	111人	145人
		受験者数	158人	155人	149人	117人	103人	136人
		合格者数	95人	124人	127人	98人	102人	109人
		うち追加合格者数	0人	0人	8人	0人	0人	2人
		辞退者数	68人	84人	86人	74人	66人	76人
	入学者数	27人	40人	41人	24人	36人	34人	
	共通テスト利用入試	募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5人
		延べ人数	志願者数	131人	120人	97人	70人	70人
受験者数			131人	120人	92人	70人	70人	97人
合格者数			36人	46人	44人	40人	33人	40人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			34人	41人	38人	37人	29人	36人
実人数		志願者数	129人	118人	96人	70人	69人	96人
		受験者数	129人	118人	91人	70人	69人	95人
		合格者数	36人	46人	44人	40人	33人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	34人	41人	38人	37人	29人	36人
入学者数		2人	5人	6人	3人	4人	4人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	13人	8人	11人	9人	12人
	受験者数		13人	8人	11人	9人	11人	10人
	合格者数		10人	7人	10人	8人	8人	9人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		4人	4人	1人	2人	3人	3人
	実人数	志願者数	13人	8人	11人	9人	12人	11人
		受験者数	13人	8人	11人	9人	11人	10人
		合格者数	10人	7人	10人	8人	8人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	4人	1人	2人	3人	3人
	入学者数	6人	3人	9人	6人	5人	6人	
	合計	募集人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人
		延べ人数	志願者数	390人	331人	325人	261人	234人
受験者数			368人	324人	305人	251人	225人	295人
合格者数			162人	189人	198人	168人	160人	175人
うち追加合格者数			0人	0人	8人	0人	0人	2人
辞退者数			108人	134人	131人	124人	101人	120人
実人数		志願者数	340人	299人	286人	233人	209人	273人
		受験者数	324人	295人	272人	225人	200人	263人
		合格者数	162人	189人	197人	168人	160人	175人
		うち追加合格者数	0人	0人	8人	0人	0人	2人
		辞退者数	108人	134人	130人	124人	101人	119人
入学者数		54人	55人	67人	44人	59人	56人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	50人	50人	50人	50人	50人	50
入学定員充足率	1.08	1.10	1.34	0.88	1.18	1.12
歩留率	0.33	0.29	0.34	0.26	0.37	0.32

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
 ・令和7年4月学生募集停止（△50人）

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）  
 大学学部学科等名：帝京大学理工学部航空宇宙工学科

別紙2-8-2

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	7人	7人	7人	11人	13人	9人	
	延べ人数	志願者数	28人	16人	18人	25人	23人	22人
		受験者数	28人	15人	18人	24人	22人	21人
		合格者数	10人	5人	9人	13人	12人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	2人	4人	3人	2人	3人
	実人数	志願者数	15人	10人	10人	15人	16人	13人
		受験者数	15人	9人	10人	14人	16人	13人
		合格者数	10人	5人	9人	13人	12人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	2人	4人	3人	2人	3人
	入学者数	6人	3人	5人	10人	10人	7人	
	学校推薦型選抜	募集人数	7人	7人	7人	7人	5人	7人
		延べ人数	志願者数	8人	1人	1人	1人	6人
受験者数			8人	1人	1人	1人	6人	3人
合格者数			5人	1人	1人	1人	6人	3人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	1人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	5人	1人	1人	1人	6人	3人
		受験者数	5人	1人	1人	1人	6人	3人
		合格者数	5人	1人	1人	1人	6人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
入学者数		5人	0人	1人	1人	6人	3人	
一般選抜		募集人数	27人	27人	27人	23人	23人	25人
		延べ人数	志願者数	148人	90人	63人	76人	41人
	受験者数		138人	84人	58人	69人	41人	78人
	合格者数		69人	60人	42人	42人	34人	49人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		50人	40人	34人	35人	29人	38人
	実人数	志願者数	111人	74人	56人	63人	36人	68人
		受験者数	107人	70人	51人	57人	36人	64人
		合格者数	69人	59人	42人	42人	34人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	50人	39人	34人	35人	29人	37人
	入学者数	19人	20人	8人	7人	5人	12人	
	共通テスト利用入試	募集人数	4人	4人	4人	4人	4人	4人
		延べ人数	志願者数	95人	57人	60人	39人	36人
受験者数			94人	57人	58人	39人	36人	57人
合格者数			39人	23人	34人	28人	21人	29人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			35人	21人	31人	26人	19人	26人
実人数		志願者数	94人	55人	60人	39人	36人	57人
		受験者数	93人	55人	58人	39人	36人	56人
		合格者数	39人	23人	34人	28人	21人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	35人	21人	31人	26人	19人	26人
入学者数		4人	2人	3人	2人	2人	3人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	5人	1人	2人	1人	4人
	受験者数		5人	1人	2人	1人	4人	3人
	合格者数		2人	1人	2人	1人	4人	2人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		1人	0人	0人	1人	2人	1人
	実人数	志願者数	5人	1人	2人	1人	4人	3人
		受験者数	5人	1人	2人	1人	4人	3人
		合格者数	2人	1人	2人	1人	4人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	2人	1人
	入学者数	1人	1人	2人	0人	2人	1人	
	合計	募集人数	45人	45人	45人	45人	45人	45人
		延べ人数	志願者数	284人	165人	144人	142人	110人
受験者数			273人	158人	137人	134人	109人	162人
合格者数			125人	90人	88人	85人	77人	93人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			90人	64人	69人	65人	52人	68人
実人数		志願者数	230人	141人	129人	119人	98人	143人
		受験者数	225人	136人	122人	112人	98人	139人
		合格者数	125人	89人	88人	85人	77人	93人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	90人	63人	69人	65人	52人	68人
入学者数		35人	26人	19人	20人	25人	25人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	45人	45人	45人	45人	45人	45
入学定員充足率	0.78	0.58	0.42	0.44	0.56	0.56
歩留率	0.28	0.29	0.22	0.24	0.32	0.27

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
 ・令和7年4月学生募集停止（△45人）

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）  
 大学学部学科等名：帝京大学理工学部情報電子工学科

別紙2-8-3

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	10人	10人	13人	21人	25人	16人	
	延べ人数	志願者数	41人	48人	57人	109人	105人	72人
		受験者数	40人	47人	57人	105人	101人	70人
		合格者数	12人	19人	24人	40人	36人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	4人	0人	0人	1人
		辞退者数	4人	5人	9人	16人	12人	9人
	実人数	志願者数	23人	28人	35人	59人	55人	40人
		受験者数	23人	28人	35人	58人	53人	39人
		合格者数	12人	19人	24人	40人	36人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	4人	0人	0人	1人
		辞退者数	4人	5人	9人	16人	12人	9人
	入学者数	8人	14人	15人	24人	24人	17人	
	学校推薦型選抜	募集人数	11人	11人	13人	13人	9人	11人
		延べ人数	志願者数	11人	24人	18人	21人	13人
受験者数			11人	24人	18人	21人	13人	17人
合格者数			11人	20人	16人	18人	13人	16人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	0人	1人	3人	1人	1人
実人数		志願者数	11人	22人	16人	19人	13人	16人
		受験者数	11人	22人	16人	19人	13人	16人
		合格者数	11人	20人	16人	18人	13人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	3人	1人	1人
入学者数		10人	20人	15人	15人	12人	14人	
一般選抜		募集人数	42人	42人	51人	43人	43人	44人
		延べ人数	志願者数	395人	344人	375人	337人	246人
	受験者数		360人	315人	349人	302人	228人	311人
	合格者数		177人	190人	201人	190人	184人	188人
	うち追加合格者数		0人	0人	25人	0人	0人	5人
	辞退者数		130人	123人	142人	132人	122人	130人
	実人数	志願者数	316人	288人	312人	273人	206人	279人
		受験者数	288人	265人	294人	254人	194人	259人
		合格者数	177人	190人	201人	190人	184人	188人
		うち追加合格者数	0人	0人	25人	0人	0人	5人
		辞退者数	130人	123人	142人	132人	122人	130人
	入学者数	47人	67人	59人	58人	62人	59人	
	共通テスト利用入試	募集人数	7人	7人	8人	8人	8人	8人
		延べ人数	志願者数	234人	217人	175人	143人	142人
受験者数			232人	214人	172人	141人	142人	180人
合格者数			71人	77人	63人	54人	75人	68人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			67人	75人	55人	51人	65人	63人
実人数		志願者数	233人	213人	174人	142人	141人	181人
		受験者数	231人	210人	171人	140人	141人	179人
		合格者数	71人	76人	63人	54人	75人	68人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	67人	74人	55人	51人	65人	62人
入学者数		4人	2人	8人	3人	10人	5人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	31人	17人	19人	19人	22人
	受験者数		31人	17人	19人	19人	20人	21人
	合格者数		23人	13人	16人	15人	18人	17人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		4人	4人	6人	5人	7人	5人
	実人数	志願者数	31人	17人	19人	19人	22人	22人
		受験者数	31人	17人	19人	19人	20人	21人
		合格者数	23人	13人	16人	10人	18人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	4人	6人	0人	7人	4人
	入学者数	19人	9人	10人	10人	11人	12人	
	合計	募集人数	70人	70人	85人	85人	85人	79人
		延べ人数	志願者数	712人	650人	644人	629人	528人
受験者数			674人	617人	615人	588人	504人	600人
合格者数			294人	319人	320人	317人	326人	315人
うち追加合格者数			0人	0人	29人	0人	0人	6人
辞退者数			206人	207人	213人	207人	207人	208人
実人数		志願者数	614人	568人	556人	512人	437人	537人
		受験者数	584人	542人	535人	490人	421人	514人
		合格者数	294人	318人	320人	312人	326人	314人
		うち追加合格者数	0人	0人	29人	0人	0人	6人
		辞退者数	206人	206人	213人	202人	207人	207人
入学者数		88人	112人	107人	110人	119人	107人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	70人	70人	85人	85人	85人	79
入学定員充足率	1.26	1.60	1.26	1.29	1.40	1.36
歩留率	0.30	0.35	0.33	0.35	0.37	0.34

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

- ・令和4年度入学定員増（15人）
- ・令和7年4月学生募集停止（△85人）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	15人	15人	13人	21人	25人	18人	
	延べ人数	志願者数	20人	19人	21人	33人	34人	25人
		受験者数	20人	19人	21人	32人	34人	25人
		合格者数	12人	9人	15人	21人	20人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	5人	8人	11人	5人	7人
	実人数	志願者数	15人	12人	15人	23人	21人	17人
		受験者数	15人	12人	15人	22人	21人	17人
		合格者数	12人	9人	15人	21人	20人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	5人	8人	11人	5人	7人
	入学者数	5人	4人	7人	10人	15人	8人	
	学校推薦型選抜	募集人数	15人	15人	13人	13人	9人	13人
		延べ人数	志願者数	13人	9人	16人	18人	14人
受験者数			13人	9人	16人	18人	14人	14人
合格者数			11人	9人	14人	16人	13人	13人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			2人	0人	1人	0人	3人	1人
実人数		志願者数	12人	9人	14人	16人	14人	13人
		受験者数	12人	9人	14人	16人	14人	13人
		合格者数	11人	9人	14人	16人	13人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	1人	0人	3人	1人
入学者数		9人	9人	13人	16人	10人	11人	
一般選抜		募集人数	60人	60人	51人	43人	43人	51人
		延べ人数	志願者数	187人	176人	154人	167人	123人
	受験者数		176人	169人	148人	159人	118人	154人
	合格者数		120人	126人	120人	143人	101人	122人
	うち追加合格者数		0人	0人	2人	0人	0人	0人
	辞退者数		87人	102人	83人	100人	69人	88人
	実人数	志願者数	162人	149人	132人	153人	108人	141人
		受験者数	153人	144人	126人	146人	103人	134人
		合格者数	120人	126人	119人	142人	101人	122人
		うち追加合格者数	0人	0人	2人	0人	0人	0人
		辞退者数	87人	102人	82人	99人	69人	88人
	入学者数	33人	24人	37人	43人	32人	34人	
	共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	8人	8人	8人	9人
		延べ人数	志願者数	139人	91人	77人	87人	66人
受験者数			138人	90人	77人	86人	66人	91人
合格者数			58人	49人	32人	54人	36人	46人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			57人	46人	30人	51人	30人	43人
実人数		志願者数	138人	89人	77人	87人	66人	91人
		受験者数	137人	88人	77人	86人	66人	91人
		合格者数	58人	48人	32人	54人	36人	46人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	57人	45人	30人	51人	30人	43人
入学者数		1人	3人	2人	3人	6人	3人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	7人	8人	12人	11人	15人
	受験者数		7人	8人	12人	11人	12人	10人
	合格者数		6人	7人	11人	11人	12人	9人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		2人	1人	3人	5人	4人	3人
	実人数	志願者数	7人	8人	12人	11人	15人	11人
		受験者数	7人	8人	12人	11人	12人	10人
		合格者数	6人	7人	11人	11人	12人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	3人	5人	4人	3人
	入学者数	4人	6人	8人	6人	8人	6人	
	合計	募集人数	100人	100人	85人	85人	85人	91人
		延べ人数	志願者数	366人	303人	280人	316人	252人
受験者数			354人	295人	274人	306人	244人	295人
合格者数			207人	200人	192人	245人	182人	205人
うち追加合格者数			0人	0人	2人	0人	0人	0人
辞退者数			155人	154人	125人	167人	111人	142人
実人数		志願者数	334人	267人	250人	290人	224人	273人
		受験者数	324人	261人	244人	281人	216人	265人
		合格者数	207人	199人	191人	244人	182人	205人
		うち追加合格者数	0人	0人	2人	0人	0人	0人
		辞退者数	155人	153人	124人	166人	111人	142人
入学者数		52人	46人	67人	78人	71人	63人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	100人	100人	85人	85人	85人	91
入学定員充足率	0.52	0.46	0.79	0.92	0.84	0.70
歩留率	0.25	0.23	0.35	0.32	0.39	0.31

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

- ・令和4年度入学定員減（△15人）
- ・令和7年4月学生募集停止（△85人）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	25人	25人	25人	41人	45人	32人	
	延べ人数	志願者数	119人	126人	87人	100人	119人	110人
		受験者数	118人	126人	84人	99人	119人	109人
		合格者数	29人	34人	25人	46人	58人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	6人	6人	15人	13人	9人
	実人数	志願者数	56人	60人	45人	54人	66人	56人
		受験者数	56人	60人	43人	53人	66人	56人
		合格者数	29人	34人	25人	45人	58人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	6人	6人	14人	13人	9人
	入学者数	25人	28人	19人	31人	45人	30人	
	学校推薦型選抜	募集人数	30人	30人	30人	24人	20人	27人
延べ人数		志願者数	35人	51人	38人	22人	20人	33人
		受験者数	35人	51人	38人	22人	20人	33人
		合格者数	28人	35人	34人	21人	18人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	1人	1人	0人	1人
実人数		志願者数	35人	51人	38人	22人	20人	33人
		受験者数	35人	51人	38人	22人	20人	33人
		合格者数	28人	35人	34人	21人	18人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	1人	1人	0人	1人
入学者数		26人	34人	33人	20人	18人	26人	
一般選抜		募集人数	35人	35人	35人	30人	30人	33人
	延べ人数	志願者数	142人	99人	73人	72人	62人	90人
		受験者数	139人	96人	72人	71人	59人	87人
		合格者数	111人	69人	50人	61人	53人	69人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	67人	48人	31人	39人	47人	46人
	実人数	志願者数	117人	79人	56人	64人	58人	75人
		受験者数	114人	78人	55人	63人	55人	73人
		合格者数	107人	69人	50人	59人	53人	68人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	63人	48人	31人	37人	47人	45人
	入学者数	44人	21人	19人	22人	6人	22人	
	共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	10人	5人	5人	8人
延べ人数		志願者数	58人	30人	17人	15人	15人	27人
		受験者数	31人	14人	10人	8人	7人	14人
		合格者数	5人	4人	1人	3人	1人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	3人	1人	1人	1人	2人
実人数		志願者数	58人	30人	17人	15人	15人	27人
		受験者数	31人	14人	10人	8人	7人	14人
		合格者数	5人	4人	1人	3人	1人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	3人	1人	1人	1人	2人
入学者数		0人	1人	0人	2人	0人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	5人	4人	5人	4人	6人	5人
		受験者数	5人	4人	5人	4人	6人	5人
		合格者数	5人	4人	5人	4人	6人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	5人	4人	5人	4人	6人	5人
		受験者数	5人	4人	5人	4人	6人	5人
		合格者数	5人	4人	5人	4人	6人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	4人	4人	5人	4人	6人	5人	
	合計	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
延べ人数		志願者数	359人	310人	220人	213人	222人	265人
		受験者数	328人	291人	209人	204人	211人	249人
		合格者数	178人	146人	115人	135人	136人	142人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	79人	58人	39人	56人	61人	59人
実人数		志願者数	271人	224人	161人	159人	165人	196人
		受験者数	241人	207人	151人	150人	154人	181人
		合格者数	174人	146人	115人	132人	136人	141人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	75人	58人	39人	53人	61人	57人
入学者数		99人	88人	76人	79人	75人	83人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入学定員充足率	0.99	0.88	0.76	0.79	0.75	0.83
歩留率	0.56	0.60	0.66	0.59	0.55	0.59

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：帝京大学医療技術学部看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	33人	33人	33人	39人	42人	36人	
	延べ人数	志願者数	961人	908人	839人	938人	1280人	985人
		受験者数	950人	897人	834人	927人	1271人	976人
		合格者数	56人	66人	66人	80人	103人	74人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	28人	26人	30人	54人	31人
	実人数	志願者数	452人	438人	404人	441人	524人	452人
		受験者数	450人	434人	401人	435人	520人	448人
		合格者数	56人	66人	66人	80人	103人	74人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	28人	26人	30人	54人	31人
	入学者数	37人	38人	40人	50人	49人	43人	
	学校推薦型選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	17人	19人
		延べ人数	志願者数	159人	220人	178人	163人	241人
受験者数			150人	219人	177人	163人	239人	190人
合格者数			29人	32人	39人	56人	48人	41人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			11人	9人	12人	17人	25人	15人
実人数		志願者数	159人	220人	178人	163人	241人	192人
		受験者数	150人	219人	177人	163人	239人	190人
		合格者数	29人	32人	39人	56人	48人	41人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	11人	9人	12人	17人	25人	15人
入学者数		18人	23人	27人	39人	23人	26人	
一般選抜		募集人数	64人	64人	64人	63人	63人	64人
		延べ人数	志願者数	1159人	957人	1058人	877人	675人
	受験者数		1087人	901人	973人	814人	619人	879人
	合格者数		134人	199人	189人	143人	171人	167人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	22人	4人
	辞退者数		84人	145人	104人	99人	118人	110人
	実人数	志願者数	593人	531人	571人	473人	402人	514人
		受験者数	572人	512人	535人	451人	377人	489人
		合格者数	133人	194人	189人	143人	171人	166人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	22人	4人
		辞退者数	83人	140人	104人	99人	118人	109人
	入学者数	50人	54人	85人	44人	53人	57人	
	共通テスト利用入試	募集人数	13人	13人	13人	8人	8人	11人
		延べ人数	志願者数	231人	218人	200人	189人	131人
受験者数			194人	177人	169人	155人	103人	160人
合格者数			24人	36人	23人	14人	10人	21人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			22人	33人	22人	11人	10人	20人
実人数		志願者数	231人	218人	200人	189人	131人	194人
		受験者数	194人	177人	169人	155人	103人	160人
		合格者数	24人	36人	23人	14人	10人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	22人	33人	22人	11人	10人	20人
入学者数		2人	3人	1人	3人	0人	2人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	7人	5人	7人	7人	6人
	受験者数		7人	5人	7人	7人	6人	6人
	合格者数		7人	5人	7人	7人	6人	6人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	7人	5人	7人	7人	6人	6人
		受験者数	7人	5人	7人	7人	6人	6人
		合格者数	7人	5人	7人	7人	6人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	6人	5人	7人	7人	6人	6人	
	合計	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
		延べ人数	志願者数	2517人	2308人	2282人	2174人	2333人
受験者数			2388人	2199人	2160人	2066人	2238人	2210人
合格者数			250人	338人	324人	300人	338人	310人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	22人	4人
辞退者数			137人	215人	164人	157人	207人	176人
実人数		志願者数	1442人	1412人	1360人	1273人	1304人	1358人
		受験者数	1373人	1347人	1289人	1211人	1245人	1293人
		合格者数	249人	333人	324人	300人	338人	309人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	22人	4人
		辞退者数	136人	210人	164人	157人	207人	175人
入学者数		113人	123人	160人	143人	131人	134人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	130人	130人	130人	130人	130人	130
入学定員充足率	0.87	0.95	1.23	1.10	1.01	1.03
歩留率	0.45	0.36	0.49	0.48	0.39	0.43

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	25人	25人	25人	30人	33人	28人	
	延べ人数	志願者数	608人	473人	526人	624人	739人	594人
		受験者数	601人	472人	522人	613人	725人	587人
		合格者数	34人	40人	46人	69人	75人	53人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	12人	17人	23人	22人	17人
	実人数	志願者数	270人	219人	246人	279人	288人	260人
		受験者数	267人	219人	244人	275人	284人	258人
		合格者数	34人	40人	46人	69人	75人	53人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	12人	17人	23人	22人	17人
	入学者数	24人	28人	29人	46人	53人	36人	
	学校推薦型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	12人	14人
延べ人数		志願者数	77人	137人	102人	105人	125人	109人
		受験者数	76人	137人	102人	103人	125人	109人
		合格者数	19人	21人	24人	36人	27人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	5人	7人	5人	7人	6人
実人数		志願者数	77人	137人	102人	105人	125人	109人
		受験者数	76人	137人	102人	103人	125人	109人
		合格者数	19人	21人	24人	36人	27人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	5人	7人	5人	7人	6人
入学者数		15人	16人	17人	31人	20人	20人	
一般選抜		募集人数	50人	50人	50人	47人	47人	49人
	延べ人数	志願者数	994人	875人	919人	759人	458人	801人
		受験者数	944人	843人	883人	715人	435人	764人
		合格者数	123人	132人	144人	93人	72人	113人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	15人	0人	3人
		辞退者数	62人	83人	75人	57人	43人	64人
	実人数	志願者数	496人	446人	436人	357人	272人	401人
		受験者数	482人	436人	426人	346人	261人	390人
		合格者数	122人	129人	144人	92人	72人	112人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	14人	0人	3人
		辞退者数	61人	80人	75人	56人	43人	63人
	入学者数	61人	49人	69人	36人	29人	49人	
	共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	10人	8人	8人	9人
延べ人数		志願者数	250人	186人	167人	171人	98人	174人
		受験者数	220人	167人	144人	145人	84人	152人
		合格者数	10人	13人	6人	8人	5人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	8人	5人	6人	4人	6人
実人数		志願者数	250人	186人	167人	171人	98人	174人
		受験者数	220人	167人	144人	145人	84人	152人
		合格者数	10人	13人	6人	8人	5人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	8人	5人	6人	4人	6人
入学者数		2人	5人	1人	2人	1人	2人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	5人	5人	6人	3人	6人	5人
		受験者数	5人	5人	6人	3人	6人	5人
		合格者数	5人	5人	6人	3人	6人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	0人	1人	1人
	実人数	志願者数	5人	5人	6人	3人	6人	5人
		受験者数	5人	5人	6人	3人	6人	5人
		合格者数	5人	5人	6人	3人	6人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	0人	1人	1人
	入学者数	5人	4人	5人	3人	5人	4人	
	合計	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
延べ人数		志願者数	1934人	1676人	1720人	1662人	1426人	1684人
		受験者数	1846人	1624人	1657人	1579人	1375人	1616人
		合格者数	191人	211人	226人	209人	185人	204人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	15人	0人	3人
		辞退者数	84人	109人	105人	91人	77人	93人
実人数		志願者数	1098人	993人	957人	915人	789人	950人
		受験者数	1050人	964人	922人	872人	760人	914人
		合格者数	190人	208人	226人	208人	185人	203人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	14人	0人	3人
		辞退者数	83人	106人	105人	90人	77人	92人
入学者数		107人	102人	121人	118人	108人	111人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入学定員充足率	1.07	1.02	1.21	1.18	1.08	1.11
歩留率	0.56	0.48	0.54	0.56	0.58	0.55

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：帝京大学医療技術学部臨床検査学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	25人	25人	25人	30人	33人	28人	
	延べ人数	志願者数	383人	256人	308人	314人	369人	326人
		受験者数	377人	253人	306人	311人	365人	322人
		合格者数	29人	39人	47人	75人	78人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	13人	14人	21人	31人	27人	21人
	実人数	志願者数	190人	120人	151人	163人	163人	157人
		受験者数	188人	120人	150人	160人	162人	156人
		合格者数	29人	39人	47人	75人	78人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	13人	14人	21人	31人	27人	21人
	入学者数	16人	25人	26人	44人	51人	32人	
	学校推薦型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	12人	14人
		延べ人数	志願者数	68人	59人	74人	48人	59人
受験者数			62人	59人	73人	46人	57人	59人
合格者数			14人	24人	32人	26人	30人	25人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			4人	7人	14人	5人	8人	8人
実人数		志願者数	68人	59人	74人	48人	59人	62人
		受験者数	62人	59人	73人	46人	57人	59人
		合格者数	14人	24人	32人	26人	30人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	7人	14人	5人	8人	8人
入学者数		10人	17人	18人	21人	22人	18人	
一般選抜		募集人数	50人	50人	50人	47人	47人	49人
		延べ人数	志願者数	637人	407人	453人	364人	234人
	受験者数		604人	392人	414人	344人	226人	396人
	合格者数		154人	147人	205人	144人	113人	153人
	うち追加合格者数		0人	0人	46人	17人	0人	13人
	辞退者数		98人	100人	140人	86人	58人	96人
	実人数	志願者数	353人	266人	295人	234人	179人	265人
		受験者数	344人	256人	270人	227人	175人	254人
		合格者数	154人	147人	196人	142人	113人	150人
		うち追加合格者数	0人	0人	46人	16人	0人	12人
		辞退者数	98人	100人	131人	84人	58人	94人
	入学者数	56人	47人	65人	58人	55人	56人	
	共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	10人	8人	8人	9人
		延べ人数	志願者数	196人	125人	119人	90人	65人
受験者数			167人	85人	97人	73人	52人	95人
合格者数			7人	19人	3人	3人	5人	7人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			7人	14人	3人	2人	3人	6人
実人数		志願者数	196人	125人	119人	90人	65人	119人
		受験者数	167人	85人	97人	73人	52人	95人
		合格者数	7人	19人	3人	3人	5人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	14人	3人	2人	3人	6人
入学者数		0人	5人	0人	1人	2人	2人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	5人	4人	5人	5人	1人
	受験者数		5人	4人	5人	5人	1人	4人
	合格者数		5人	4人	5人	5人	1人	4人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		1人	1人	1人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	5人	4人	5人	5人	1人	4人
		受験者数	5人	4人	5人	5人	1人	4人
		合格者数	5人	4人	5人	5人	1人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	0人	0人	1人
	入学者数	4人	3人	4人	5人	1人	3人	
	合計	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
		延べ人数	志願者数	1289人	851人	959人	821人	728人
受験者数			1215人	793人	895人	779人	701人	877人
合格者数			209人	233人	292人	253人	227人	243人
うち追加合格者数			0人	0人	46人	17人	0人	13人
辞退者数			123人	136人	179人	124人	96人	132人
実人数		志願者数	812人	574人	644人	540人	467人	607人
		受験者数	766人	524人	595人	511人	447人	569人
		合格者数	209人	233人	283人	251人	227人	241人
		うち追加合格者数	0人	0人	46人	16人	0人	12人
		辞退者数	123人	136人	170人	122人	96人	129人
入学者数		86人	97人	113人	129人	131人	111人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入学定員充足率	0.86	0.97	1.13	1.29	1.31	1.11
歩留率	0.41	0.42	0.39	0.51	0.58	0.46

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	77人	77人	77人	104人	112人	89人	
	延べ人数	志願者数	619人	744人	603人	740人	770人	695人
		受験者数	614人	728人	597人	734人	762人	687人
		合格者数	82人	100人	122人	161人	211人	135人
		うち追加合格者数	0人	0人	12人	1人	3人	3人
		辞退者数	14人	12人	39人	40人	78人	37人
	実人数	志願者数	306人	344人	310人	371人	361人	338人
		受験者数	303人	341人	308人	368人	357人	335人
		合格者数	82人	100人	121人	159人	211人	135人
		うち追加合格者数	0人	0人	12人	1人	3人	3人
		辞退者数	14人	12人	38人	38人	78人	36人
	入学者数	68人	88人	83人	121人	133人	99人	
	学校推薦型選抜	募集人数	159人	159人	159人	158人	150人	157人
		延べ人数	志願者数	211人	256人	213人	226人	111人
受験者数			204人	255人	209人	226人	109人	201人
合格者数			153人	160人	183人	188人	88人	154人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			6人	8人	5人	8人	14人	8人
実人数		志願者数	211人	255人	213人	226人	111人	203人
		受験者数	204人	254人	209人	226人	109人	200人
		合格者数	153人	159人	183人	188人	88人	154人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	7人	5人	8人	14人	8人
入学者数		147人	152人	178人	180人	74人	146人	
一般選抜		募集人数	125人	125人	125人	113人	113人	120人
		延べ人数	志願者数	677人	608人	426人	354人	243人
	受験者数		647人	575人	401人	334人	233人	438人
	合格者数		328人	305人	225人	209人	159人	245人
	うち追加合格者数		0人	0人	17人	15人	0人	6人
	辞退者数		184人	191人	149人	150人	107人	156人
	実人数	志願者数	442人	392人	298人	252人	188人	314人
		受験者数	425人	376人	283人	243人	183人	302人
		合格者数	323人	299人	222人	206人	159人	242人
		うち追加合格者数	0人	0人	17人	15人	0人	6人
		辞退者数	179人	185人	146人	147人	107人	153人
	入学者数	144人	114人	76人	59人	52人	89人	
	共通テスト利用入試	募集人数	29人	29人	29人	15人	15人	23人
		延べ人数	志願者数	249人	186人	160人	99人	68人
受験者数			182人	138人	111人	70人	53人	111人
合格者数			27人	20人	14人	5人	4人	14人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			20人	16人	13人	4人	4人	11人
実人数		志願者数	245人	182人	158人	98人	67人	150人
		受験者数	181人	134人	109人	69人	52人	109人
		合格者数	27人	20人	13人	5人	4人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	20人	16人	12人	4人	4人	11人
入学者数		7人	4人	1人	1人	0人	3人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	18人	22人	26人	29人	145人
	受験者数		18人	22人	26人	29人	145人	48人
	合格者数		18人	22人	26人	29人	144人	48人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	2人	2人	1人	3人	2人
	実人数	志願者数	18人	21人	26人	29人	144人	48人
		受験者数	18人	21人	26人	29人	144人	48人
		合格者数	18人	21人	24人	29人	144人	47人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	3人	1人
	入学者数	18人	20人	24人	28人	141人	46人	
	合計	募集人数	390人	390人	390人	390人	390人	390人
		延べ人数	志願者数	1774人	1816人	1428人	1448人	1337人
受験者数			1665人	1718人	1344人	1393人	1302人	1484人
合格者数			608人	607人	570人	592人	606人	597人
うち追加合格者数			0人	0人	29人	16人	3人	10人
辞退者数			224人	229人	208人	203人	206人	214人
実人数		志願者数	1222人	1194人	1005人	976人	871人	1054人
		受験者数	1131人	1126人	935人	935人	845人	994人
		合格者数	603人	599人	563人	587人	606人	592人
		うち追加合格者数	0人	0人	29人	16人	3人	10人
		辞退者数	219人	221人	201人	198人	206人	209人
入学者数		384人	378人	362人	389人	400人	383人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	390人	390人	390人	390人	390人	390
入学定員充足率	0.98	0.97	0.93	1.00	1.03	0.98
歩留率	0.63	0.62	0.64	0.66	0.66	0.64

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：帝京大学医療技術学部柔道整復学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	24人	24人	24人	24人	27人	25人	
	延べ人数	志願者数	25人	49人	41人	65人	61人	48人
		受験者数	25人	49人	41人	65人	61人	48人
		合格者数	13人	13人	16人	35人	30人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	4人	2人	6人	6人	4人
	実人数	志願者数	15人	25人	25人	40人	32人	27人
		受験者数	15人	25人	25人	40人	32人	27人
		合格者数	13人	13人	16人	35人	30人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	4人	2人	6人	6人	4人
	入学者数	12人	9人	14人	29人	24人	18人	
	学校推薦型選抜	募集人数	35人	35人	35人	35人	32人	34人
延べ人数		志願者数	40人	54人	45人	51人	41人	46人
		受験者数	40人	54人	45人	51人	41人	46人
		合格者数	39人	49人	40人	51人	40人	44人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	2人	5人	2人	0人	3人
実人数		志願者数	40人	54人	45人	51人	41人	46人
		受験者数	40人	54人	45人	51人	41人	46人
		合格者数	39人	49人	40人	51人	40人	44人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	2人	5人	2人	0人	3人
入学者数		35人	47人	35人	49人	40人	41人	
一般選抜		募集人数	26人	26人	26人	26人	26人	26人
	延べ人数	志願者数	40人	38人	30人	34人	10人	30人
		受験者数	40人	36人	30人	33人	10人	30人
		合格者数	34人	26人	16人	20人	9人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	20人	15人	11人	15人	6人	13人
	実人数	志願者数	34人	29人	21人	20人	9人	23人
		受験者数	34人	28人	21人	20人	9人	22人
		合格者数	34人	26人	16人	20人	9人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	20人	15人	11人	15人	6人	13人
	入学者数	14人	11人	5人	5人	3人	8人	
	共通テスト利用入試	募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5人
延べ人数		志願者数	10人	7人	7人	10人	3人	7人
		受験者数	6人	4人	6人	7人	2人	5人
		合格者数	1人	0人	1人	2人	1人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	2人	0人	1人
実人数		志願者数	10人	7人	7人	10人	3人	7人
		受験者数	6人	4人	6人	7人	2人	5人
		合格者数	1人	0人	1人	2人	1人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	2人	0人	1人
入学者数		0人	0人	0人	0人	1人	0人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	1人	3人	1人	0人	2人	1人
		受験者数	1人	3人	1人	0人	2人	1人
		合格者数	1人	3人	1人	0人	2人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	1人	3人	1人	0人	2人	1人
		受験者数	1人	3人	1人	0人	2人	1人
		合格者数	1人	3人	1人	0人	2人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	1人	2人	1人	0人	2人	1人	
	合計	募集人数	90人	90人	90人	90人	90人	90人
延べ人数		志願者数	116人	151人	124人	160人	117人	134人
		受験者数	112人	146人	123人	156人	116人	131人
		合格者数	88人	91人	74人	108人	82人	89人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	26人	22人	19人	25人	12人	21人
実人数		志願者数	100人	118人	99人	121人	87人	105人
		受験者数	96人	114人	98人	118人	86人	102人
		合格者数	88人	91人	74人	108人	82人	89人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	26人	22人	19人	25人	12人	21人
入学者数		62人	69人	55人	83人	70人	68人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	90人	90人	90人	90人	90人	90
入学定員充足率	0.69	0.77	0.61	0.92	0.78	0.75
歩留率	0.70	0.76	0.74	0.77	0.85	0.77

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：帝京大学福岡医療技術学部理学療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	22人	20人	
	延べ人数	志願者数	39人	40人	40人	46人	24人	38人
		受験者数	39人	40人	38人	46人	22人	37人
		合格者数	17人	16人	12人	26人	12人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	2人	5人	0人	2人
	実人数	志願者数	23人	24人	22人	27人	14人	22人
		受験者数	23人	24人	21人	27人	13人	22人
		合格者数	17人	16人	12人	26人	12人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	2人	5人	0人	2人
	入学者数	15人	15人	10人	21人	12人	15人	
	学校推薦型選抜	募集人数	24人	24人	24人	24人	22人	24人
		延べ人数	志願者数	39人	54人	44人	27人	21人
受験者数			39人	53人	44人	27人	21人	37人
合格者数			38人	48人	41人	26人	20人	35人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			2人	2人	2人	1人	1人	2人
実人数		志願者数	39人	53人	44人	27人	21人	37人
		受験者数	39人	53人	44人	27人	21人	37人
		合格者数	38人	48人	41人	26人	20人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	2人	1人	1人	2人
入学者数		36人	46人	39人	25人	19人	33人	
一般選抜		募集人数	28人	28人	28人	28人	28人	28人
		延べ人数	志願者数	63人	58人	52人	46人	22人
	受験者数		62人	57人	50人	46人	21人	47人
	合格者数		44人	44人	41人	33人	16人	36人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		23人	33人	27人	21人	12人	23人
	実人数	志願者数	50人	49人	44人	35人	19人	39人
		受験者数	49人	48人	43人	35人	19人	39人
		合格者数	44人	44人	41人	33人	16人	36人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	23人	33人	27人	21人	12人	23人
	入学者数	21人	11人	14人	12人	4人	12人	
	共通テスト利用入試	募集人数	8人	8人	8人	8人	8人	8人
		延べ人数	志願者数	27人	13人	15人	7人	4人
受験者数			13人	8人	5人	3人	2人	6人
合格者数			6人	3人	1人	1人	1人	2人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			6人	2人	1人	1人	1人	2人
実人数		志願者数	27人	13人	15人	7人	4人	13人
		受験者数	13人	8人	5人	3人	2人	6人
		合格者数	6人	3人	1人	1人	1人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	2人	1人	1人	1人	2人
入学者数		0人	1人	0人	0人	0人	0人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	2人	0人	0人
	受験者数		0人	0人	2人	0人	0人	0人
	合格者数		0人	0人	2人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	2人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	2人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	2人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	2人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	80人	80人	80人	80人	80人	80人
		延べ人数	志願者数	168人	165人	153人	126人	71人
受験者数			153人	158人	139人	122人	66人	128人
合格者数			105人	111人	97人	86人	49人	90人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			33人	38人	32人	28人	14人	29人
実人数		志願者数	139人	139人	127人	96人	58人	112人
		受験者数	124人	133人	115人	92人	55人	104人
		合格者数	105人	111人	97人	86人	49人	90人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	33人	38人	32人	28人	14人	29人
入学者数		72人	73人	65人	58人	35人	61人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80
入学定員充足率	0.90	0.91	0.81	0.73	0.44	0.76
歩留率	0.69	0.66	0.67	0.67	0.71	0.68

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	12人	10人	
	延べ人数	志願者数	15人	5人	10人	9人	12人	10人
		受験者数	14人	5人	10人	9人	12人	10人
		合格者数	7人	0人	3人	4人	5人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	0人	0人	2人	4人	2人
	実人数	志願者数	8人	2人	7人	5人	6人	6人
		受験者数	7人	2人	7人	5人	6人	5人
		合格者数	7人	0人	3人	4人	5人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	0人	0人	2人	4人	2人
	入学者数	4人	0人	3人	2人	1人	2人	
	学校推薦型選抜	募集人数	14人	14人	14人	14人	12人	14人
		延べ人数	志願者数	11人	15人	17人	9人	7人
受験者数			11人	15人	17人	9人	7人	12人
合格者数			10人	15人	16人	8人	7人	11人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	0人	2人	0人	0人	1人
実人数		志願者数	11人	15人	17人	9人	7人	12人
		受験者数	11人	15人	17人	9人	7人	12人
		合格者数	10人	15人	16人	8人	7人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	0人	0人	1人
入学者数		9人	15人	14人	8人	7人	11人	
一般選抜		募集人数	12人	12人	12人	12人	12人	12人
		延べ人数	志願者数	11人	18人	13人	12人	6人
	受験者数		11人	18人	13人	12人	6人	12人
	合格者数		11人	9人	10人	8人	4人	8人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		8人	6人	7人	7人	3人	6人
	実人数	志願者数	11人	10人	11人	8人	5人	9人
		受験者数	11人	10人	11人	8人	5人	9人
		合格者数	11人	9人	10人	8人	4人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	6人	7人	7人	3人	6人
	入学者数	3人	3人	3人	1人	1人	2人	
	共通テスト利用入試	募集人数	4人	4人	4人	4人	4人	4人
		延べ人数	志願者数	8人	5人	4人	3人	1人
受験者数			4人	3人	1人	1人	0人	2人
合格者数			4人	1人	0人	0人	0人	1人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			4人	1人	0人	0人	1人	1人
実人数		志願者数	8人	5人	4人	3人	1人	4人
		受験者数	4人	3人	1人	1人	0人	2人
		合格者数	4人	1人	0人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	1人	0人	0人	0人	1人
入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人
		延べ人数	志願者数	45人	43人	44人	33人	26人
受験者数			40人	41人	41人	31人	25人	36人
合格者数			32人	25人	29人	20人	16人	24人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			16人	7人	9人	9人	7人	10人
実人数		志願者数	38人	32人	39人	25人	19人	31人
		受験者数	33人	30人	36人	23人	18人	28人
		合格者数	32人	25人	29人	20人	16人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	16人	7人	9人	9人	7人	10人
入学者数		16人	18人	20人	11人	9人	15人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40
入学定員充足率	0.40	0.45	0.50	0.28	0.23	0.37
歩留率	0.50	0.72	0.69	0.55	0.56	0.60

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	24人	24人	24人	20人	22人	23人	
	延べ人数	志願者数	121人	91人	50人	65人	55人	76人
		受験者数	121人	91人	50人	64人	55人	76人
		合格者数	29人	25人	23人	29人	26人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	7人	7人	8人	7人	7人
	実人数	志願者数	66人	45人	28人	41人	31人	42人
		受験者数	66人	45人	28人	40人	31人	42人
		合格者数	29人	25人	23人	28人	26人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	7人	7人	7人	7人	7人
	入学者数	21人	18人	16人	21人	19人	19人	
	学校推薦型選抜	募集人数	12人	12人	12人	20人	18人	15人
		延べ人数	志願者数	32人	45人	29人	37人	27人
受験者数			32人	45人	28人	36人	27人	34人
合格者数			24人	25人	21人	29人	25人	25人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			5人	4人	2人	5人	2人	4人
実人数		志願者数	32人	45人	29人	37人	27人	34人
		受験者数	32人	45人	28人	36人	27人	34人
		合格者数	24人	25人	21人	29人	25人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	4人	2人	5人	2人	4人
入学者数		19人	21人	19人	24人	23人	21人	
一般選抜		募集人数	36人	36人	36人	32人	32人	34人
		延べ人数	志願者数	135人	126人	129人	87人	51人
	受験者数		132人	117人	122人	85人	48人	101人
	合格者数		89人	85人	90人	59人	40人	73人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		55人	61人	68人	42人	33人	52人
	実人数	志願者数	102人	102人	103人	67人	44人	84人
		受験者数	99人	96人	101人	67人	43人	81人
		合格者数	88人	85人	89人	59人	40人	72人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	54人	61人	67人	42人	33人	51人
	入学者数	34人	24人	22人	17人	7人	21人	
	共通テスト利用入試	募集人数	8人	8人	8人	8人	8人	8人
		延べ人数	志願者数	23人	20人	22人	20人	6人
受験者数			15人	13人	12人	9人	4人	11人
合格者数			2人	9人	3人	2人	1人	3人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			2人	8人	3人	2人	1人	3人
実人数		志願者数	23人	20人	22人	20人	6人	18人
		受験者数	15人	13人	12人	9人	4人	11人
		合格者数	2人	9人	3人	2人	1人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	8人	3人	2人	1人	3人
入学者数		0人	1人	0人	0人	0人	0人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	80人	80人	80人	80人	80人	80人
		延べ人数	志願者数	311人	282人	230人	209人	139人
受験者数			300人	266人	212人	194人	134人	221人
合格者数			144人	144人	137人	119人	92人	127人
うち追加合格者数			0人	0人	1人	0人	0人	0人
辞退者数			70人	80人	80人	57人	43人	66人
実人数		志願者数	223人	212人	182人	165人	108人	178人
		受験者数	212人	199人	169人	152人	105人	167人
		合格者数	143人	144人	136人	118人	92人	127人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	69人	80人	79人	56人	43人	65人
入学者数		74人	64人	57人	62人	49人	61人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80
入学定員充足率	0.93	0.80	0.71	0.78	0.61	0.77
歩留率	0.51	0.44	0.42	0.52	0.53	0.49

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	16人	15人	
	延べ人数	志願者数	139人	142人	133人	188人	127人	146人
		受験者数	139人	142人	131人	185人	127人	145人
		合格者数	24人	18人	18人	27人	29人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	1人	1人	3人	2人
	実人数	志願者数	67人	66人	68人	83人	53人	67人
		受験者数	67人	66人	67人	82人	53人	67人
		合格者数	24人	18人	18人	27人	29人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	1人	1人	3人	2人
	入学者数	22人	17人	17人	26人	26人	22人	
学校推薦型選抜	募集人数	9人	9人	9人	9人	8人	9人	
	延べ人数	志願者数	31人	56人	36人	47人	27人	39人
		受験者数	31人	56人	36人	47人	27人	39人
		合格者数	20人	13人	14人	15人	15人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	3人	1人
	実人数	志願者数	31人	56人	36人	47人	27人	39人
		受験者数	31人	56人	36人	47人	27人	39人
		合格者数	20人	13人	14人	15人	15人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	3人	1人
	入学者数	20人	12人	14人	14人	12人	14人	
一般選抜	募集人数	30人	30人	30人	30人	30人	30人	
	延べ人数	志願者数	172人	214人	211人	193人	105人	179人
		受験者数	165人	210人	197人	181人	101人	171人
		合格者数	62人	52人	66人	78人	54人	62人
		うち追加合格者数	0人	0人	10人	13人	0人	5人
		辞退者数	22人	24人	29人	35人	28人	28人
	実人数	志願者数	103人	124人	120人	107人	70人	105人
		受験者数	99人	121人	115人	101人	68人	101人
		合格者数	62人	52人	62人	77人	54人	61人
		うち追加合格者数	0人	0人	10人	13人	0人	5人
		辞退者数	22人	24人	25人	34人	28人	27人
	入学者数	40人	28人	37人	43人	26人	35人	
共通テスト利用入試	募集人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人	
	延べ人数	志願者数	44人	60人	60人	42人	27人	47人
		受験者数	28人	49人	50人	23人	22人	34人
		合格者数	7人	13人	16人	7人	8人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	10人	5人	6人	7人	6人
	実人数	志願者数	44人	60人	60人	42人	27人	47人
		受験者数	28人	49人	50人	23人	22人	34人
		合格者数	7人	13人	16人	7人	8人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	10人	5人	6人	7人	6人
	入学者数	3人	3人	11人	1人	1人	4人	
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数	志願者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人	
合計	募集人数	60人	60人	60人	60人	60人	60人	
	延べ人数	志願者数	386人	473人	440人	470人	286人	411人
		受験者数	363人	458人	414人	436人	277人	390人
		合格者数	113人	97人	114人	127人	106人	111人
		うち追加合格者数	0人	0人	10人	13人	0人	5人
		辞退者数	28人	36人	35人	43人	41人	37人
	実人数	志願者数	245人	307人	284人	279人	177人	258人
		受験者数	225人	293人	268人	253人	170人	242人
		合格者数	113人	97人	110人	126人	106人	110人
		うち追加合格者数	0人	0人	10人	13人	0人	5人
		辞退者数	28人	36人	31人	42人	41人	36人
	入学者数	85人	61人	79人	84人	65人	75人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60
入学定員充足率	1.42	1.02	1.32	1.40	1.08	1.25
歩留率	0.75	0.63	0.69	0.66	0.61	0.67

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	22人	20人	
	延べ人数	志願者数	90人	51人	81人	92人	71人	77人
		受験者数	90人	50人	80人	88人	70人	76人
		合格者数	24人	19人	25人	30人	25人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	1人	7人	6人	5人	5人
	実人数	志願者数	44人	28人	49人	48人	36人	41人
		受験者数	44人	27人	48人	47人	36人	40人
		合格者数	24人	19人	25人	30人	25人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	1人	7人	6人	5人	5人
	入学者数	20人	18人	18人	24人	20人	20人	
	学校推薦型選抜	募集人数	24人	24人	24人	24人	22人	24人
		延べ人数	志願者数	61人	47人	62人	54人	37人
受験者数			61人	47人	61人	54人	37人	52人
合格者数			51人	41人	54人	45人	33人	45人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	2人	4人	2人	0人	2人
実人数		志願者数	61人	47人	62人	54人	37人	52人
		受験者数	61人	47人	61人	54人	37人	52人
		合格者数	51人	41人	54人	45人	33人	45人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	4人	2人	0人	2人
入学者数		51人	39人	50人	43人	33人	43人	
一般選抜		募集人数	28人	28人	28人	28人	28人	28人
		延べ人数	志願者数	74人	84人	72人	39人	30人
	受験者数		72人	81人	66人	38人	30人	57人
	合格者数		46人	48人	25人	25人	22人	33人
	うち追加合格者数		0人	0人	5人	0人	0人	1人
	辞退者数		27人	23人	10人	12人	10人	16人
	実人数	志願者数	53人	58人	41人	28人	22人	40人
		受験者数	51人	56人	39人	27人	22人	39人
		合格者数	46人	47人	24人	25人	22人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	5人	0人	0人	1人
		辞退者数	27人	22人	9人	12人	10人	16人
	入学者数	19人	25人	15人	13人	12人	17人	
	共通テスト利用入試	募集人数	8人	8人	8人	8人	8人	8人
		延べ人数	志願者数	23人	17人	20人	6人	6人
受験者数			14人	7人	15人	2人	3人	8人
合格者数			3人	2人	6人	1人	0人	2人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	2人	4人	1人	0人	2人
実人数		志願者数	23人	17人	20人	6人	6人	14人
		受験者数	14人	7人	15人	2人	3人	8人
		合格者数	3人	2人	6人	1人	0人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	4人	1人	0人	2人
入学者数		2人	0人	2人	0人	0人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	1人	1人	0人	0人	0人
	受験者数		1人	1人	0人	0人	0人	0人
	合格者数		1人	1人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	80人	80人	80人	80人	80人	80人
		延べ人数	志願者数	249人	200人	235人	191人	144人
受験者数			238人	186人	222人	182人	140人	194人
合格者数			125人	111人	110人	101人	80人	105人
うち追加合格者数			0人	0人	5人	0人	0人	1人
辞退者数			33人	28人	25人	21人	15人	24人
実人数		志願者数	182人	151人	172人	136人	101人	148人
		受験者数	171人	138人	163人	130人	98人	140人
		合格者数	125人	110人	109人	101人	80人	105人
		うち追加合格者数	0人	0人	5人	0人	0人	1人
		辞退者数	33人	27人	24人	21人	15人	24人
入学者数		92人	83人	85人	80人	65人	81人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80
入学定員充足率	1.15	1.04	1.06	1.00	0.81	1.01
歩留率	0.74	0.75	0.77	0.79	0.81	0.77

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	-	-	-	-	-	-	
	延べ人数	志願者数	-	-	-	-	-	-
		受験者数	-	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-	-
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
		辞退者数	-	-	-	-	-	-
	実人数	志願者数	-	-	-	-	-	-
		受験者数	-	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-	-
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
		辞退者数	-	-	-	-	-	-
	入学者数	-	-	-	-	-	-	
	学校推薦型選抜	募集人数	-	-	-	-	-	-
延べ人数		志願者数	-	-	-	-	-	-
		受験者数	-	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-	-
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
		辞退者数	-	-	-	-	-	-
実人数		志願者数	-	-	-	-	-	-
		受験者数	-	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-	-
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
		辞退者数	-	-	-	-	-	-
入学者数		-	-	-	-	-	-	
一般選抜		募集人数	-	-	-	-	-	-
	延べ人数	志願者数	-	-	-	-	-	-
		受験者数	-	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-	-
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
		辞退者数	-	-	-	-	-	-
	実人数	志願者数	-	-	-	-	-	-
		受験者数	-	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-	-
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
		辞退者数	-	-	-	-	-	-
	入学者数	-	-	-	-	-	-	
	共通テスト利用入試	募集人数	-	-	-	-	-	-
延べ人数		志願者数	-	-	-	-	-	-
		受験者数	-	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-	-
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
		辞退者数	-	-	-	-	-	-
実人数		志願者数	-	-	-	-	-	-
		受験者数	-	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-	-
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	-
		辞退者数	-	-	-	-	-	-
入学者数		-	-	-	-	-	-	
その他の特別選抜		募集人数	200人	200人	200人	200人	200人	200人
	延べ人数	志願者数	121人	162人	163人	162人	141人	150人
		受験者数	121人	162人	163人	162人	141人	150人
		合格者数	120人	162人	163人	162人	141人	150人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	0人	3人	4人	2人
	実人数	志願者数	121人	162人	163人	162人	141人	150人
		受験者数	121人	162人	163人	162人	141人	150人
		合格者数	120人	162人	163人	162人	141人	150人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	0人	3人	4人	2人
	入学者数	120人	160人	163人	159人	137人	148人	
	合計	募集人数	200人	200人	200人	200人	200人	200人
延べ人数		志願者数	121人	162人	163人	162人	141人	150人
		受験者数	121人	162人	163人	162人	141人	150人
		合格者数	120人	162人	163人	162人	141人	150人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	0人	3人	4人	2人
実人数		志願者数	121人	162人	163人	162人	141人	150人
		受験者数	121人	162人	163人	162人	141人	150人
		合格者数	120人	162人	163人	162人	141人	150人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	0人	3人	4人	2人
入学者数		120人	160人	163人	159人	137人	148人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	200人	200人	200人	200人	200人	200
入学定員充足率	0.60	0.80	0.82	0.80	0.69	0.74
歩留率	1.00	0.99	1.00	0.98	0.97	0.99

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

## 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙3

### ①募集を行った学科等名称及び取組の名称：医学部オープンキャンパス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	140人	613人	①取組概要 2025（令和7）年度入試に向け板橋キャンパス（医療系）オープンキャンパスを5日間開催している。 ②医学部対象とした開催日数を2日に増やしている。 ③帝京大学板橋キャンパス（医学部を含む）の情報をWEBオープンキャンパスとして特設サイトを設け、入試情報をまとめて紹介し「医学部長講演」や「学科説明」を動画視聴できるようにしている。
うち受験対象者数(b)	83人	285人	
うち受験者数(c)	41人	152人	
うち入学者数(d)	8人	10人	
(受験率 c/b)	49%	53%	
(入学率 d/b)	10%	4%	

### ②募集を行った学科等名称及び取組の名称：大学案内(資料請求)の配付(郵送)

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	3032人	3000人	①取組概要 大学案内をスムーズに請求できるよう、WebページやSNSを通じた広報活動を行っている。 ②資料請求者30%以上が志願につながっており、他の広報活動と合わせ入学者獲得に寄与している。
うち受験対象者数(b)	1027人	963人	
うち受験者数(c)	387人	409人	
うち入学者数(d)	20人	18人	
(受験率 c/b)	38%	42%	
(入学率 d/b)	2%	2%	

### ③募集を行った学科等名称及び取組の名称：その他医学部に特化しているPR活動

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	17人	23人	①取組概要 医学部・医療系志望者(※)向け会場相談会の参加 ※数字は志望学部が医学部の接触者 ②相談会参加者の低学年化と対面による相談機会が少ないながらも本学からの情報を積極的に得ようとする志望度の高い生徒の出願につながっているため、特別地域枠を含め十分な入学者が見込める。 ③2026（令和6）年度入学者向け特別地域枠入学者選抜説明会は表④の4県を対象に開催し660名（総数、動画視聴回数除く）が参加し、PRに努めている
うち受験対象者数(b)	10人	15人	
うち受験者数(c)	9人	4人	
うち入学者数(d)	1人	0人	
(受験率 c/b)	90%	27%	
(入学率 d/b)	10%	0%	

統計表 10 人口10万対医師・歯科医師・薬剤師数、従業地による都道府県—指定都市・特別区・中核市(再掲)、業務の種別、性別(2-1)

(単位:人)

令和4(2022)年12月31日現在

	医師				歯科医師				薬剤師			
	総数	(再掲) 医療施設 の従事者	男	女	総数	(再掲) 医療施設 の従事者	男	女	総数	(再掲) 薬局・医療施設 の従事者	男	女
全 国	274.7	262.1	200.1	61.9	84.2	81.6	60.5	21.0	259.1	202.6	70.7	131.9
北 海 道	264.8	254.0	210.0	44.1	83.7	80.7	65.9	14.8	226.2	192.9	96.9	96.0
青 森	232.1	220.2	174.9	45.3	59.4	55.9	43.2	12.7	197.1	167.2	81.8	85.4
岩 手	233.5	218.5	179.8	38.6	81.7	76.8	56.3	20.5	217.8	187.0	84.8	102.3
宮 城	269.3	256.3	204.8	51.5	84.3	79.8	57.6	22.2	244.3	199.7	80.4	119.3
秋 田	262.2	249.8	195.3	54.5	64.5	62.6	51.3	11.3	221.0	192.9	84.9	108.0
山 形	252.2	239.6	194.5	45.1	66.4	65.1	49.8	15.4	208.8	176.9	88.7	88.3
福 島	228.8	218.7	180.7	37.9	78.1	74.8	59.9	14.9	211.8	178.2	80.8	97.3
茨 城	212.3	202.0	155.2	46.8	67.5	66.7	50.6	16.1	236.2	186.5	70.7	115.8
栃 木	259.2	248.4	191.3	57.2	71.9	70.9	53.5	17.4	229.2	187.3	74.8	112.6
群 馬	243.4	233.4	183.0	50.4	70.3	69.3	51.9	17.5	217.3	181.6	73.3	108.3
埼 玉	186.2	180.2	137.7	42.5	73.7	72.1	53.3	18.8	228.0	190.3	64.9	125.4
千 葉	215.8	209.0	160.6	48.4	79.0	77.4	56.1	21.3	235.3	195.6	60.4	135.2
東 京	346.0	324.6	221.1	103.5	120.3	116.1	78.1	38.0	381.3	235.7	64.6	171.0
神 奈 川	232.0	223.0	162.3	60.7	79.2	77.4	55.1	22.3	256.9	215.5	60.5	155.0
新 潟	227.3	212.8	171.9	40.8	93.0	87.1	61.9	25.2	211.9	180.2	78.8	101.4
富 山	284.1	270.6	211.9	58.7	62.4	59.5	45.8	13.7	288.3	186.2	74.1	112.1
石 川	303.2	286.4	230.1	56.4	65.7	62.7	49.1	13.6	255.2	196.6	73.1	123.5
福 井	283.1	271.2	214.9	56.3	59.2	58.6	45.2	13.4	199.2	163.6	71.3	92.3
山 梨	267.8	257.9	204.7	53.1	74.8	73.8	56.2	17.6	232.0	194.4	82.3	112.1
長 野	261.9	249.8	198.4	51.4	81.9	77.6	59.9	17.8	231.0	194.8	80.1	114.7
岐 阜	237.9	231.5	185.1	46.4	88.2	85.3	66.4	18.9	211.1	178.5	80.4	98.0
静 岡	238.3	230.1	185.1	44.9	66.2	64.5	50.2	14.3	234.6	190.5	82.9	107.6
愛 知	247.0	234.7	177.1	57.6	80.9	78.7	60.5	18.1	216.7	176.0	67.4	108.7
三 重	252.3	241.2	195.1	46.1	65.3	64.2	51.8	12.5	207.1	179.4	76.3	103.1
滋 賀	253.7	242.2	187.9	54.3	58.8	57.3	44.5	12.8	238.4	189.6	67.3	122.4
京 都	355.6	334.3	251.2	83.1	77.1	75.1	57.8	17.3	266.9	196.5	59.3	137.2
大 阪	302.0	288.5	217.8	70.7	90.6	88.0	65.8	22.1	314.1	221.5	61.7	159.8
兵 庫	288.8	276.5	211.1	65.4	76.7	75.0	58.6	16.4	288.7	236.6	57.1	179.5
奈 良	296.2	286.8	225.4	61.3	72.7	71.4	56.7	14.7	246.5	197.4	54.2	143.2
和 歌 山	333.3	320.9	254.0	66.9	77.3	76.4	62.8	13.6	259.8	203.5	68.2	135.3
鳥 取	345.2	319.9	255.7	64.2	70.4	67.3	52.8	14.5	228.5	197.6	79.0	118.6
島 根	327.2	307.6	237.7	69.9	60.5	57.1	44.1	13.1	220.5	189.5	93.2	96.4
岡 山	336.8	324.0	251.1	72.8	94.7	91.7	64.6	27.2	228.0	191.4	66.1	125.2
広 島	285.1	272.6	212.8	59.9	90.9	88.7	64.8	23.9	265.4	224.6	71.0	153.6
山 口	284.6	267.2	216.7	50.5	72.4	70.4	56.3	14.1	268.4	219.4	86.1	133.3
徳 島	352.0	335.7	249.9	85.8	118.3	112.6	79.5	33.1	368.6	244.0	69.6	174.4
香 川	304.7	290.5	224.6	65.8	75.3	73.3	55.5	17.9	260.1	209.4	74.4	135.0
愛 媛	297.7	286.3	229.2	57.0	70.4	68.5	55.7	12.9	244.0	203.9	81.2	122.7
高 知	347.0	335.2	258.9	76.3	67.9	66.0	51.6	14.3	265.1	223.2	79.6	143.6
福 岡	326.9	312.1	243.8	68.3	111.5	105.1	76.1	29.0	250.1	214.9	76.4	138.5
佐 賀	303.4	293.6	226.2	67.4	77.3	75.7	60.5	15.1	251.3	215.6	95.8	119.9
長 崎	344.8	327.6	259.9	67.7	96.0	92.0	69.6	22.4	229.9	195.9	85.7	110.1
熊 本	315.9	302.2	242.0	60.2	79.6	77.3	59.0	18.3	231.8	195.4	77.9	117.5
大 分	312.5	297.9	238.1	59.8	66.6	65.0	53.4	11.7	213.6	187.7	76.7	111.0
宮 崎	276.4	260.8	208.1	52.8	69.8	66.6	52.7	14.0	217.5	180.8	78.3	102.5
鹿 児 島	298.7	288.7	230.8	57.8	88.0	84.7	63.8	20.9	211.6	186.9	83.3	103.6
沖 縄	274.5	266.1	202.3	63.8	60.6	58.1	44.2	13.9	165.9	149.4	58.4	90.9
(再掲)指定都市・特別区												
東 京 都 区 部	398.7	371.8	249.5	122.3	139.2	133.7	88.3	45.4	433.7	244.0	65.7	178.3
札 幌 市	353.6	337.9	269.4	68.5	107.2	103.0	79.5	23.6	281.9	231.6	95.9	135.7
仙 台 市	374.5	354.2	275.1	79.2	116.0	107.6	73.8	33.8	313.6	239.9	82.2	157.7
さいたま市	209.1	199.4	146.4	53.0	79.4	77.4	55.9	21.5	287.8	217.0	58.9	158.0
千 葉 市	317.5	300.2	221.1	79.1	93.2	90.4	64.9	25.5	288.5	223.3	59.7	163.6
横 浜 市	243.3	232.6	165.7	66.9	88.4	86.6	60.4	26.1	269.4	225.8	57.3	168.6
川 崎 市	247.3	238.5	169.4	69.1	62.2	61.5	41.7	19.7	242.8	212.7	51.1	161.5
相 模 原 市	246.2	234.9	174.1	60.8	68.6	68.0	51.0	16.9	253.0	225.6	75.0	150.6
新 潟 市	309.9	287.5	220.2	67.4	140.3	128.8	85.2	43.5	260.8	215.1	82.2	133.0
静 岡 市	280.4	268.5	210.1	58.4	78.5	76.0	55.9	20.1	262.1	211.3	87.6	123.7
浜 松 市	308.4	294.6	230.2	64.4	69.0	66.6	51.4	15.2	236.2	200.8	88.9	111.9
名 古 屋 市	344.2	325.2	235.8	89.4	113.2	108.4	81.2	27.2	277.3	213.2	71.5	141.7
京 都 市	464.7	433.0	315.9	117.0	84.9	82.4	61.0	21.4	321.6	225.1	63.8	161.4
大 阪 市	358.9	341.4	253.2	88.2	109.8	107.7	79.9	27.8	432.0	250.0	72.2	177.8
堺 市	251.5	245.2	192.3	52.9	76.1	73.8	60.1	13.7	235.4	208.6	64.9	143.7
神 戸 市	366.5	346.6	257.7	88.9	87.2	85.5	65.0	20.5	350.6	264.6	55.4	209.1
岡 山 市	447.4	429.8	319.6	110.2	127.8	122.1	82.3	39.8	297.1	231.0	73.9	157.2
広 島 市	329.3	313.0	234.5	78.5	107.1	103.5	70.9	32.6	296.0	244.0	71.5	172.5
北 九 州 市	385.5	363.4	288.0	75.4	133.5	123.1	90.5	32.6	251.7	229.2	93.2	136.0
福 岡 市	393.2	374.2	280.3	94.0	140.8	130.8	87.6	43.2	304.7	241.1	67.9	173.3
熊 本 市	450.7	432.0	333.1	98.9	96.3	93.1	69.0	24.1	299.5	241.3	79.3	162.1

## 医師偏在指標

(都道府県別)



都道府県コード	都道府県	医師偏在指標
00	全国	255.6
01	北海道	233.8
02	青森県	184.3
03	岩手県	182.5
04	宮城県	247.3
05	秋田県	199.4
06	山形県	200.2
07	福島県	190.5
08	茨城県	193.6
09	栃木県	230.5
10	群馬県	219.7
11	埼玉県	196.8
12	千葉県	213.0
13	東京都	353.9
14	神奈川県	247.5
15	新潟県	184.7
16	富山県	238.8
17	石川県	279.8
18	福井県	246.8
19	山梨県	240.8
20	長野県	219.9
21	岐阜県	221.5
22	静岡県	211.8
23	愛知県	240.2

都道府県コード	都道府県	医師偏在指標
24	三重県	225.6
25	滋賀県	260.4
26	京都府	326.7
27	大阪府	288.6
28	兵庫県	266.5
29	奈良県	268.9
30	和歌山県	274.9
31	鳥取県	270.4
32	島根県	265.1
33	岡山県	299.6
34	広島県	254.2
35	山口県	228.0
36	徳島県	289.3
37	香川県	266.9
38	愛媛県	246.4
39	高知県	268.2
40	福岡県	313.3
41	佐賀県	272.3
42	長崎県	284.0
43	熊本県	271.0
44	大分県	259.7
45	宮崎県	227.0
46	鹿児島県	254.8
47	沖縄県	292.1

※上位1/3の閾値を266.9、下位1/3の閾値を228.0と設定している。

(医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用に当たっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。

## 医師偏在指標

(二次医療圏別)

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
00	全国	全国	255.6
0101	北海道	南渡島	205.5
0102	北海道	南檜山	139.0
0103	北海道	北渡島檜山	112.6
0104	北海道	札幌	282.4
0105	北海道	後志	205.9
0106	北海道	南空知	166.9
0107	北海道	中空知	195.1
0108	北海道	北空知	145.0
0109	北海道	西胆振	184.0
0110	北海道	東胆振	180.7
0111	北海道	日高	152.0
0112	北海道	上川中部	291.0
0113	北海道	上川北部	186.6
0114	北海道	富良野	135.3
0115	北海道	留萌	181.3
0116	北海道	宗谷	130.2
0117	北海道	北網	144.1
0118	北海道	遠紋	148.3
0119	北海道	十勝	192.8
0120	北海道	釧路	158.8
0121	北海道	根室	116.6
0201	青森県	津軽地域	253.2
0202	青森県	八戸地域	164.4
0203	青森県	青森地域	186.6
0204	青森県	西北五地域	126.3
0205	青森県	上十三地域	139.6
0206	青森県	下北地域	152.7
0301	岩手県	盛岡	244.6
0302	岩手県	岩手中部	135.4
0303	岩手県	胆江	144.9
0304	岩手県	両磐	151.1
0305	岩手県	気仙	144.1
0306	岩手県	釜石	107.8
0307	岩手県	宮古	134.5
0308	岩手県	久慈	142.4
0309	岩手県	二戸	200.9

■ 上位1/3 ■ 下位1/3

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
0401	宮城県	仙南	169.7
0403	宮城県	仙台	288.8
0406	宮城県	大崎・栗原	172.6
0409	宮城県	石巻・登米・気仙沼	164.0
0501	秋田県	県北	142.0
0502	秋田県	県央	243.4
0503	秋田県	県南	159.6
0601	山形県	村山	237.4
0602	山形県	最上	120.0
0603	山形県	置賜	189.2
0604	山形県	庄内	162.8
0701	福島県	県北	266.1
0702	福島県	県中	188.3
0703	福島県	県南	162.7
0706	福島県	相双	155.5
0707	福島県	いわき	123.2
0708	福島県	会津・南会津	168.9
0801	茨城県	水戸	231.2
0802	茨城県	日立	140.3
0803	茨城県	常陸太田・ひたちなか	140.3
0804	茨城県	鹿行	137.2
0805	茨城県	土浦	184.4
0806	茨城県	つくば	337.7
0807	茨城県	取手・竜ヶ崎	173.3
0808	茨城県	筑西・下妻	153.0
0809	茨城県	古河・坂東	148.8
0901	栃木県	県北	171.2
0902	栃木県	県西	168.1
0903	栃木県	宇都宮	207.6
0904	栃木県	県東	207.0
0905	栃木県	県南	345.3
0906	栃木県	両毛	179.3

※ 医師確保計画策定ガイドライン～第8次（前期）～に基づき、都道府県の医師確保計画の策定スケジュールを踏まえ、各都道府県の二次医療圏が確定する前の段階（2022年3月時点）の二次医療圏における指標の値について上位1/3の閾値を217.6、下位1/3の閾値を179.3と設定している（小数第2位以下略）。なお今後、都道府県における第8次医療計画の策定に当たり二次医療圏の見直し等が行われた場合は、見直し後の二次医療圏の医師偏在指標を再計算し、前述の閾値を用いて区分分けを行う。したがって、上位1/3、下位1/3に区分される二次医療圏の数は、全国の二次医療圏の総数の1/3と必ずしも一致しない場合があり得る。

(医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用に当たっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。

## 医師偏在指標

(二次医療圏別)

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
1001	群馬県	前橋	340.2
1002	群馬県	渋川	175.8
1003	群馬県	伊勢崎	179.1
1004	群馬県	高崎・安中	210.8
1005	群馬県	藤岡	181.3
1006	群馬県	富岡	181.7
1007	群馬県	吾妻	154.4
1008	群馬県	沼田	206.4
1009	群馬県	桐生	174.5
1010	群馬県	太田・館林	149.7
1101	埼玉県	南部	203.7
1102	埼玉県	南西部	207.0
1103	埼玉県	東部	182.0
1104	埼玉県	さいたま	236.6
1105	埼玉県	県央	190.8
1106	埼玉県	川越比企	215.6
1107	埼玉県	西部	211.3
1108	埼玉県	利根	155.7
1109	埼玉県	北部	163.6
1110	埼玉県	秩父	157.5
1201	千葉県	千葉	268.6
1202	千葉県	東葛南部	199.5
1203	千葉県	東葛北部	203.1
1204	千葉県	印旛	210.3
1205	千葉県	香取海匝	196.4
1206	千葉県	山武長生夷隅	145.1
1207	千葉県	安房	322.6
1208	千葉県	君津	173.5
1209	千葉県	市原	200.1

■ 上位1/3 ■ 下位1/3

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
1301	東京都	区中央部	789.8
1302	東京都	区南部	380.4
1303	東京都	区西南部	413.7
1304	東京都	区西部	569.1
1305	東京都	区西北部	295.8
1306	東京都	区東北部	216.4
1307	東京都	区東部	307.6
1308	東京都	西多摩	138.1
1309	東京都	南多摩	164.6
1310	東京都	北多摩西部	254.4
1311	東京都	北多摩南部	312.5
1312	東京都	北多摩北部	196.4
1313	東京都	島しょ	131.6
1404	神奈川県	川崎北部	285.3
1405	神奈川県	川崎南部	347.3
1406	神奈川県	横須賀・三浦	235.0
1407	神奈川県	湘南東部	202.4
1408	神奈川県	湘南西部	238.1
1409	神奈川県	県央	187.4
1410	神奈川県	相模原	217.7
1411	神奈川県	県西	177.1
1412	神奈川県	横浜	260.8
1501	新潟県	下越	156.0
1502	新潟県	新潟	234.3
1503	新潟県	県央	141.6
1504	新潟県	中越	158.2
1505	新潟県	魚沼	132.0
1506	新潟県	上越	159.6
1507	新潟県	佐渡	138.9
1601	富山県	新川	213.0
1602	富山県	富山	273.2
1603	富山県	高岡	211.5
1604	富山県	砺波	202.2
1701	石川県	南加賀	202.9
1702	石川県	石川中央	328.0
1703	石川県	能登中部	196.8
1704	石川県	能登北部	151.7

※ 医師確保計画策定ガイドライン～第8次（前期）～に基づき、都道府県の医師確保計画の策定スケジュールを踏まえ、各都道府県の二次医療圏が確定する前の段階（2022年3月時点）の二次医療圏における指標の値について上位1/3の閾値を217.6、下位1/3の閾値を179.3と設定している（小数第2位以下略）。なお今後、都道府県における第8次医療計画の策定に当たり二次医療圏の見直し等が行われた場合は、見直し後の二次医療圏の医師偏在指標を再計算し、前述の閾値を用いて区分分けを行う。したがって、上位1/3、下位1/3に区分される二次医療圏の数は、全国の二次医療圏の総数の1/3と必ずしも一致しない場合があり得る。

(医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用に当たっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。

## 医師偏在指標

(二次医療圏別)

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
1801	福井県	福井・坂井	301.0
1802	福井県	奥越	146.0
1803	福井県	丹南	145.9
1804	福井県	嶺南	181.3
1901	山梨県	中北	271.6
1902	山梨県	峡東	179.7
1903	山梨県	峡南	198.7
1904	山梨県	富士・東部	222.5
2001	長野県	佐久	222.6
2002	長野県	上小	155.2
2003	長野県	諏訪	210.2
2004	長野県	上伊那	167.2
2005	長野県	飯伊	164.4
2006	長野県	木曾	162.3
2007	長野県	松本	330.5
2008	長野県	大北	200.6
2009	長野県	長野	193.9
2010	長野県	北信	186.7
2101	岐阜県	岐阜	275.6
2102	岐阜県	西濃	168.1
2103	岐阜県	中濃	190.5
2104	岐阜県	東濃	201.0
2105	岐阜県	飛騨	168.0
2201	静岡県	賀茂	144.4
2202	静岡県	熱海伊東	190.4
2203	静岡県	駿東田方	201.4
2204	静岡県	富士	157.9
2205	静岡県	静岡	234.4
2206	静岡県	志太榛原	191.8
2207	静岡県	中東遠	176.3
2208	静岡県	西部	258.0

■ 上位1/3 ■ 下位1/3

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
2302	愛知県	海部	207.7
2304	愛知県	尾張東部	333.2
2305	愛知県	尾張西部	214.9
2306	愛知県	尾張北部	185.2
2307	愛知県	知多半島	196.5
2308	愛知県	西三河北部	148.0
2309	愛知県	西三河南部西	194.7
2310	愛知県	西三河南部東	188.8
2311	愛知県	東三河北部	165.2
2312	愛知県	東三河南部	184.2
2313	愛知県	名古屋・尾張中部	305.4
2401	三重県	北勢	210.4
2402	三重県	中勢伊賀	259.8
2403	三重県	南勢志摩	217.8
2404	三重県	東紀州	162.3
2501	滋賀県	大津	373.5
2502	滋賀県	湖南	262.2
2503	滋賀県	甲賀	176.8
2504	滋賀県	東近江	218.3
2505	滋賀県	湖東	181.0
2506	滋賀県	湖北	217.6
2507	滋賀県	湖西	245.0
2601	京都府	丹後	155.6
2602	京都府	中丹	198.2
2603	京都府	南丹	177.1
2604	京都府	京都・乙訓	401.4
2605	京都府	山城北	207.1
2606	京都府	山城南	160.8
2701	大阪府	豊能	350.7
2702	大阪府	三島	277.5
2703	大阪府	北河内	232.4
2704	大阪府	中河内	205.5
2705	大阪府	南河内	286.0
2706	大阪府	堺市	225.6
2707	大阪府	泉州	218.8
2708	大阪府	大阪市	369.0

※ 医師確保計画策定ガイドライン～第8次（前期）～に基づき、都道府県の医師確保計画の策定スケジュールを踏まえ、各都道府県の二次医療圏が確定する前の段階（2022年3月時点）の二次医療圏における指標の値について上位1/3の閾値を217.6、下位1/3の閾値を179.3と設定している（小数第2位以下略）。なお今後、都道府県における第8次医療計画の策定に当たり二次医療圏の見直し等が行われた場合は、見直し後の二次医療圏の医師偏在指標を再計算し、前述の閾値を用いて区分分けを行う。したがって、上位1/3、下位1/3に区分される二次医療圏の数は、全国の二次医療圏の総数の1/3と必ずしも一致しない場合があり得る。

(医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用に当たっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。

## 医師偏在指標

(二次医療圏別)

■ 上位1/3 ■ 下位1/3

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
2801	兵庫県	神戸	323.3
2804	兵庫県	東播磨	231.6
2805	兵庫県	北播磨	206.6
2808	兵庫県	但馬	209.9
2809	兵庫県	丹波	203.8
2810	兵庫県	淡路	216.3
2811	兵庫県	阪神	279.7
2812	兵庫県	播磨姫路	214.4
2901	奈良県	奈良	266.3
2902	奈良県	東和	281.7
2903	奈良県	西和	210.8
2904	奈良県	中和	312.3
2905	奈良県	南和	262.2
3001	和歌山県	和歌山	347.0
3002	和歌山県	那賀	194.8
3003	和歌山県	橋本	217.2
3004	和歌山県	有田	180.8
3005	和歌山県	御坊	243.9
3006	和歌山県	田辺	216.5
3007	和歌山県	新宮	162.2
3101	鳥取県	東部	222.0
3102	鳥取県	中部	205.4
3103	鳥取県	西部	350.8
3201	島根県	松江	247.1
3202	島根県	雲南	128.5
3203	島根県	出雲	393.2
3204	島根県	大田	172.1
3205	島根県	浜田	238.7
3206	島根県	益田	176.0
3207	島根県	隠岐	203.7
3301	岡山県	県南東部	346.8
3302	岡山県	県南西部	292.8
3303	岡山県	高梁・新見	148.2
3304	岡山県	真庭	166.6
3305	岡山県	津山・英田	196.3

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
3401	広島県	広島	298.9
3402	広島県	広島西	239.1
3403	広島県	呉	266.7
3404	広島県	広島中央	200.4
3405	広島県	尾三	198.2
3406	広島県	福山・府中	201.3
3407	広島県	備北	219.8
3501	山口県	岩国	223.9
3502	山口県	柳井	143.5
3503	山口県	周南	192.1
3504	山口県	山口・防府	223.4
3505	山口県	宇部・小野田	324.2
3506	山口県	下関	224.3
3507	山口県	長門	139.5
3508	山口県	萩	183.5
3601	徳島県	東部	332.4
3603	徳島県	南部	231.4
3605	徳島県	西部	153.2
3702	香川県	小豆	109.0
3706	香川県	東部	306.8
3707	香川県	西部	217.0
3801	愛媛県	宇摩	190.7
3802	愛媛県	新居浜・西条	199.4
3803	愛媛県	今治	198.4
3804	愛媛県	松山	292.0
3805	愛媛県	八幡浜・大洲	180.2
3806	愛媛県	宇和島	187.9
3901	高知県	安芸	206.8
3902	高知県	中央	300.3
3903	高知県	高幡	187.1
3904	高知県	幡多	159.7

※ 医師確保計画策定ガイドライン～第8次（前期）～に基づき、都道府県の医師確保計画の策定スケジュールを踏まえ、各都道府県の二次医療圏が確定する前の段階（2022年3月時点）の二次医療圏における指標の値について上位1/3の閾値を217.6、下位1/3の閾値を179.3と設定している（小数第2位以下略）。なお今後、都道府県における第8次医療計画の策定に当たり二次医療圏の見直し等が行われた場合は、見直し後の二次医療圏の医師偏在指標を再計算し、前述の閾値を用いて区分けを行う。したがって、上位1/3、下位1/3に区分けされる二次医療圏の数は、全国の二次医療圏の総数の1/3と必ずしも一致しない場合があり得る。

(医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用にあたっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。

## 医師偏在指標

(二次医療圏別)

■ 上位1/3 ■ 下位1/3

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
4001	福岡県	福岡・糸島	399.0
4002	福岡県	粕屋	220.7
4003	福岡県	宗像	198.4
4004	福岡県	筑紫	224.7
4005	福岡県	朝倉	202.0
4006	福岡県	久留米	407.8
4007	福岡県	八女・筑後	216.3
4008	福岡県	有明	233.6
4009	福岡県	飯塚	341.3
4010	福岡県	直方・鞍手	184.4
4011	福岡県	田川	197.4
4012	福岡県	北九州	301.6
4013	福岡県	京築	151.6
4101	佐賀県	中部	363.5
4102	佐賀県	東部	165.5
4103	佐賀県	北部	241.4
4104	佐賀県	西部	157.5
4105	佐賀県	南部	254.1
4201	長崎県	長崎	365.0
4202	長崎県	佐世保県北	221.5
4203	長崎県	県央	270.6
4204	長崎県	県南	194.1
4206	長崎県	五島	199.7
4207	長崎県	上五島	200.8
4208	長崎県	壱岐	225.0
4209	長崎県	対馬	196.9
4302	熊本県	宇城	164.7
4303	熊本県	有明	198.5
4304	熊本県	鹿本	193.7
4305	熊本県	菊池	173.1
4306	熊本県	阿蘇	184.2
4308	熊本県	八代	244.8
4309	熊本県	芦北	248.5
4310	熊本県	球磨	182.5
4311	熊本県	天草	191.3
4312	熊本県	熊本・上益城	344.3

医療圏コード	都道府県	二次医療圏	医師偏在指標
4401	大分県	東部	267.2
4403	大分県	中部	291.2
4405	大分県	南部	190.6
4406	大分県	豊肥	203.1
4408	大分県	西部	178.0
4409	大分県	北部	202.9
4501	宮崎県	宮崎東諸県	308.1
4502	宮崎県	都城北諸県	171.4
4503	宮崎県	延岡西臼杵	160.5
4504	宮崎県	日南串間	180.1
4505	宮崎県	西諸	164.7
4506	宮崎県	西都児湯	157.7
4507	宮崎県	日向入郷	149.8
4601	鹿児島県	鹿児島	349.0
4603	鹿児島県	南薩	200.1
4605	鹿児島県	川薩	220.0
4606	鹿児島県	出水	171.8
4607	鹿児島県	姶良・伊佐	176.3
4609	鹿児島県	曾於	153.8
4610	鹿児島県	肝属	182.4
4611	鹿児島県	熊毛	129.7
4612	鹿児島県	奄美	164.7
4701	沖縄県	北部	247.3
4702	沖縄県	中部	257.3
4703	沖縄県	南部	329.2
4704	沖縄県	宮古	195.3
4705	沖縄県	八重山	249.6

※ 医師確保計画策定ガイドライン～第8次（前期）～に基づき、都道府県の医師確保計画の策定スケジュールを踏まえ、各都道府県の二次医療圏が確定する前の段階（2022年3月時点）の二次医療圏における指標の値について上位1/3の閾値を217.6、下位1/3の閾値を179.3と設定している（小数第2位以下略）。なお今後、都道府県における第8次医療計画の策定に当たり二次医療圏の見直し等が行われた場合は、見直し後の二次医療圏の医師偏在指標を再計算し、前述の閾値を用いて区分分けを行う。したがって、上位1/3、下位1/3に区分される二次医療圏の数は、全国の二次医療圏の総数の1/3と必ずしも一致しない場合があり得る。

(医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用に当たっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。

資料省略 (P80~96)

資料③ 【福島県】 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

資料④ 【茨城県】 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

資料⑤ 【千葉県】 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

資料⑥ 【新潟県】 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

資料⑦ 【静岡県】 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

資料⑧ 【群馬県】 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

資料⑨ 「令和7年度医学部入学定員増員計画」

## 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	オキナガ ヨシヒト 冲永 佳史 <平成14年10月>		博士 (工学)		帝京大学学長 (平成14.10～) ※